

横浜市立大学附属病院

令和5年度

病院要覧



YOKOHAMA
CITY
UNIVERSITY
HOSPITAL



病院長あいさつ



当院は理念にありますように、『心から頼れる病院』として、また、『高度でかつ安全な医療』を皆様に提供させていただくとともに『質の高い医療人を養成』することを使命として診療にあたらせていただいております。

この病院要覧は、当院概要を把握いただける詳細なデータや業績が記載されています。すべての活動を数字で表すことはできませんが、皆様に当院を知っていただく指標の1つとしてご活用いただければと思います。

また、職員にとっては毎年度、統計データを積み上げていくことで、当院の変化を読み取ることができ、将来の発展計画をたてるためのよい資料になっております。

今日、大学病院に求められる医療は「高度、先進」であることはもとより、最大の責務は「安全、安心」な医療を皆様に受けていただくことといえます。さらに、横浜市立大学としての特色を出した医療、基礎研究と結びついた先進的な医療が重要と考えております。神奈川県にある唯一の公的医療機関附属病院として、今後とも地域の医療機関の皆様との連携を強化しながら、最良、最善の医療を目指し、なお一層の努力をまいります。

病院長 後藤 隆久



病院理念

当病院は、「市民が心から頼れる病院」として、高度でかつ安全な医療を市民に提供するとともに、質の高い医療人を育成します。

基本方針

- 1 生命の尊厳を深く認識した医療の実践
- 2 安全で質の高い医療の提供
- 3 患者本位の医療サービスの向上と地域医療への貢献
- 4 高度・先進医療の推進
- 5 質の高い医療人の育成
- 6 健全な病院経営の確立

目 次

1 病院沿革	
1 開設目的	1
2 名 称	1
3 位 置	1
4 建設の経緯	1
5 病院開院後の経緯	1
6 歴代病院長	2
2 許認可関係一覧表	
1 医療法等による許認可関係	3
2 各法令による医療機関の指定関係	4
3 基本診療料、特掲診療料等施設基準一覧	7
4 先進医療	15
5 学会認定研修施設等	15
3 施設概要	
用地および建物	19
4 診療体制	
1 診療科目	20
2 外来診療時間	20
3 病床数	20
5 組 織	
1 組 織 図	21
2 病院の管理職員	22
6 教 職 員	
1 現 員	26
2 診療科別医師・歯科医師数	27
3 看護体制・部署構成表	28
7 経 理	
予算決算比較	29
8 医事統計	
1 外来・入院患者数	30
2 病棟別入院患者数	32
3 紹介割合・逆紹介割合推移	34
4 新入院患者の診療圏別割合	35
5 初診患者の診療圏別割合	35
6 年齢階層別新入院患者数比較	35
7 年齢階層別初診患者数比較	35
8 年齢別・疾患別転科・退院患者数（死亡を含む）および割合	36
9 年齢別退院患者数の割合	38
10 疾患別転科・退院患者数の割合	38
11 疾患別男性転科・退院患者数の割合	39
12 疾患別女性転科・退院患者数の割合	39

13 月別・診療科別・入退院患者数	40
14 月別・診療科別・死亡退院患者数	42
15 月別分娩件数	43
16 救急患者数	43
17 病歴貸出・閲覧件数	44
18 褥瘡対策チーム	45
19 諸法事務受付業務	47

9 患者サポートセンター

1 入院サポート	48
2 患者相談窓口	49
3 地域連携業務	49
4 ソーシャルワーク業務	50
5 チャイルド・ライフ・スペシャリスト (CLS) 業務	53

10 医療の質向上・安全管理センター

1 安全管理研修の開催状況	55
2 インシデント報告数 (ヒヤリハット報告数)	55
3 高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等申請、承認状況	55
4 当院の組織横断的医療チーム	56

11 医療情報部

12 臨床検査部

部門別、月別検査件数	60
------------	----

13 放射線部

1 X線・CT・MR・核医学検査月別業務量	62
2 放射線治療月別業務量	64

14 薬剤部

1 処方箋統計	66
2 麻薬処方箋枚数	67
3 無菌製剤処理料算定件数	67
4 TDM実施件数	67
5 薬剤部取扱品目数	67
6 薬剤管理指導料算定件数	67
7 治験薬管理業務	67
8 院内製剤	68
9 実習生等受入実績	68
10 専門薬剤師等認定取得状況	68

15 リハビリテーション部

1 診療科別依頼件数	69
2 耳鼻いんこう科検査・療法件数	69
3 診療報酬別実施患者数・単位数	70
4 実習受け入れ状況	70
5 認定、専門理学・作業療法士取得状況	70

16 栄養部	
1 食種別給食数	71
2 調乳数	71
3 栄養相談業務	72
(1) 入院・外来別延べ人数	72
(2) 診療科別個別指導受講者延べ人数	72
(3) 月別NST介入件数	72
(4) 疾患別個別指導受講者延べ人数	73
(5) NST介入診療科別集計	73
17 手術部	
1 診療科別・月別手術件数	74
2 年度別手術件数	74
18 ICU (集中治療室)	
ICU入室状況など	76
19 CCU (冠動脈疾患集中治療室)	
CCU入室状況など	76
20 HCU (ハイケアユニット)	
HCU入室状況など	77
21 ACU (急性期ケアユニット)	
ACU入室状況など	77
22 輸血・細胞治療部	
1 各科別輸血用血液使用状況	78
2 稼働実績	79
3 時間外稼働実績	79
23 病理診断科・病理部	
月別検査件数および点数	80
24 遺伝子診療科／妊娠と薬外来	81
25 感染制御部	82
26 緩和ケアセンター	
1 緩和ケアセンター	83
2 組織と構成員	83
3 具体的な活動内容	83
4 診療および活動実績	83
5 緩和ケア診療加算の算定状況	84
6 緩和ケア外来診療件数状況	84
27 がん相談支援センター	
1 がん相談支援センター	85
2 がん相談支援センター構成員	85
3 具体的な活動内容	85

28 内視鏡センター	
1 内視鏡検査件数	87
2 内視鏡処置・手術内容	87
29 血液浄化センター	
科別取扱件数	88
30 化学療法センター	
1 化学療法業務	89
2 化学療法実施件数	89
31 中央無菌室	
月別入室件数	90
32 滅菌室	
滅菌室業務	91
33 シミュレーションセンター	
シミュレーションセンター利用状況	92
34 先進医療推進センター	
1 目的	92
2 学内先進支援事業審査会の開催状況	92
3 承認件数	92
4 厚生労働省の定める先進医療への申請および承認状況	92
35 臨床研修センター	93
36 次世代臨床研究センター	
1 組織体制	96
2 各室紹介	96
37 看護部	
1 看護外来・療養指導活動	101
(1) 活動報告	101
(2) 専門看護師の活動実績	103
(3) 認定看護師の活動実績	103
(4) 特定・認定看護師の活動実績	105
(5) 特定行為研修修了者の活動実績	105
(6) 患者サポートセンター担当看護師の活動実績	105
2 教育・研修実績	106
3 実習受け入れ実績	109
4 院内研究発表	110
5 講師派遣等	111
38 MEセンター	
1 臨床業務	119
2 機器貸出状況	119
3 機器点検業務	120
4 機器修理業務	120

5 実習・見学受け入れ実績	120
6 講師派遣等	120
7 ベッドセンター業務	120

39 業務目録

1 著書	121
2 論文	123
3 学会・研究会	130

40 その他

1 年度別病院事業実績	145
2 各階配置図	146
3 施設配置図	147

1 病 院 沿 革

1 開設目的

大学附属病院として、優秀な医師の養成につとめるとともに、高度な医学研究をめざす。
併せて、先進医療設備の導入により、高度な医療サービスを提供し地域医療の向上を図るとともに、市民の健康の保持に寄与する。

2 名 称

公立大学法人 横浜市立大学附属病院

3 位 置

横浜市金沢区福浦三丁目9番地
TEL 045-787-2800(代表)

4 建設の経緯

昭和53年 4月	市立大学内に「医学部の移転拡充に関する特別委員会」が発足
昭和56年 10月	医学部移転先を金沢区の金沢埋立3号地に決定
昭和58年 1月	横浜市立大学キャンパス整備基本構想を策定
昭和59年 12月	医学部校舎移転新築工事着工
昭和61年 6月	医学部附属病院の建設規模確定
昭和61年 10月	医学部校舎移転新築工事竣工
昭和62年 4月	医学部校舎開校
昭和62年 6月	医学部附属病院新築工事(エネルギーセンター)着工
昭和63年 6月	医学部附属病院新築工事(本体工事)着工
平成 3年 3月	医学部附属病院新築工事竣工
平成 3年 7月	医学部附属病院開院
平成19年 12月	立体駐車場新築工事竣工
平成21年 7月	研修棟増築工事竣工
平成25年 3月	コンビニエンスストア増築工事竣工
平成26年 3月	災害・緊急時対応スペース整備工事竣工

5 病院開院後の経緯

昭和62年 3月16日	神奈川県知事から病院開設許可を得る(県指令医整3-62号)
平成 3年 7月 1日	医学部附属病院として開院 (医学部附属病院第28代病院長澤木修二が初代病院長に就任)
平成 3年 7月16日	暫定的に497床で入院を開始
平成 3年 8月 1日	外来を開始(外来患者数を1,000人と想定)
平成 4年 6月 1日	62床増床(病床数559床)
平成 4年 7月 1日	60床増床(病床数619床) (無菌室 2⇒4床、ICU 6⇒8床、NICU 3⇒6床、手術室 6⇒12室稼働、外来手術室 1⇒2室稼働)
平成 4年 7月23日	CCUを2床増床(病床数621床)
平成 5年 3月31日	神奈川県から老人痴呆疾患治療研究センターに指定される
平成 5年10月 1日	CCUを増床稼働(6月 2⇒3床、10月 3⇒4床)(病床数623床、全床オープン)
平成 6年 4月 1日	院内学級を6-1病棟(カンファレンス等を利用)に開設
平成 6年12月26日	エイズ患者増に対応するため9-1病棟を改修 (病室を3床増、デイルームを1か所増、従来の病室3室を観察室(2室)に転用)
平成 7年11月16日	神奈川県エイズ患者中心的受入病院に指定される
平成 8年 4月 1日	特定機能病院に承認される
平成 9年 9月 1日	特定承認保険医療機関に承認される
平成10年 3月20日	神奈川県から災害拠点病院に承認される
平成11年 4月 1日	伝染病予防法の廃止(平成11年3月31日)、感染症の予防および感染症の患者に対する医療に関する法律の施行により伝染病床3床を減じ、620床となる

平成11年 8月 1日	特定機能病院の辞退
平成12年 3月 1日	一般病床3床増床(病床数623床)
平成13年 1月 1日	特定機能病院に承認される
平成14年 1月21日	日本医療機能評価機構から病院機能評価Ver.3.1にて認定を受ける
平成17年 1月18日	厚生労働省から地域周産期母子医療センターに認定される
平成17年 4月 1日	公立大学法人横浜市立大学附属病院として開院
平成19年1月21日	日本医療機能評価機構から病院機能評価Ver.5.0にて認定を受ける
平成19年1月31日	厚生労働省から地域がん診療連携拠点病院に指定される
平成19年5月 8日	神奈川県からエイズ治療の中核拠点病院に指定される
平成20年 8月 2日	WHOとユニセフから赤ちゃんにやさしい病院に認定される
平成22年 4月28日	一般病床増床(病床数631床)(HCU8床)
平成22年 1月18日	臨床検査部および輸血・細胞治療部がISO15189:2007基準認定施設に認定される
平成23年 1月13日	一般病床増床(病床数634床)(NICU3床)
平成23年 2月22日	一般病床4床増床(病床数638床)
平成24年 1月21日	日本医療機能評価機構から病院機能評価Ver.6.0にて認定を受ける
平成24年 6月 1日	精神病床4床減床(病床数634床)
平成24年10月 1日	一般病床14床増床(病床数648床)(6-3救急病床13床、無菌室1床)
平成25年 1月 1日	一般病床6床増床(病床数654床)(ACU6床)
平成25年 1月 1日	横浜市認知症患者医療センターの設置
平成26年 1月17日	臨床検査部および輸血・細胞治療部がISO15189:2012基準認定施設に更新認定される
平成26年 3月27日	神奈川DMAT指定病院に指定される
平成27年 4月10日	横浜市小児がん連携病院に指定される
平成28年 3月 1日	IRUD拠点病院に指定される
平成28年 3月31日	神奈川DMAT-L指定病院に指定される
平成28年 12月 1日	一般病床20床(臨床試験専用病床)増床(病床数674床)
平成29年 1月21日	日本医療機能評価機構から病院機能評価3rdG:Ver1.1にて認定を受ける
平成30年 2月19日	横浜市乳がん連携病院に指定される
平成30年 4月 1日	神奈川県から肝疾患診療連携拠点病院に指定される
平成31年 4月 1日	神奈川県から難病医療連携拠点病院に指定される
令和 2年 4月 1日	厚生労働省から地域がん診療連携拠点病院(高度型)に指定される
令和 4年 1月21日	日本医療機能評価機構から病院機能評価3rdG:Ver2.0にて認定を受ける
令和 4年 2月 1日	臨床検査部、輸血・細胞治療部、病理診断科・病理部がISO15189:2012基準認定施設に拡大更新認定される
令和 5年 4月 1日	厚生労働省からがんゲノム医療拠点病院に指定される

6 歴代病院長

	氏 名	任 期
初 代	澤 木 修 二	平成 3 年 7 月 1 日 ～ 平成 4 年 3 月 31 日
2 代	松 山 秀 介	平成 4 年 4 月 1 日 ～ 平成 7 年 3 月 31 日
3 代	中 嶋 弘	平成 7 年 4 月 1 日 ～ 平成 9 年 3 月 31 日
4 代	腰 野 富 久	平成 9 年 4 月 1 日 ～ 平成 11 年 2 月 18 日
病院長職務代理者	松 原 升	平成 11 年 2 月 19 日 ～ 平成 11 年 3 月 31 日
5 代	松 原 升	平成 11 年 4 月 1 日 ～ 平成 14 年 3 月 31 日
6 代	原 正 道	平成 14 年 4 月 1 日 ～ 平成 17 年 3 月 31 日
公立大学法人初代	原 正 道	平成 17 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 3 月 31 日
2 代	今 田 敏 夫	平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 22 年 3 月 31 日
3 代	梅 村 敏	平成 22 年 4 月 1 日 ～ 平成 24 年 3 月 31 日
4 代	平 原 史 樹	平成 24 年 4 月 1 日 ～ 平成 28 年 3 月 31 日
5 代	相 原 道 子	平成 28 年 4 月 1 日 ～ 令和 2 年 3 月 31 日
6 代	後 藤 隆 久	令和 2 年 4 月 1 日 ～

2 許認可関係一覧表

1 医療法等による許認可関係 (令和4年度)

件名	申請先	関係法規	許認可年月日 および番号	備考
病院開設許可事項 変更許可	横浜市長	医療法第7条第2項	R4.4.18 横浜市健医安指 令第50030号	9-1病棟 観察室-1から9111号室(1床) へ、観察室-2から9112号室(1床)へ 9-3病棟 9317病室(1床)から観察室へ変 更、9316病室(6床)から1床病床の移動
病院構造設備 使用許可	横浜市長	医療法第27条	R4.4.26 横浜市健医安指 令第50069号	9-1病棟 9111号室(1床)及び9112号室(1 床) 9-3病棟 観察室の使用
病院構造設備 使用許可	横浜市長	医療法第27条	R4.5.11 横浜市健医安指 令第50089号	2階 入院前特設検査室 4階 救急病室の使用
病院開設許可事項 変更許可	横浜市長	医療法第7条第2項	R4.6.9 横浜市健医安指 令第50178号	移動型エックス線装置の廃止(4階 OP-1・ 2前室保管)
病院開設許可事項 変更許可	横浜市長	医療法第7条第2項	R4.6.30 横浜市健医安指 令第50221号	病院敷地平面図の変更
病院開設許可事項 変更許可	横浜市長	医療法第7条第2項	R4.7.6 横浜市健医安指 令第50236号	1階 薬剤部第一製剤室から研修室へ、洗 瓶室から製剤室及び器材室へ用途及び 構造変更
病院開設許可事項 変更許可	横浜市長	医療法第7条第2項	R4.7.15 横浜市健医安指 令第50253号	移動型エックス線装置の設置(2階操作 ホール保管)
病院開設許可事項 変更許可	横浜市長	医療法第7条第2項	R4.8.10 横浜市健医安指 令第50274号	診療用放射線照射装置の更新(放射線治 療室-3)
病院構造設備 使用許可	横浜市長	医療法第27条	R4.8.26 横浜市健医安指 令第50346号	移動型エックス線装置の使用 (AeroDR TX m01:2階操作ホール保管) 1階 薬剤部製剤室の使用
病院開設許可事項 変更許可	横浜市長	医療法第7条第2項	R4.9.9 横浜市健医安指 令第50364号	2階 内科外来 診-32から診-32及び検査 予約・説明センターへ 8階 8-4病棟 特殊検査室及び前室から面 談室2へ用途及び構造変更

件名	申請先	関係法規	許認可年月日 および番号	備考
病院構造設備 使用許可	横浜市長	医療法第27条	R4.9.16 横浜市健医安指 令第50390号	診療用放射線照射装置の使用 (フレキシトロンHDR:放射線治療室-3)
病院構造設備 使用許可	横浜市長	医療法第27条	R4.9.28 横浜市健医安指 令第50414号	2階 内科外来 診-32の使用
病院開設許可事項 変更許可	横浜市長	医療法第7条第2項	R4.11.25 横浜市健医安指 令第50560号	輸血用血液照射エックス線装置の廃止(X 線血液照射室)、X線血液照射室から再生 医療用細胞凍結保存室へ用途変更
病院構造設備 使用許可	横浜市長	医療法第27条	R4.12.13 横浜市健医安指 令第50600号	再生医療用細胞凍結保存室の使用
病院開設許可事項 変更許可	横浜市長	医療法第7条第2項	R4.11.30 横浜市健医安指 令第50571号	地下1階 医事課、1階 救急外来、2階 生 理機能検査室、3階 皮膚科外来、4階 HCU、ICU、輸血細胞治療部及び9階 9-1 病棟配膳室の用途変更
病院開設許可事項 変更許可	横浜市長	医療法第7条第2項	R4.2.7 横浜市健医安指 令第50860号	6階 6-2病棟 7階 7-2病棟、7-4病棟 8階 8-2病棟、8-4病棟 9階 9-2病棟 病室の構造変更及び病床の移動
病院構造設備 使用許可	横浜市長	医療法第27条	R5.3.31 横浜市健医安指 令第51051号	6-2病棟 6207-1(1床)、6207-2(1床)、 6208(5床)、6209(5床) 7-2病棟 7204-1(1床)、7204-2(1床)、 7205(5床)、7206(5床) 7-4病棟 7404-1(1床)、7404-2(1床)、 7405(5床)、7406(5床) 8-2病棟 8204-1(1床)、8204-2(1床)、 8205(5床)、8206(5床) 8-4病棟 8404-1(1床)、8404-2(1床)、 8405(5床)、8406(5床) 9-2病棟 9204-1(1床)、9204-2(1床)、 9205(5床)、9206(5床)の使用

2 各法令による医療機関の指定関係

件名	申請先	関係法規	許認可年月日 および番号	備考
特定機能病院	厚生労働大臣	医療法第4条の2	H17.3.31 厚生労働省発医 政第0331017号 H17.4.1	
災害拠点病院	神奈川県知事		H8.5.10 健政発第451号 H10.3.20	災害時における初期救急医療体制の充実 強化について
救急病院の認定	神奈川県知事	救急病院等を定める省 令第1条	H19.2.8 指定期間 H31.2.8～R4.2.7	

件名	申請先	関係法規	許認可年月日 および番号	備考
第二種感染症指定医療機関	横浜市長	結核予防法第36条第1項	H17.11.16 横浜市衛感指令 第51001号 H17.4.1	
がんゲノム医療拠点病院	厚生労働大臣		R5.3.28 指定期間 R5.4.1～R9.3.31	厚生労働省発健0328第4号
地域がん診療連携拠点病院	厚生労働大臣		R.5.3.23 指定期間 R5.4.1～R9.3.31	
神奈川県難病医療連携拠点病院	神奈川県知事	神奈川県難病医療提供ネットワーク事業実施要綱	R5.3.31 が疾対第5923号 指定期間 R5.4.1～R9.3.31	
横浜市認知症疾患医療センター	横浜市長		H25.1.1	
赤ちゃんにやさしい病院	WHO ユニセフ		H20.8.2	
地域周産期母子医療センター	厚生労働大臣		H17.1.18	
小児慢性特定疾患医療機関指定	横浜市長	児童福祉法第19条の9 第1項	R2.12.24 健医援第1964号 指定期間 R3.1.1～R8.12.31	
横浜市小児がん連携病院	横浜市長		H27.4.10	
横浜市乳がん連携病院	横浜市長		H17.4.1	
神奈川県エイズ治療中核病院	神奈川県知事		H19.5.8	H18.3.31 健発第0331001号 エイズ治療の中核拠点病院の整備について
肝炎治療医療費助成制度肝臓専門医療機関	神奈川県知事		H20.4.1	
神奈川県肝疾患診療連携拠点病院	神奈川県知事		H30.4.1	
基幹型臨床研修指定病院	—	医師法第16条の2第1項	—	
臨床修練指定病院	厚生大臣	外国医師又は外国歯科医師が行う臨床修練に係る医師法第17条 歯科医師法第17条の特例等に関する法律第2条第3号	H4.5.21	外国人医師に対して、日本で2年間の医療行為を認める制度(「臨床修練制度」を実施するための施設)
健康保険法による保健医療機関指定	神奈川県知事	健康保険法第66号	H29.3.28 指定期間 H29.4.1～R5.3.31	保険医療機関記号番号 金医330 医療機関コード 医科 0803304 歯科 0863308

件名	申請先	関係法規	許認可年月日 および番号	備考
生活保護法による医療 扶助担当機関指定	横浜市長	生活保護法第49条 中国残留邦人等の円 滑な帰国の促進並びに 永住帰国した中国残留 邦人等及び特定配偶 者の自立の支援に關す る法律第14条第4項	H29.4.27 横浜市健生支指 令第30004号 指定期間 H29.4.1～R5.3.31	指定番 201600024
労働者災害補償保険 法による医療機関	神奈川県労働基準 局長	労働者災害補償保険 法 第12条及び第13条	H3.7.1 神基収第504号	指定病院等の番号 1410377
指定難病医療費助成 制度にかかる指定医 療機関指定	神奈川県知事	難病の患者に対する医 療等に関する法律第14 条第1項	R2.11.16 健保事第2677号 指定期間 R3.1.1～R8.12.31	
母子保健法による養育 指定医療機関	横浜市長	母子保健法第20条 同法施行規則第58条 第1項、第59条第1項	H3.7.1 横浜市衛健指令 第19号	
障害者自立支援法第 60条第1項の規定によ る指定自立支援医療 機関(育成医療・厚生 医療)	横浜市長	障害者自立支援法第 60条第1項	H22.2.1 H22.3.30 H25.3.25	<指定医療の種類> 小腸・肝臓移植・眼科・耳鼻咽喉科・口腔・ 整形外科・形成外科・中枢神経・脳神経外 科・心臓脈管外科・腎臓・免疫
障害者自立支援法第 60条第1項の規定によ る指定自立支援医療 機関(精神通院医療)	横浜市長	障害者自立支援法第 60条第1項	H24.11.1 横浜市健障企指 令第11170号	
原子爆弾被爆者の医 療等に関する法律によ る医療指定機関	厚生大臣	原子爆弾被爆者等の 医療等に関する法律第 9条第1項	H4.12.1 厚生省収健医 第236号	認定疾病医療給付
指定精密健康診査実 施医療機関指定(1歳6 か月児・3歳児)	横浜市長	横浜市1歳6か月児・3 歳児精密健康診査実 施要領第4条	H3.7.22 指定期間 R2.4.1～R3.3.31	
向精神薬試験研究施 設設置者登録	神奈川県知事	麻薬及び向精神薬取 締法 第50条の5第1項	H11.4.1 第0302号	
公職選挙法による不在 者投票指定施設	神奈川県 選挙管理委員会 委員長	公職選挙法施行令第 55条第2項、第4項2号	H3.10.1 選管178号	病院内において入院患者の不在者投票を 実施するための施設
神奈川DMAT-L指定 病院	神奈川県知事	神奈川DMAT-L運営要綱	H28.3.31	
神奈川DMAT指定病院	神奈川県知事	日本DMAT活動要領	H26.3.27	
管理栄養士を置かな ければならない特定給 食施設	横浜市長	健康増進法第21条第1 項	R3.5.31 指定番号第30号	
国立成育医療研究セ ンター妊娠と薬情報セ ンター拠点病院	妊娠と薬情報セ ンター長		R5.4.1～R8.3.31	

3 基本診療料、特掲診療料等施設基準一覧（令和5年5月1日時点）

(1) 基本診療料

届出施設基準項目	受理番号	算定開始年月日
情報通信機器を用いた診療に係る基準	(情報通信) 第366号	令和4年4月1日
初診料(歯科)の注1に掲げる基準	(歯初診) 第4298号	平成30年10月1日
歯科外来診療環境体制加算1	(外来環1) 第1997号	平成30年10月1日
特定機能病院入院基本料 一般病棟 7対1 結核病棟 7対1 精神病棟 7対1	(特定入院) 第1013号	平成30年10月1日
超急性期脳卒中加算	(超急性期) 第5号	平成20年4月1日
診療録管理体制加算1	(診療録1) 第78号	平成29年10月1日
救急医療管理加算	(救急医療) 第153号	令和2年4月1日
医師事務作業補助体制加算2 20対1	(事補2) 第187号	令和5年4月1日
急性期看護補助体制加算 25対1(看護補助者5割以上)	(急性看補) 第95号	令和3年10月1日
夜間100対1急性期看護補助体制加算	-	令和3年10月1日
夜間看護体制加算	-	令和3年10月1日
看護職員夜間配置加算 12対1配置加算1	(看夜配) 第9号	令和元年5月1日
療養環境加算	(療) 第64号	平成24年10月1日
重症者等療養環境特別加算	(重) 第161号	平成24年12月1日
無菌治療室管理加算1	(無菌1) 第6号	平成24年10月1日
無菌治療室管理加算2	(無菌2) 第10号	平成24年4月1日
放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合)	(放射治療) 第1号	令和4年4月1日
放射線治療病室管理加算(密封小線源による場合)	(放射密封) 第2号	令和4年4月1日
緩和ケア診療加算	(緩和診) 第9号	平成23年4月1日
精神科身体合併症管理加算	(精合併加算) 第5号	平成20年4月1日
精神科リエゾンチーム加算	(精リエ) 第3号	平成24年4月1日
摂食障害入院医療管理加算	(摂食障害) 第1号	平成22年4月1日
栄養サポートチーム加算	(栄養チ) 第130号	令和元年6月1日
重症患者初期支援充実加算	(重症初期) 第9号	令和4年4月1日
医療安全対策加算1	(医療安全1) 第2号	平成20年4月1日
感染対策向上加算1	(感染対策1) 第16号	令和4年4月1日
指導強化加算	-	令和4年4月1日
患者サポート体制充実加算	(患サポ) 第142号	平成24年5月1日
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	(褥瘡ケア) 第23号	平成19年7月1日
ハイリスク妊娠管理加算	(ハイ妊娠) 第12号	平成21年4月1日
ハイリスク分娩管理加算	(ハイ分娩) 第3号	平成21年4月1日
呼吸ケアチーム加算	(呼吸チ) 第33号	平成28年11月1日
後発医薬品使用体制加算1	(後発使1) 第185号	令和4年4月1日
病棟薬剤業務実施加算1	(病棟薬1) 第85号	平成26年12月1日
病棟薬剤業務実施加算2	(病棟薬2) 第7号	平成28年4月1日
データ提出加算2	(データ提) 第35号	平成24年10月1日
入退院支援加算1	(入退支) 第13号	令和2年5月1日
せん妄ハイリスク患者ケア加算	(せん妄ケア) 第94号	令和2年5月1日
精神疾患診療体制加算	(精疾診) 第13号	平成28年4月1日
精神科急性期医師配置加算	(精急医配) 第40号	令和2年9月1日
地域医療体制確保加算	(地医確保) 第49号	令和2年4月1日

届出施設基準項目	受理番号	算定開始年月日
特定集中治療室管理料1	(集1) 第6号	平成31年4月1日
早期離床・リハビリテーション加算	-	平成31年4月1日
早期栄養介入管理加算	-	令和4年4月1日
ハイケアユニット入院医療管理料1	(ハイケア1) 第7号	平成28年10月1日
新生児特定集中治療室管理料1	(新1) 第31号	平成27年5月1日
小児入院医療管理料2	(小入2) 第32号	令和5年2月1日
看護職員処遇改善評価料68	(看処遇68) 第2号	令和4年10月1日
無菌治療室管理加算1	-	令和4年4月1日
無菌治療室管理加算2	-	令和4年4月1日
養育支援体制加算	-	令和4年4月1日

(2) 特掲診療料

届出施設基準項目	受理番号	算定開始年月日
歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	(医管) 第483号	平成18年4月1日
ウイルス疾患指導料	(ウ指) 第6号	平成21年12月1日
心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	(遠隔ペ) 第57号	令和2年6月1日
糖尿病合併症管理料	(糖管) 第108号	平成21年12月1日
がん性疼痛緩和指導管理料	(がん疼) 第4号	平成22年4月1日
がん患者指導管理料イ	(がん指イ) 第3号	平成22年4月1日
がん患者指導管理料ロ	(がん指ロ) 第50号	平成26年6月1日
がん患者指導管理料ハ	(がん指ハ) 第32号	平成27年12月1日
がん患者指導管理料ニ	(がん指ニ) 第18号	令和2年4月1日
外来緩和ケア管理料	(外緩) 第5号	平成24年4月1日
移植後患者指導管理料(臓器移植後)	(移植管臓) 第12号	令和2年4月1日
移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	(移植管造) 第7号	平成26年3月1日
糖尿病透析予防指導管理料	(糖防管) 第23号	平成24年4月1日
小児運動器疾患指導管理料	(小運指管) 第72号	令和2年4月1日
乳腺炎重症化予防ケア・指導料	(乳腺ケア) 第8号	平成30年4月1日
婦人科特定疾患治療管理料	(婦特管) 第182号	令和2年4月1日
腎代替療法指導管理料	(腎代替管) 第4号	令和2年4月1日
二次性骨折予防継続管理料1	(二骨管1) 第36号	令和4年4月1日
二次性骨折予防継続管理料3	(二骨継3) 第84号	令和4年4月1日
夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算1	(救搬看体) 第88号	令和3年3月1日
外来放射線照射診療料	(放射診) 第11号	平成24年4月1日
外来腫瘍化学療法診療料1	(外化診1) 第37号	令和4年4月1日
連携充実加算	(外化連) 第82号	令和4年4月1日
ニコチン依存症管理料	(ニコ) 第508号	平成29年7月1日
療養・就労両立支援指導料の注3に掲げる相談支援加算	(両立支援) 第29号	令和3年12月1日
がん治療連携計画策定料	(がん計) 第1号	平成22年4月1日
肝炎インターフェロン治療計画料	(肝炎) 第4号	平成22年4月1日
ハイリスク妊産婦連携指導料1	(ハイ妊連1) 第26号	平成30年5月1日
薬剤管理指導料	(薬) 第25号	平成22年4月1日
医療機器安全管理料1	(機安1) 第13号	平成20年4月1日
医療機器安全管理料2	(機安2) 第4号	平成20年4月1日
医療機器安全管理料(歯科)	(機安歯) 第1号	平成20年4月1日
精神科退院時共同指導料2	(精退共) 第6号	令和2年4月1日
在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	(在電場) 第6号	平成30年9月1日

届出施設基準項目	受理番号	算定開始年月日
在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2	(在看) 第60号	令和3年3月1日
持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	(持血測) 第8号	平成26年4月1日
持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)	(持血測2) 第21号	令和2年5月1日
遺伝学的検査	(遺伝検) 第7号	平成28年4月1日
染色体検査の注2に規定する基準	(染色体) 第6号	令和4年4月1日
精密触覚機能検査	(精密触覚) 第15号	平成30年11月1日
骨髄微小残存病変量測定	(骨髄測) 第11号	令和元年8月1日
BRCA1/2遺伝子検査	(BRCA) 第5号	令和2年4月1日
がんゲノムプロファイリング検査	(がんプロ) 第20号	令和4年4月1日
抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	(抗HLA) 第7号	令和4年1月1日
HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	(HPV) 第3号	平成26年4月1日
検体検査管理加算(I)	(検I) 第70号	平成20年4月1日
検体検査管理加算(IV)	(検IV) 第2号	平成22年4月1日
国際標準検査管理加算	(国標) 第2号	平成28年4月1日
遺伝カウンセリング加算	(遺伝カ) 第8号	平成24年11月1日
遺伝性腫瘍カウンセリング加算	(遺伝腫カ) 第3号	令和2年4月1日
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	(血内) 第5号	平成17年4月1日
胎児心エコー法	(胎心エコ) 第2号	平成22年4月1日
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	(歩行) 第21号	平成24年4月1日
ヘッドアップティルト試験	(ヘッド) 第13号	平成24年4月1日
人工膝臓検査、人工膝臓療法	(人膝) 第6号	平成17年4月1日
長期継続頭蓋内脳波検査	(長) 第5号	平成17年4月1日
長期脳波ビデオ同時記録検査1	(脳ビ) 第1号	令和2年7月1日
脳波検査判断料1	(脳判) 第11号	平成30年11月1日
遠隔脳波診断	(遠脳) 第3号	令和3年8月1日
単線維筋電図	(単筋電) 第5号	令和2年5月1日
神経学的検査	(神経) 第23号	平成20年4月1日
補聴器適合検査	(補聴) 第8号	平成17年4月1日
黄斑局所網膜電図	(黄網電) 第4号	令和2年7月1日
全視野精密網膜電図	(全網電) 第9号	令和2年7月1日
ロービジョン検査判断料	(ロー検) 第6号	平成24年4月1日
コンタクトレンズ検査料1	(コン1) 第109号	平成28年4月1日
内服・点滴誘発試験	(誘発) 第3号	平成22年4月1日
CT透視下気管支鏡検査加算	(C気鏡) 第6号	平成24年4月1日
経気管支凍結生検法	(経気凍) 第6号	令和4年4月1日
画像診断管理加算1	(画1) 第56号	平成28年5月1日
画像診断管理加算3	(画3) 第3号	令和3年5月1日
ポジトロン断層撮影	(ポ断) 第32号	平成22年5月1日
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	(ポ断コ複) 第32号	平成22年5月1日
CT撮影及びMRI撮影	(C・M) 第538号	平成27年11月1日
冠動脈CT撮影加算	(冠動C) 第23号	平成20年8月1日
心臓MRI撮影加算	(心臓M) 第35号	平成20年8月1日
乳房MRI撮影加算	(乳房M) 第15号	平成28年4月1日
頭部MRI撮影加算	(頭部M) 第10号	令和3年5月1日
肝エラストグラフィ加算	(肝エラ) 第2号	令和4年4月1日
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	(抗悪処方) 第4号	平成22年4月1日

届出施設基準項目	受理番号	算定開始年月日
外来化学療法加算1	(外化1) 第58号	平成27年3月1日
連携充実加算	(外化連) 第51号	令和3年1月1日
無菌製剤処理料	(菌) 第12号	平成20年4月1日
心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	(心Ⅰ) 第73号	平成30年4月1日
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	(脳Ⅰ) 第5号	平成24年4月1日
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	(運Ⅰ) 第4号	平成24年4月1日
呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	(呼Ⅰ) 第9号	平成24年4月1日
摂食機能療法の注3に掲げる摂食嚥下機能回復体制加算2	(摂嚥回2) 第1号	令和4年4月1日
がん患者リハビリテーション料	(がんリハ) 第19号	平成24年9月1日
歯科口腔リハビリテーション料2	(歯リハ2) 第24号	平成26年4月1日
児童思春期精神科専門管理加算	(児春専) 第2号	平成28年4月1日
認知療法・認知行動療法1	(認1) 第46号	平成30年12月1日
精神科ショート・ケア「小規模なもの」	(シヨ小) 第1号	平成18年4月1日
抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	(抗治療) 第5号	平成24年4月1日
医療保護入院等診療料	(医療保護) 第43号	平成17年4月1日
硬膜外自家血注入	(血入) 第6号	平成28年4月1日
エタノールの局所注入(甲状腺)	(エタ甲) 第37号	平成17年4月1日
エタノールの局所注入(副甲状腺)	(エタ副甲) 第7号	平成17年4月1日
人工腎臓1	(人工腎臓) 第71号	平成30年4月1日
導入期加算2及び腎代替療法実績加算	(導入2) 第6号	令和2年4月1日
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	(透析水) 第65号	平成24年5月1日
下肢末梢動脈疾患指導管理加算	(肢梢) 第93号	平成28年6月1日
難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法	(難重尿) 第6号	令和4年4月1日
移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	(移後拒) 第3号	令和4年4月1日
CAD/CAM冠	(歯CAD) 第1048号	平成26年9月1日
センチネルリンパ節加算	(セ節) 第1号	平成22年4月1日
四肢・軀幹部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	(処骨) 第1号	令和2年4月1日
組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	(組再乳) 第22号	平成27年1月1日
骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。)))	(同種) 第4号	平成29年4月1日
骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	(自家) 第1号	平成26年3月1日
椎間板内酵素注入療法	(椎酵注) 第41号	令和2年5月1日
脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	(脳刺) 第8号	平成17年4月1日
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	(脊刺) 第17号	平成17年4月1日
癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	(癒脊膜) 第6号	令和4年4月1日
角結膜悪性腫瘍切除手術	(角結悪) 第4号	令和4年4月1日
緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	(緑内イ) 第4号	平成26年4月1日
緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	(緑内眼ド) 第13号	平成30年4月1日
緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))	(緑内ne) 第21号	令和4年4月1日
網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	(硝切) 第2号	平成24年4月1日
網膜再建術	(網膜再) 第10号	平成26年5月1日
経外耳道的内視鏡下鼓室形成術	(経内鼓) 第7号	令和4年4月1日
植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	(植補聴) 第6号	平成25年3月1日

届出施設基準項目	受理番号	算定開始年月日
内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)	(内鼻V腫) 第3号	平成26年4月1日
鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(鏡咽喉悪) 第3号	令和4年4月1日
内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)	(内筋ボ) 第4号	令和4年4月1日
鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	(鏡喉悪) 第3号	令和2年4月1日
喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)	(喉頭形成) 第3号	令和4年5月1日
顎関節人工関節全置換術	(顎人工) 第5号	令和4年1月1日
内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下パセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術	(内下) 第4号	平成30年6月1日
内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術	(内甲悪) 第1号	平成30年6月1日
頭頸部悪性腫瘍光線力学療法	(頭頸悪光) 第3号	令和4年4月1日
乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)	(乳セ1) 第4号	平成25年4月1日
乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)	(乳セ2) 第4号	平成25年4月1日
乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	(乳腫) 第20号	平成28年5月1日
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	(ゲル乳再) 第22号	平成27年1月1日
胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(胸腔拡胸支) 第3号	令和2年8月1日
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(胸腔縦悪支) 第2号	平成31年4月1日
胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(胸腔縦支) 第2号	平成31年4月1日
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(胸腔肺悪) 第3号	令和元年8月1日
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)	(胸腔形成) 第6号	令和4年4月1日
胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(胸腔食悪支) 第6号	令和4年8月1日
食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	(穿瘻閉) 第14号	平成30年4月1日
経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	(経特) 第49号	令和2年4月1日
不整脈手術 左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)	(不整胸腔) 第5号	令和4年5月1日
経皮的中隔心筋焼灼術	(経中) 第36号	平成20年4月1日
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	(ペ) 第91号	平成17年4月1日
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	(ペリ) 第4号	平成30年4月1日
両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)	(両ぺ心) 第8号	令和2年5月1日
両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	(両ぺ静) 第17号	平成18年4月1日
植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)	(除心) 第11号	令和2年5月1日
植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術	(除静) 第7号	平成17年4月1日
両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)	(両除心) 第11号	令和2年5月1日
両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	(両除静) 第2号	平成20年4月1日
大動脈バルーンポンピング法(IABP法)	(大) 第48号	平成17年4月1日
経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	(経循補) 第6号	平成30年8月1日
補助人工心臓	(補心) 第4号	平成17年4月1日
植込型補助人工心臓(非拍動流型)	(植補心非) 第2号	平成30年4月1日

届出施設基準項目	受理番号	算定開始年月日
経皮的下肢動脈形成術	(経下肢動) 第7号	令和2年4月1日
腹腔鏡下リンパ群郭清術(側方)	(腹リ傍側) 第14号	令和4年4月1日
腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、等	(腹小切) 第1号	平成26年4月1日
腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	(腹十二局) 第16号	令和4年7月1日
腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(腹胃切支) 第2号	平成30年4月1日
腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(腹側胃切支) 第2号	平成30年4月1日
腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(腹胃全) 第2号	平成30年4月1日
バルーン閉塞下経静脈的塞栓術	(バ経静脈) 第2号	平成30年4月1日
腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)	(腹胆床) 第14号	令和4年4月1日
胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	(胆腫) 第12号	平成28年4月1日
体外衝撃波胆石破碎術	(胆) 第2号	平成17年4月1日
腹腔鏡下肝切除術	(腹肝) 第1号	平成29年1月1日
生体部分肝移植術	(生) 第1号	平成17年4月1日
腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	(腹膵腫瘍) 第7号	平成30年4月1日
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	(腹膵切) 第8号	平成24年4月1日
腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合を除く。)	(腹膵頭) 第2号	平成30年7月1日
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	(早大腸) 第12号	平成24年4月1日
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(腹結悪支) 第2号	令和4年7月1日
腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術、低位前方切除術及び切断術に限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(腹直腸切支) 第1号	平成30年4月1日
腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(腹腎形支) 第3号	令和2年4月1日
体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	(腎) 第19号	平成17年4月1日
腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	(腎凝固) 第6号	平成30年4月1日
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	(腹腎尿支器) 第4号	平成28年11月1日
膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)	(膀胱ハ間) 第41号	令和4年4月1日
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(腹膀胱悪支) 第3号	平成30年7月1日
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	(腹膀胱) 第4号	平成24年4月1日
腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術	(腹小膀胱悪) 第6号	平成26年4月1日
人工尿道括約筋植込・置換術	(人工尿) 第8号	平成28年4月1日
膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)	(膀胱埋嚢) 第12号	令和4年4月1日
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	(腹前) 第8号	平成26年4月1日
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	(腹前支器) 第10号	平成26年5月1日
腹腔鏡下仙骨腫固定術	(腹仙骨固) 第17号	令和元年5月1日
腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(腹腔子内支) 第15号	令和4年12月1日
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(腹子悪内支) 第4号	令和2年10月1日
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	(腹子) 第4号	平成26年4月1日
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)	(腹子頸) 第16号	令和元年5月1日
腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術	(腹癒修) 第10号	令和4年4月1日
医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	(胃瘻造) 第203号	令和5年4月1日
医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)	(乳切遺伝) 第21号	令和4年4月1日
医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)	(子宮附遺伝) 第16号	令和4年4月1日
輸血管理料 I	(輸血 I) 第52号	平成24年4月1日
輸血適正使用加算	(輸適) 第127号	平成30年4月1日

届出施設基準項目	受理番号	算定開始年月日
コーディネート体制充実加算	(コ体充) 第5号	令和元年7月1日
自己生体組織接着剤作成術	(自生接) 第2号	平成24年4月1日
自己クリオブレシピテート作製術(用手法)	(自己ク) 第3号	平成30年4月1日
同種クリオブレシピテート作製術	(同種ク) 第1号	令和2年4月1日
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	(造設前) 第22号	平成24年4月1日
胃瘻造設時嚥下機能評価加算	(胃瘻造嚥) 第142号	令和5年4月1日
歯周組織再生誘導手術	(GTR) 第36号	平成20年4月1日
広範囲顎骨支持型装置埋込手術	(人工歯根) 第11号	平成24年4月1日
歯根端切除手術の注3	(根切顕微) 第668号	令和5年1月1日
麻酔管理料(Ⅰ)	(麻管Ⅰ) 第3号	平成17年4月1日
麻酔管理料(Ⅱ)	(麻管Ⅱ) 第22号	平成22年6月1日
放射線治療専任加算	(放専) 第18号	平成17年4月1日
外来放射線治療加算	(外放) 第4号	平成20年4月1日
高エネルギー放射線治療	(高放) 第84号	平成17年4月1日
1回線量増加加算	(増線) 第11号	平成26年4月1日
強度変調放射線治療(IMRT)	(強度) 第1号	平成20年4月1日
画像誘導放射線治療(IGRT)	(画誘) 第2号	平成30年10月1日
体外照射呼吸性移動対策加算	(体対策) 第6号	平成24年4月1日
定位放射線治療	(直放) 第12号	平成20年10月1日
定位放射線治療呼吸性移動対策加算	(定対策) 第7号	平成24年4月1日
画像誘導密封小線源治療加算	(誘密) 第7号	令和4年10月1日
病理診断管理加算2	(病理診2) 第6号	平成24年4月1日
悪性腫瘍病理組織標本加算	(悪病組) 第8号	平成30年4月1日
クラウン・ブリッジ維持管理料	(補管) 第639号	平成17年4月1日
歯科矯正診断料	(矯診) 第147号	平成22年4月1日
顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)	(顎診) 第108号	平成18年4月1日
酸素の購入単価	(酸単) 第43192号	平成31年4月1日

(3)入院時食事療養

届出施設基準項目	受理番号	算定開始年月日
入院時食事療養(Ⅰ)	(食) 第486号	平成17年4月1日

(4)選定療養費

届出施設基準項目	受理番号	算定開始年月日
入院医療に係る特別の療養環境の提供	-	平成26年4月1日
特定機能病院及び地域医療支援病院(一般病床200以上)の初診	-	平成28年7月1日
特定機能病院及び地域医療支援病院(一般病床200以上)の再診	-	平成28年7月1日
入院期間が180日を超える入院	-	平成19年8月1日
白内障に罹患している患者に対する水晶体再建術に使用する眼鏡装着率の軽減効果を有する多焦点眼内レンズの支給	-	令和2年7月1日

※手術の通則で定められている掲示が必要な手術の実施件数

区 分	手術実施件数(1~12月実績)				
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
区分1に分類される手術					
(ア) 頭蓋内腫瘍摘出術等	123	123	130	143	144
(イ) 黄斑下手術等	252	274	250	185	217
(ウ) 鼓室形成手術等	28	31	29	50	35
(エ) 肺悪性腫瘍手術等	101	114	121	152	122
(オ) 経皮的カテーテル心筋焼灼術	202	197	147	161	116
区分2に分類される手術					
(ア) 靭帯断裂形成手術等	17	24	41	51	41
(イ) 水頭症手術等	43	52	59	38	64
(ウ) 鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	5	8	5	1	4
(エ) 尿道形成手術等	8	2	1	2	2
(オ) 角膜移植術	0	0	0	0	0
(カ) 肝切除術等	123	137	134	118	118
(キ) 子宮附属器悪性腫瘍手術等	44	36	40	41	40
区分3に分類される手術					
(ア) 上顎骨形成術等	35	39	58	48	74
(イ) 上顎骨悪性腫瘍手術等	70	59	62	81	65
(ウ) バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)	5	1	3	4	9
(エ) 母指化手術等	14	14	9	17	12
(オ) 内反足手術等	0	0	1	1	1
(カ) 食道切除再建術等	12	7	7	5	13
(キ) 同種死体腎移植術等	0	0	0	0	0
区分4に分類される手術の件数	730	736	733	746	810
その他の区分に分類される手術					
人工関節置換術	145	172	226	220	244
乳児外科施設基準対象手術	1	1	2	1	2
ペースメーカー移植術及び ペースメーカー交換術	73	70	74	73	92
冠動脈、大動脈バイパス移植術(人工 心肺を使用しないものを含む。)及び 体外循環を要する手術	105	105	100	113	107
経皮的冠動脈形成術					
急性心筋梗塞に対するもの	2	1	0	2	4
不安定狭心症に対するもの	5	4	1	4	5
その他のもの	14	24	10	15	16
経皮的冠動脈粥腫切除術	4	6	3	1	0
経皮的冠動脈ステント留置術					
急性心筋梗塞に対するもの	3	10	4	3	2
不安定狭心症に対するもの	13	14	13	12	10
その他のもの	118	100	69	67	68

4 先進医療（令和5年4月1日現在）

医療技術名	承認年月日(番号)	実施承認診療科
LDLアフェレンス療法 閉塞性動脈硬化症(薬物療法に抵抗性を有するものであり、かつ、血行再建術及び血管内治療が困難なものであって、フォンタン分類ⅡB度以上のものに限る)	27. 11. 1 (先-266) 第1号	腎臓・高血圧内科
自家骨髄単核球移植による下肢血管再生治療バージャー病(従来の治療法に抵抗性を有するものであって、フォンタン分類Ⅲ度又はⅣ度のものに限る)	30. 4. 1 (先-301) 第1号	循環器内科
S-1内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法 膵臓がん(遠隔転移しておらず、かつ、腹膜転移を伴うものに限る)	2. 4. 1 (先-294) 第1号	消化器外科
自家骨髄単核球移植による血管再生治療(全身性強皮症(難治性皮膚潰瘍を伴うものに限る))	3. 7. 1 (先-341) 第1号	血液・リウマチ・感染症内科

5 学会認定研修施設等（令和5年5月1日現在）

認定内容	
1	日本医学放射線学会放射線科専門医総合修練機関(画像診断・IVR、核医学、放射線治療)
2	日本麻酔科学会麻酔科認定病院
3	日本脳神経外科学会専門医研修プログラム基幹施設
4	日本口腔外科学会専門医制度認定研修施設
5	日本病理学会研修認定施設
6	日本整形外科学会認定研修施設
7	日本泌尿器科学会専門医教育施設
8	日本リハビリテーション医学会研修施設
9	日本消化器病学会認定施設
10	日本呼吸器学会認定施設
11	日本糖尿病学会認定教育施設
12	日本核医学会専門医教育病院
13	日本腎臓学会認定教育施設
14	日本アレルギー学会認定アレルギー専門医教育研修施設(呼吸器内科)
15	日本眼科学会専門医制度眼科研修プログラム施行施設
16	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会専門研修プログラム基幹施設
17	日本リウマチ学会教育施設
18	日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
19	日本皮膚科学会認定専門医主研修施設
20	日本人類遺伝学会・日本遺伝カウンセリング学会認定臨床遺伝専門医制度研修施設
21	日本輸血・細胞治療学会認定医制度指定施設
22	日本消化器外科学会専門医修練施設
23	日本外科学会外科専門医制度修練施設
24	日本消化器内視鏡学会認定指導施設
25	日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
26	日本老年医学会認定施設
27	日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修施設
28	日本透析医学会認定医制度認定施設
29	日本血液学会認定専門医研修認定施設

認定内容	
30	日本小児科学会小児科専門医研修施設
31	日本集中治療医学会専門医研修施設
32	日本内科学会専門医研修プログラム基幹施設
33	日本老年精神医学会専門医制度認定施設
34	日本アフェシス学会認定施設
35	日本神経学会専門医制度認定教育施設
36	呼吸器外科専門研修基幹施設
37	日本臨床細胞学会認定施設
38	心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
39	日本脳卒中学会認定研修教育病院
40	日本内分泌学会認定教育施設
41	日本周産期・新生児医学会基幹認定施設(母体・胎児)
42	日本東洋医学会研修施設
43	日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設
44	日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設
45	日本気管食道科学会認定気管食道科専門医研修施設(咽喉系)
46	日本臨床腫瘍学会認定研修施設
47	認定輸血検査技師制度指定施設
48	日本感染症学会認定研修施設
49	日本手外科学会認定研修施設
50	日本がん治療認定医機構認定研修施設
51	日本小児循環器学会専門医修練施設
52	日本高血圧学会専門医認定施設
53	日本肝胆膵外科学会肝胆膵外科高度技能専門医修練施設A
54	日本ステントグラフト実施基準管理委員会認定腹部大動脈瘤実施施設
55	日本緩和医療学会認定研修施設
56	日本臨床細胞学会教育研修施設
57	日本頭頸部外科学会認定頭頸部がん専門医研修施設
58	日本認知症学会教育施設
59	日本心血管インターベンション治療学会研修施設
60	日本ステントグラフト実施基準管理委員会認定胸部大動脈瘤実施施設
61	認定臨床微生物検査技師制度研修施設
62	日本小児血液・がん学会認定小児血液・がん専門医研修施設
63	日本脊髄外科学会認定訓練施設
64	日本胆道学会認定指導施設
65	日本口腔診断学会認定研修機関
66	日本肝臓学会認定施設
67	日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設
68	日本アレルギー学会認定アレルギー専門医教育研修施設(皮膚科)
69	日本脈管学会認定研修指定施設
70	日本食道学会食道外科専門医認定施設
71	日本カプセル内視鏡学会認定指導施設
72	心臓血管麻酔専門医認定施設
73	日本消化管学会胃腸科指導施設
74	日本口腔腫瘍学会口腔がん専門医制度指定研修施設

認 定 内 容	
75	日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会 インプラント実施施設
76	日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会 エキスパンダー実施施設
77	日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設
78	日本甲状腺学会認定専門医施設
79	日本大腸肛門病学会認定関連施設
80	日本医療薬学会認定がん専門薬剤師研修施設
81	日本内分泌外科学会専門医制度認定施設
82	神奈川県医師会母体保護法指定医師研修機関
83	日本乳癌学会認定施設
84	日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修施設
85	日本口腔科学会認定研修施設
86	日本放射線腫瘍学会認定施設A
87	日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科専門医基幹研修施設
88	日本浅大腿動脈ステントグラフト実施施設
89	日本女性医学学会認定研修施設
90	日本アウエイクサージェリー学会認定施設(覚醒下手術施設認定)
91	日本造血・免疫細胞療法学会(血液・リウマチ・感染症内科)
92	日本造血・免疫細胞療法学会(小児科)
93	植込型補助人工心臓治療関連学会協議会認定施設
94	日本脳神経血管内治療学会認定研修施設
95	日本専門医機構麻酔科領域専門研修プログラム認定施設
96	遺伝性乳癌卵巣癌総合診療基幹施設
97	日本遺伝性腫瘍学会遺伝性腫瘍研修施設
98	日本呼吸器内視鏡学会認定施設
99	日本専門医機構形成外科専門研修プログラム基幹研修プログラム基幹施設
100	日本アレルギー学会認定アレルギー専門医教育研修施設(血液・リウマチ・感染症内科)
101	日本てんかん学会認定准研修施設
102	日本作業療法士協会臨床実習指導施設
103	日本膵臓学会認定指導施設
104	日本呼吸療法医学会専門医研修施設認定
105	日本成人先天性心疾患学会認定成人先天性心疾患専門医総合修練施設
106	日本先天性心疾患インターベンション学会施設認定(経皮心房中隔欠損閉鎖術)
107	日本先天性心疾患インターベンション学会施設認定(経皮動脈管閉鎖術)
108	日本臨床神経生理学会認定施設(脳波分野、筋電図・神経伝導分野)
109	日本血液学会認定専門研修認定施設(血液・リウマチ・感染症内科)
110	日本血液学会認定専門研修認定施設(小児科)
111	日本臨床薬理学会専門医制度研修施設
112	日本IVR学会専門医修練施設
113	日本緩和医療薬学会認定緩和医療専門薬剤師研修施設
114	日本脊椎脊髄病学会椎間板酵素注入療法実施可能施設
115	日本神経病理学会認定施設
116	日本病態栄養学会認定栄養管理・NST実施施設
117	日本耳科学会耳科手術認可研修施設
118	日本循環器学会トランスサイレチン型心アミロイドーシスに対するビンダゲル導入施設
119	日本救急医学会指導医指定施設

認 定 内 容	
120	日本免疫不全・自己炎症学会連携施設
121	日本鼻科学会認定手術指導医制度認可施設
122	日本医学放射線学会画像診断管理認証施設
123	日本アレルギー学会認定アレルギー領域専門研修基幹施設
124	こどものこころ専門医研修施設
125	日本専門医機構救急科領域専門研修プログラム認定施設
126	日本臨床腫瘍薬学会がん診療病院連携研修施設
127	日本胃癌学会認定施設
128	日本専門医機構病理領域専門研修プログラム基幹施設
129	日本専門医機構臨床検査専門研修プログラム基幹施設
130	日本脳卒中学会認定一次脳卒中センター(PSC)
131	日本専門医機構総合診療専門研修プログラム基幹施設
132	日本専門医機構放射線科領域専門研修プログラム基幹施設
133	日本腹部救急医学会認定施設
134	日本専門医機構整形外科領域専門研修プログラム基幹施設
135	国立成育医療研究センター妊娠と薬情報センター拠点病院
136	日本病院薬剤師会HIV感染症薬物療法認定薬剤師養成研修施設
137	日本専門医機構皮膚科領域専門研修プログラム基幹施設

3 施 設 概 要

用地および建物

(1) 用 地

病院棟等	金沢区福浦三丁目9番地	27,296㎡ (全体敷地:94,470㎡)
看護職員宿舎	金沢区柴町379番地1メゾン白バラ	8,117㎡

(2) 建物名称および竣工年月日

建 物 名	延床面積(㎡)	竣工年月日	構 造
病 院 棟	57,115	平成3年3月30日	S造(1部SRC造)
エネルギーセンター棟	2,361	平成3年3月30日	RC造
立 体 駐 車 場	3,371	平成19年12月28日	S造
研 修 棟	1,528	平成21年7月31日	RC造
看 護 職 員 宿 舎	6,991	平成3年2月28日	RC造
合 計	71,366		

(3) 部門別面積

(㎡)

部 門	建 物 名	延床面積(㎡)	管 理 部 門	管 理 部 門	管 理 部 門	管 理 部 門
病 棟	病 室	5,306	管 理 部 門	心 理 検 査 室	外来に含む	
	看 護 諸 室	4,832		血 液 浄 化 セ ン タ ー	544	
	分 娩 室	362		小 計	13,426	
外 来	N I C U	129	管 理 部 門	事 務 室	1,534	
	院 内 学 級	118		会 議 室	同上に含む	
	廊 下 ・ 機 械 室 等	6,798		倉 庫	同上に含む	
	小 計	17,545		保 育 所	414	
中 央 診 療 部 門	各 科 外 来 診 療 科	4,424	管 理 部 門	医 療 情 報 部	393	
	救 急 ・ 外 来 手 術 室	638		病 歴 室	160	
	小 計	5,062		防 災 セ ン タ ー	108	
中 央 診 療 部 門	検 査 部 門	1,513	管 理 部 門	看 護 師 更 衣 室	198	
	緊 急 検 査	同上に含む		治 験 薬 事 務 室 ・ 管 理 室	55	
	生 理 検 査	548		そ の 他	450	
	小 計	2,061		小 計	3,312	
中 央 診 療 部 門	病 院 病 理 部	312	サ ー ビ ス 部 門	物 品 管 理 部 門 (SPD ・ ME ・ ベッド)	1,049	
	放 射 線 部 門	1,929		栄 養 部 門	820	
	診 断 (MRI 共)	1,463		洗 濯 リ ネ ン 部 門	215	
	治 療 ・ R I	1,463		食 堂 ・ 売 店 ・ 理 容 ・ 郵 便 局	799	
中 央 診 療 部 門	中 央 手 術 室	2,593	サ ー ビ ス 部 門	電 気 ・ 機 械 室	3,024	
	I C U	642		コ ン ビ ニ 等	219	
	C C U	225		そ の 他	408	
	A C U	236		小 計	6,534	
中 央 診 療 部 門	H C U	176	教 育 部 門	教 室 等	医学部	
	内 視 鏡 セ ン タ ー	576		臨 床 講 堂	417	
	化 学 療 法 セ ン タ ー	289		学 生 更 衣 室 ・ 控 室	医学部	
	薬 剤 部	925		研 究 室	医学部	
中 央 診 療 部 門	滅 菌 室	632	教 育 部 門	図 書 室	医学部	
	リ ハ ビ リ 部 門	625		小 計	417	
	輸 血 ・ 細 胞 治 療 部	147		共 用 部 門 (廊 下 ・ 階 段 ・ ホール ・ 便 所 ・ PS)	10,819	
	再 生 細 胞 治 療 セ ン タ ー	51		合 計	57,115	

4 診療体制

1 診療科目 (令和5年6月1日現在)

血液・リウマチ・感染症内科、呼吸器内科、循環器内科、腎臓・高血圧内科、消化器内科、内分泌・糖尿病内科、臨床腫瘍科、小児科、精神科、皮膚科、放射線診断科、放射線治療科、呼吸器外科、消化器・一般外科、乳腺・甲状腺外科、乳腺外科、心臓血管外科・小児循環器、消化器外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、眼科、耳鼻いんこう科、歯科・口腔外科・矯正歯科、産婦人科、泌尿器科、麻酔科、リハビリテーション科、児童精神科、脳神経内科、脳卒中科、病理診断科、遺伝子診療科、総合診療科、がんゲノム診断科、救急科、難病ゲノム診断科、緩和医療科

2 外来診療時間

午前9時から午後4時まで(休診日を除く)

(休診日)

- (1) 日曜日および土曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日
- (3) 1月2日、1月3日および12月29日から12月31日まで

3 病床数 674床 (令和5年6月1日現在)

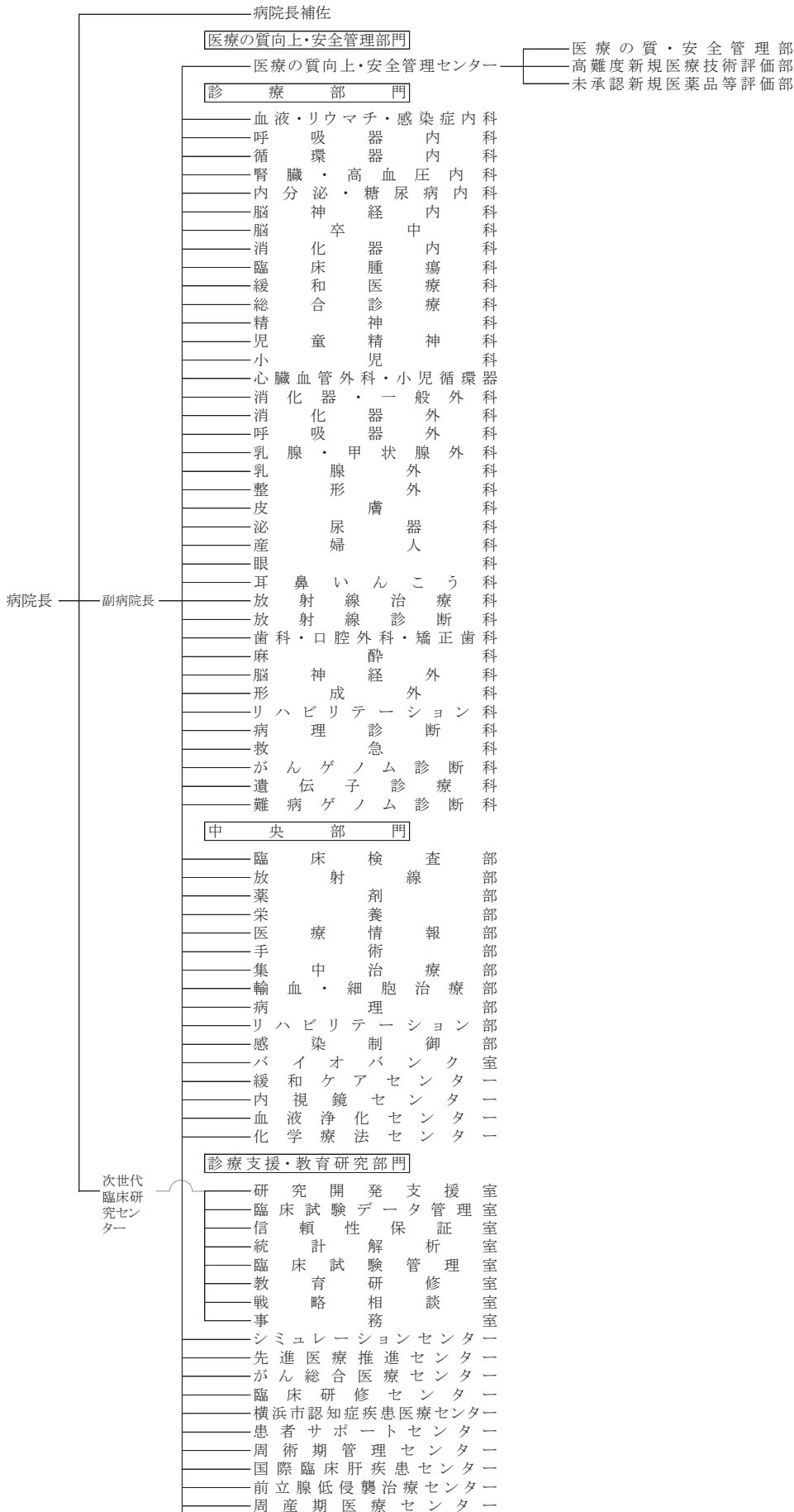
一般病床 632床、精神病床 26床、結核病床 16床

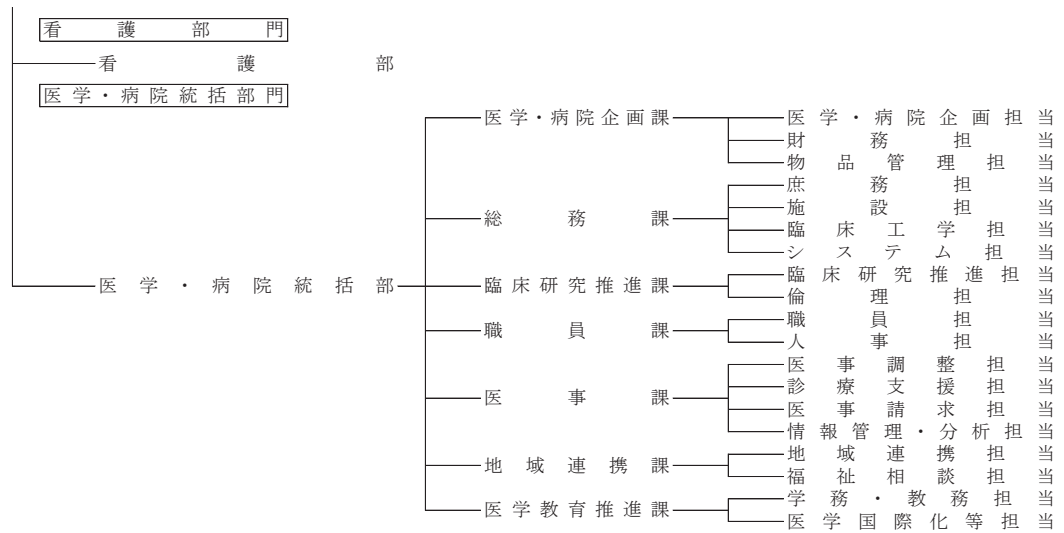
※一般病床には、ICU、HCU、CCU、NICU、ACU、臨床試験専用病床20床を含む。

科名	病床数	科名	病床数	科名	病床数
血液・リウマチ・感染症内科	32	心臓血管外科・小児循環器	14	救急科	6
呼吸器内科	20	消化器外科	33	結核	16
循環器内科	17	整形外科	45	感染症	5
腎臓・高血圧内科	12	形成外科	9	個室	29
消化器内科	40	脳神経外科	19	共用	78
内分泌・糖尿病内科	11	眼科	18	無菌室	5
臨床腫瘍科	9	耳鼻いんこう科	23	I C U (集中治療室)	8
小児科	24	歯科・口腔外科・矯正歯科	12	H C U (ハイケアユニット)	8
精神科	26	産婦人科	36	C C U (冠動脈疾患集中治療室)	4
皮膚科	13	泌尿器科	22	A C U (急性期ケアユニット)	6
呼吸器外科	6	リハビリテーション科	2	N I C U (新生児特定集中治療室)	9
消化器・一般外科	10	脳神経内科	15	臨床試験専用	20
乳腺・甲状腺外科	3	脳卒中科	6		
乳腺外科	2	緩和医療科	1		

5 組 織

1 組 織 図 (令和5年4月1日現在)





2 病院の管理職員 (令和5年4月1日現在)

病院長	後藤 隆久
副病院長	田村 功一
副病院長	山本 哲哉
副病院長	前田 慎
副病院長	鈴木 久美子
病院長補佐 (兼)	菊地 龍明
病院長補佐 (兼)	藤井 誠志
病院長補佐 (兼)	西井 鉄平

医療の質向上・安全管理部門

医療の質向上・安全管理センター長 (統括安全管理者) (兼)	前田 慎
医療の質・安全管理部長 (安全管理指導者)	菊地 龍明
高難度新規医療技術評価部長 (兼)	山本 哲哉
未承認新規医薬品等評価部長 (兼)	田村 功一
医療の質・安全管理部担当課長 (兼)	島田 朋子
医療の質・安全管理部担当課長 (兼)	岸田 純也
医療の質・安全管理部担当係長 (兼)	佐々木 琢也
医療の質・安全管理部担当係長 (兼)	斉藤 佳代子
医療の質・安全管理部担当係長	伊東 香里

診療部門

○ 診療科			
血液・リウマチ・感染症内科	部	長	中島 秀明
呼吸器内科	部	長	金子 猛潔
循環器内科	部	長	日比 功一
腎臓・高血圧内科	部	長 (兼)	田村 内康
内分泌・糖尿病内科	部	長	寺内 中章
脳神経内科	部	長	田中 中章
脳卒中中	科	長 (兼)	田中 中章
消化器内科	部	長 (兼)	前田 中島
消化器内科 (肝胆膵消化器病学)	部	長	中市 島川
臨床腫瘍科	部	長	市川 靖史
緩和医療科	部	長 (兼)	市川 靖史
総合診療科	部	長	太田 光泰
精神科	部	長 (兼)	後藤 隆久
児童精神科	部	長 (兼)	後藤 隆久
小児科	部	長	伊藤 藤秀
心臓血管外科・小児循環器科	部	長	齋藤 野
消化器・一般外科	部	長	利遠 野
消化器外科	部	長	利遠 野
呼吸器外科	部	長 (兼)	利遠 野
乳腺・甲状腺外科	部	長 (兼)	利遠 野

診療支援・教育研究部門

- 次世代臨床研究センター
- シミュレーションセンター
- 先進医療推進センター
- がん総合医療センター
- 臨床研修センター
- 横浜市認知症疾患医療センター
- 患者サポートセンター
- 周術期管理センター
- 国際臨床肝疾患センター
- 前立腺低侵襲治療センター
- 周産期医療センター

センター長(兼)
副センター長
研究開発支援室長
臨床試験データ管理室長
信頼性保証室長(兼)
信頼性保証室担当係長
統計解析室長
臨床試験管理室長
教育研修室長(兼)
戦略相談室長
事務室長(兼)
臨床試験管理担当係長(兼)
CRC担当係長
事務室担当係長(兼)
同(兼)
センター長
センター長(兼)
副センター長(兼)
センター長(兼)
副センター長(兼)
副センター長(兼)
副センター長(兼)
センター長
副センター長(兼)
同
センター長
センター長(兼)
副センター長(兼)
同(兼)
同(兼)
同
同
センター長(兼)
副センター長
同
センター長兼担当部長
センター長(兼)
センター長(兼)

宮城悦子
田野島玲大
瀬貫孝太郎
國分太覚
岸田純也
後藤洋仁
山本紘司
柳田洋一
田野島玲大
小林雄祐
小室谷洋一
後藤洋仁
土屋美枝
椋木達也
長安省吾
秋山浩利
折館伸彦
前田慎史
市川靖史
堀田信之
畑千秋
川邊桂
稲森正彦
前田慎彦
日下部明剛
浅見功一
田村久美子
鈴木久美子
日下部明彦
稲葉裕知
來生知介
水野祐寛
藤本山周平
南田正人
米田和秀
榎山和秀
倉澤健太郎

看護部門

- 看護部

看護部長(兼)
副看護部長
同
同
同
同
同
同
課長補佐・看護師長
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同

鈴木久美子
木脇美由紀
館弘美子
加藤淳子
田中千秋
畑永知恵
友川真澄
川口朋子
島田朋子
玉井ゆう子
三浦友也
川合淑子
井上純子
斉藤佳代子
金井静絵
鈴木明子
櫻井美恵子
豊屋章子
立石由佳
前原則子
村野裕子
中村加奈

2 診療科別医師・歯科医師数

(令和5年4月1日現在)

診療科	医学部教員	病院教員	診療医			初期研修医
			指導診療医	後期研修医	非常勤	
病院長		1				
医療の質・安全管理部		1				
血液・リウマチ・感染症内科	7	4	3	4	12	
呼吸器内科	4	4	2	1	6	
循環器内科	5	3	3	1	4	
腎臓・高血圧内科	4	2	1	3	9	
内分泌・糖尿病内科	3	2	1	4	3	
脳神経内科	6	4	5	3	6	
脳卒中科						
消化器内科	7	3	3	3	14	
臨床腫瘍科	3	2				
緩和医療科		3				
総合診療科	1			1	1	
精神科	3	5		6	8	
児童精神科		1	1	1	4	
小児科	6	6	7	4	13	
心臓血管外科・小児循環器	2	2	3	1		
消化器・一般外科	5	3	1	1		
呼吸器外科		2		2		
乳腺・甲状腺外科	1	2				
消化器外科	8	5	7	2	5	
乳腺外科	1	1			1	
整形外科	6	8	6		13	
皮膚科	6	2		7	12	
泌尿器科	5	3	2	5		
産婦人科	7	6	3	7	2	
眼科	6	2	2	5	11	
耳鼻いんこう科	6	3	1	4	6	
放射線治療科	3	2	2	2		
放射線診断科	5	7	3	7	2	
歯科・口腔外科・矯正歯科	6	3	3	3	5	
麻酔科	7	11		17	7	
脳神経外科	6	2	1	4	2	
形成外科	2	2	3	3		
リハビリテーション科	2	3	1	2		
病理診断科	5	2	1	4	2	
救急科	4	4	1	3		
がんゲノム診断科		1	1			
遺伝子診療科		2			2	
難病ゲノム診断科		2			1	
臨床検査部		3		1		
医療情報部	1					
手術部		1				
集中治療部		7		4		
輸血・細胞治療部		1				
感染制御部		3				
バイオバンク室		1				
内視鏡センター		4	2			
血液浄化センター		1	1	1	1	
化学療法センター		1				
CCU		2	2			
中央無菌室		1				
次世代臨床研究センター		5	1			
臨床研修センター		2				73
周術期管理センター		1				
国際臨床肝疾患センター		3				
前立腺低侵襲治療センター		1				
合計	143	158	73	116	(※※)152	73

(※※)常勤換算 31.55名

3 看護体制・部署構成表

令和5年4月1日現在

部署	病床数	許可病床数	夜勤体制	診療科構成等
6-1病棟	34	34	4:3	小児科、心臓血管外科・小児循環器
N I C U	9	9	3:3	
6-2病棟	46	48	4:4	産婦人科、脳神経内科
6-3病棟	28	28	5:5	救急、脳神経内科、脳卒中科
中央無菌室	5	5		中央無菌病室、救急無菌室
6-4病棟	26	26	2:2	精神科
7-1病棟	42	42	3:4	心臓血管外科・小児循環器、消化器・一般外科、乳腺・甲状腺外科、呼吸器外科、呼吸器内科
7-2病棟	45	47	3:3	整形外科、リハビリテーション科、脳卒中科
7-3病棟	40	40	3:3	脳神経外科、形成外科、脳卒中科、整形外科、歯科・口腔外科・矯正歯科
7-4病棟	42	44	4:3	消化器外科、乳腺外科、歯科・口腔外科・矯正歯科
8-1病棟	44	44	3:3	皮膚科、泌尿器科、眼科
8-2病棟	43	45	3:3	内分泌・糖尿病内科、消化器内科、臨床腫瘍科
8-3病棟	45	45	4:3	血液・リウマチ・感染症内科、消化器内科、緩和医療科
8-4病棟	43	45	3:4	循環器内科、腎臓・高血圧内科、内分泌・糖尿病内科
9-1病棟	21	21	4:4	結核、感染症（COVID-19）
9-4病棟	15	15		個室病棟
9-2病棟	44	46	3:3	眼科、歯科・口腔外科・矯正歯科、耳鼻いんこう科、臨床腫瘍科
9-3病棟	38	44	3:3	呼吸器内科、個室病棟
I C U	8	8	4:4	
H C U	8	8	6:6	
C C U	4	4		
A C U	4	6		
手術部	中央手術室14 外来手術室2 小線源治療室		3:3 (準夜深夜連続) 土日祝日 2:2	
外来				血液・リウマチ・感染症内科、呼吸器内科、循環器内科、腎臓・高血圧内科、消化器内科、内分泌・糖尿病内科、臨床腫瘍科、小児科、精神科、皮膚科、放射線診断科、放射線治療科、呼吸器外科、消化器・一般外科、乳腺・甲状腺外科、乳腺外科、心臓血管外科・小児循環器、消化器外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、眼科、耳鼻いんこう科、歯科・口腔外科・矯正歯科、産婦人科、泌尿器科、麻酔科、リハビリテーション科、児童精神科、脳神経内科、脳卒中科、病理診断科、遺伝子診療科、総合診療科、がんゲノム診断科、難病ゲノム診断科、緩和医療科、救急科、放射線部、血液浄化センター、内視鏡センター、化学療法センター
救急外来			2:2	
患者サポートセンター				入退院支援、病床管理
看護部 看護管理室	看護部長(副病院長、看護キャリア開発支援センター長)、副看護部長(総務・人事担当・看護キャリア開発支援センター副センター長、教育担当・看護キャリア開発支援センター副センター長、専門領域担当・看護キャリア開発支援センター副センター長、がん領域総括・緩和ケアセンタージェネラルマネジャー、患者サービス総括担当・患者サポートセンター兼地域連携担当課長、業務・ケアプロセス担当、危機管理担当・医療の質向上・安全管理センター副センター長兼医療の質・安全管理部担当課長)、看護師長(教育担当、看護キャリア開発支援センター担当、教育担当看護学科教員支援担当、業務推進担当、業務担当、安全管理担当、感染管理担当、看護師採用確保育成担当(兼)看護職員確保、診療情報・分析担当)、看護師(医療の質向上センター担当、教育担当、看護キャリア開発支援センター担当、褥瘡管理者、皮膚排泄ケア担当、がん相談支援センター専従、緩和ケアチーム専従、感染管理担当、就業支援担当、看護学科派遣)、事務職員			

7 経 理

予算決算比較 (令和4年度)

(単位:円)

	R4決算		R4予算		予算比較 ①-②
	①	医業収入比率(%)	②	医業収入比率(%)	
業務費	32,524,976,145	109.9%	31,840,411,000	108.1%	684,565,145
教育研究経費	143,704,647	0.5%	143,104,000	0.5%	600,647
診療経費	18,179,004,609	61.4%	17,529,059,000	59.5%	649,945,609
診)材料費	12,886,340,281	43.6%	12,329,894,000	41.9%	556,446,281
診)医薬品費	8,721,540,481	29.5%	8,069,584,000	27.4%	651,956,481
診)診療材料費	4,011,069,059	13.6%	4,093,694,000	13.9%	▲ 82,624,941
診)給食用材料費	153,730,741	0.5%	166,616,000	0.6%	▲ 12,885,259
診)委託費	2,762,087,847	9.3%	2,800,658,000	9.5%	▲ 38,570,153
診)設備関係費	1,193,915,849	4.0%	1,330,759,000	4.5%	▲ 136,843,151
診)機器賃借料	159,366,209	0.5%	166,260,000	0.6%	▲ 6,893,791
診)修繕費	283,926,717	1.0%	324,800,000	1.1%	▲ 40,873,283
診)機器保守費	750,514,409	2.5%	839,369,000	2.9%	▲ 555,442,283
診)その他の設備関係費	108,514	0.0%	330,000	0.0%	▲ 221,486
診)研究研修費	5,459,810	0.0%	13,920,000	0.0%	▲ 8,460,190
診)経費	1,331,200,822	4.5%	1,053,828,000	3.6%	277,372,822
診)水道光熱費	756,421,147	2.6%	537,552,000	1.8%	218,869,147
診)その他	574,779,675	1.9%	511,749,000	1.7%	63,030,675
診)徴収不能引当金繰入額	0	0.0%	4,527,000	0.0%	▲ 4,527,000
受託研究費	445,996,004	1.5%	581,236,000	2.0%	▲ 135,239,996
人件費	13,756,270,885	46.5%	13,587,012,000	46.1%	169,258,885
教員人件費	2,190,835,876	7.4%	2,382,215,000	8.1%	▲ 191,379,124
職員人件費	11,565,435,009	39.1%	11,204,797,000	38.0%	360,638,009
減価償却費	2,091,358,611	7.1%	1,905,349,000	6.5%	186,009,611
一般管理費	208,211,482	0.7%	230,035,000	0.8%	▲ 21,823,518
財務費用	22,041,969	0.1%	10,332,000	0.0%	11,709,969
長期借入金支払利息等	311,908	0.0%	236,000	0.0%	75,908
ファイナンスリース支払利息	21,730,061	0.1%	10,096,000	0.0%	11,634,061
雑損	12,883,722	0.0%	2,026,000	0.0%	10,857,722
経常費用計 A	34,859,471,929	117.8%	33,988,153,000	115.4%	871,318,929
運営交付金収益	2,815,974,817	9.5%	2,769,305,000	9.4%	46,669,817
附属病院収益	32,612,422,667	110.2%	31,218,848,000	106.0%	1,393,574,667
医業収益 <a+b+c+d+e>	29,584,905,693	100.0%	29,451,034,000	100.0%	133,871,693
入院診療収益 <a>	18,906,125,157	63.9%	18,697,066,000	63.5%	209,059,157
患者延べ数(人)	193,818人	0.0%	202,940人	0.0%	▲ 9,122人
1日平均(人)	531人	0.0%	556人	0.0%	▲ 25人
診療単価(円)	97,084円	0.0%	91,634円	0.0%	5,450円
病床稼働率(%)	81.2%	0.0%	85.0%	0.0%	▲ 3.8%
室料差額収益 	280,715,600	0.9%	323,759,000	1.1%	▲ 43,043,400
外来診療収益 <c>	10,428,433,290	35.2%	10,449,924,000	35.5%	▲ 21,490,710
患者延べ数(人)	447,539人	0.0%	437,400人	0.0%	10,139人
1日平均(人)	1,842人	0.0%	1,800人	0.0%	42人
診療単価(円)	23,232円	0.0%	23,823円	0.0%	▲ 591円
診療日数(日)	243日	0.0%	243日	0.0%	0日
その他医業収益 <d>	90,358,509	0.3%	110,740,000	0.4%	▲ 20,381,491
諸証明手数料	85,441,835	0.3%	105,579,000	0.4%	▲ 20,137,165
その他医業収益	4,916,674	0.0%	5,161,000	0.0%	▲ 244,326
保険等査定減(▲) <e>	▲ 120,726,863	▲ 0.4%	▲ 130,455,000	▲ 0.4%	▲ 9,728,137
受託研究収入	458,954,222	1.6%	581,236,000	2.0%	▲ 122,281,778
寄付金収益	0	0.0%	7,821,000	0.0%	▲ 7,821,000
資産見返負債戻入	866,966,036	2.9%	667,253,000	2.3%	199,713,036
雑益	1,701,596,716	5.8%	511,504,000	1.7%	1,190,092,716
補助金収益等	1,321,528,644	4.5%	234,921,000	0.8%	1,086,607,644
臨床研修費補助金	35,033,500	0.1%	33,312,000	0.1%	1,721,500
運営費補助金	1,286,495,144	4.3%	201,609,000	0.7%	1,084,886,144
その他雑益	380,068,072	1.3%	276,583,000	0.9%	103,485,072
不用物品売払収入	0	0.0%	5,120,000	0.0%	▲ 5,120,000
業務運営手数料収入	40,070,396	0.1%	50,530,000	0.2%	▲ 10,459,604
駐車場利用料収入	73,503,736	0.2%	72,241,000	0.2%	1,262,736
保育料収入	1,583,651	0.0%	3,814,000	0.0%	▲ 2,230,349
職員宿舎(看護)使用料収入	31,559,750	0.1%	33,674,000	0.1%	▲ 2,114,250
その他雑益	233,350,539	0.8%	111,204,000	0.4%	122,146,539
経常収益計 B	35,428,397,484	119.8%	33,988,153,000	115.4%	1,440,244,484
経常損益 C=B-A	568,925,555		0		568,925,555
臨時損失 D	459,827		0		459,827
臨時利益 E	308,296,694		0		308,296,694
当期純損益 F=C-D+E	876,762,422		0		876,762,422
目的積立金取崩額(収益的分) G	1,345,300		0		1,345,300
純損益 F+G	878,107,722		0		878,107,722

8 医 事 統 計

1 外来・入院患者数

科 名	外 来 患 者 数				実日数 243 日				
	初診患者	再診患者	計	病棟併診	一日平均患者数		救急外来患者数		
					総数	併診外	時間内 (再掲)	時間外	合計
血液・リウマチ・感染症内科	1,043	27,853	28,896	562	118.9	116.6	35	112	147
呼吸器内科	1,086	13,270	14,356	408	59.1	57.4	26	39	65
循環器内科	1,200	13,884	15,084	515	62.1	60.0	64	56	120
腎臓・高血圧内科	616	10,950	11,566	435	47.6	45.8	35	33	68
消化器内科	2,546	32,154	34,700	904	142.8	139.1	98	95	193
内分泌・糖尿病内科	1,148	15,810	16,958	1,056	69.8	65.4	18	23	41
臨床腫瘍科	133	6,646	6,779	179	27.9	27.2	30	0	30
小児科	247	6,398	6,645	14	27.3	27.3	33	33	66
精神科	986	9,118	10,104	572	41.6	39.2	27	22	49
皮膚科	1,862	17,391	19,253	1,525	79.2	73.0	26	48	74
放射線科	707	17,627	18,334	5,741	75.4	51.8	16	0	16
呼吸器外科	202	1,696	1,898	28	7.8	7.7	1	0	1
消化器・一般外科	304	4,697	5,001	104	20.6	20.2	17	45	62
乳腺・甲状腺外科	530	5,083	5,613	60	23.1	22.9	8	0	8
乳腺外科	259	4,855	5,114	38	21.0	20.9	5	0	5
心臓血管外科	252	2,434	2,686	60	11.1	10.8	15	11	26
消化器外科	545	11,223	11,768	237	48.4	47.5	40	29	69
心臓血管外科・小児循環器	158	2,666	2,824	2	11.6	11.6	6	17	23
整形外科	2,218	29,603	31,821	757	131.0	127.8	82	122	204
形成外科	855	4,938	5,793	178	23.8	23.1	7	16	23
脳神経外科	731	4,106	4,837	125	19.9	19.4	30	30	60
眼科	2,281	28,448	30,729	2,047	126.5	118.0	11	126	137
耳鼻いんこう科	1,651	16,318	17,969	1,055	73.9	69.6	42	38	80
歯科・口腔外科・矯正歯科	4,414	15,735	20,149	2,352	82.9	73.2	16	74	90
産婦人科	1,291	20,393	21,684	107	89.2	88.8	22	154	176
泌尿器科	1,360	17,249	18,609	265	76.6	75.5	38	74	112
麻酔科	4,436	1,915	6,351	1,080	26.1	21.7	0	1	1
リハビリテーション科	2,109	42,764	44,873	39,689	184.7	21.3	1	4	5
児童精神科	268	4,797	5,065	6	20.8	20.8	4	5	9
脳神経内科	979	11,264	12,243	294	50.4	49.2	88	50	138
脳卒中科	39	25	64	4	0.3	0.2	29	7	36
病理診断科	1	6	7	0	0.0	0.0	0	0	0
遺伝子診療科	651	623	1,274	3	5.2	5.2	0	0	0
総合診療科	195	852	1,047	125	4.3	3.8	1	0	1
がんゲノム診断科	50	329	379	0	1.6	1.6	2	0	2
難病ゲノム診断科	6	7	13	6	0.1	0.0	0	0	0
緩和医療科	301	3,050	3,351	2,304	13.8	4.3	0	0	0
救急科	498	358	856	1	3.5	3.5	310	415	725
再掲)心臓血管外科・小児循環器	410	5,100	5,510	62	22.7	22.4	21	28	49
再掲)消化器・一般外科、呼吸器外科、 乳腺・甲状腺外科	1,036	11,476	12,512	192	51.5	50.7	26	45	71
再掲)臨床腫瘍科・乳腺外科	392	11,501	11,893	217	48.9	48.0	35	0	35
結核									
感染症室									
共用室									
無菌室									
I C U									
H C U									
C C U									
N I C U									
A C U									
6-3救急病床									
計	38,158	406,535	444,693	62,838	1,830.0	1,571.4	1,183	1,679	2,862

*救急外来受診患者のうち時間内の各診療科で診察した患者については、通常の外来患者としてカウントしております。

(令和4年度)

入院患者数									実日数 365 日		
新入院	退院	延入院数	一般病床	ICU(再掲)	一日平均患者数	平均在院日数	病床数	稼働率	緊急入院患者数		
									時間内	時間外	合計
711	714	14,120	2,089	(226)	38.7	19.8	36	107.5%	149	54	203
703	728	8,637	2,237	(26)	23.7	12.1	13	182.0%	146	48	194
877	889	8,019	543	(137)	22.0	9.1	19	116.0%	150	98	248
478	491	5,875	302	(19)	16.1	12.1	14	115.0%	145	87	232
1,850	1,823	15,318	545	(95)	42.0	8.3	35	119.9%	281	242	523
408	385	4,230	115	(1)	11.6	10.7	13	89.1%	21	22	43
472	484	4,983	142	(26)	13.7	10.4	11	124.1%	55	39	94
605	603	9,477	2,188	(102)	26.0	15.7	27	96.3%	117	51	168
205	224	7,406	7,405	(0)	20.3	34.5	26	78.0%	21	2	23
464	459	4,500	191	(52)	12.3	9.8	15	82.2%	76	31	107
0	0	0	0	(0)	0.0	0.0	4	0.0%	0	0	0
196	189	1,548	83	(9)	4.2	8.0	7	60.6%	7	6	13
372	380	5,187	318	(47)	14.2	13.8	12	118.4%	72	37	109
180	178	1,340	82	(2)	3.7	7.5	4	91.8%	11	6	17
126	114	910	98	(8)	2.5	7.6	2	124.7%	11	8	19
163	173	3,662	526	(358)	10.0	21.8	8	125.4%	30	29	59
840	868	13,228	793	(323)	36.2	15.5	37	97.9%	169	155	324
233	225	3,184	428	(357)	8.7	13.9	8	109.0%	25	13	38
1,375	1,371	16,170	833	(37)	44.3	11.8	34	130.3%	97	56	153
247	260	2,249	80	(3)	6.2	8.9	11	56.0%	8	9	17
663	660	11,152	783	(358)	30.6	16.9	22	138.9%	97	56	153
597	593	4,149	170	(0)	11.4	7.0	21	54.1%	56	21	77
771	775	6,049	290	(63)	16.6	7.8	26	63.7%	61	34	95
790	788	5,883	298	(71)	16.1	7.5	14	115.1%	18	11	29
1,470	1,465	13,813	230	(11)	37.8	9.4	41	92.3%	177	160	337
1,159	1,166	9,958	565	(53)	27.3	8.6	25	109.1%	87	54	141
2	2	8	0	(0)	0	4	3	0.7%	0	0	0
7	8	102	-	(0)	0.3	13.6	5	5.6%	0	0	-
-	-	-	-	(0)	-	-	-	-	-	-	-
367	358	6,102	452	(35)	16.7	16.8	17	98.3%	148	85	233
158	158	2,677	125	(8)	7.3	16.9	7	104.8%	41	57	98
-	-	-	-	(0)	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	(0)	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	(0)	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	(0)	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	(0)	-	-	-	-	-	-	-
1	-	1	-	(0)	0.0	2.0	2	0.1%	0	0	0
381	326	3,837	1,307	(9)	10.5	10.9	0	-	76	176	252
396	398	6,846	954	(715)	18.8	17.2	16	117.2%	55	42	97
748	747	8,075	483	(58)	22.1	10.8	23	96.2%	90	49	139
598	598	5,893	240	(34)	16.1	9.9	13	124.2%	66	47	113
(179)	(189)	(2,772)		(0)	7.6	15.1	16	47.5%			
(169)	(167)	(865)		(0)	2.4	5.2	3	79.0%			
(511)	(513)	(4,314)		(0)	11.8	8.4	15	78.8%			
(0)	(0)	(0)		(0)	0.0	0.0	48	0.0%			
(50)	(55)	(1,523)		(0)	4.2	29.0	5	83.5%			
(738)	(739)	(2,436)		(0)	6.7	3.3	8	83.4%			
(953)	(953)	(2,440)		(0)	6.7	2.6	8	83.6%			
(263)	(263)	(1,158)		(0)	3.2	4.4	4	79.3%			
(76)	(84)	(2,283)		(0)	6.3	28.5	9	69.5%			
(365)	(364)	(800)		(0)	2.2	2.2	6	36.5%			
(0)	(0)	(0)		(0)	0.0	0.0	13	0.0%			
16,871	16,857	193,774	23,218	2,436	530.9	11.5	654	81.2%	2,352	1,647	3,999

2 病棟別入院患者数

※診療科および病床数は令和5年3月末時点

病棟別	診療科	病床数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
4-I	I C U	8	218	208	183	205	199	197	197
4-H	H C U	8	212	198	210	204	177	201	209
4-C	C C U	4	104	88	93	96	101	98	78
4-A	A C U	6	91	70	80	53	0	36	56
6-S	無菌室	5	132	134	135	151	110	121	122
6-1・N	N I C U	9	195	186	261	224	173	171	171
	小児科 心臓血管外科・小児循環器	34	903	905	811	713	747	718	820
6-2	産婦人科	48	1,209	1,252	1,115	1,218	1,375	1,274	1,349
6-3	脳神経内科 血液・リウマチ・感染症内科	28	671	796	697	742	726	662	783
6-4	精神科	26	536	654	631	680	657	638	665
7-1	心臓血管外科・小児循環器、消化器・ 一般外科、呼吸器外科、循環器内科	42	1,034	1,181	1,155	1,220	1,084	1,134	1,225
7-2	整形外科 リハビリテーション科	47	1,232	1,370	1,260	1,350	1,127	1,171	1,369
7-3	脳神経外科 形成外科、脳卒中科	40	1,026	1,074	975	1,120	1,088	1,014	1,147
7-4	消化器外科、臨床腫瘍科、 乳腺外科、乳腺・甲状腺外科	44	1,248	1,295	1,217	1,246	1,257	1,142	1,148
8-1	泌尿器科、皮膚科、歯科・口 腔外科・矯正歯科、放射線科	44	1,169	1,181	1,162	1,165	1,236	1,075	1,270
8-2	消化器内科、内分泌・糖尿病 内科、緩和医療科	45	1,274	1,300	1,313	1,210	1,408	1,315	1,307
8-3	血液・リウマチ・感染症内科 呼吸器内科	45	878	1,193	1,209	1,289	980	1,137	1,252
8-4	循環器内科、腎臓・高血圧内 科、内分泌・糖尿病内科、 呼吸器内科	45	1,243	1,269	1,217	1,187	1,174	1,155	1,329
9-1	結核	16	351	323	211	261	181	206	97
	感染	3	69	57	55	100	127	96	59
9-2	眼科、歯科・口腔外科・矯正歯 科、耳鼻いんこう科、臨床腫瘍科	46	1,206	1,001	1,165	1,119	1,079	1,061	1,141
9-3	共用	46	181	219	416	554	598	429	467
9-4	個室	15	408	400	416	329	0	279	422
合計		654	15,590	16,354	15,987	16,436	15,604	15,330	16,683
診療日数(日)			30	31	30	31	31	30	31

(令和4年度)

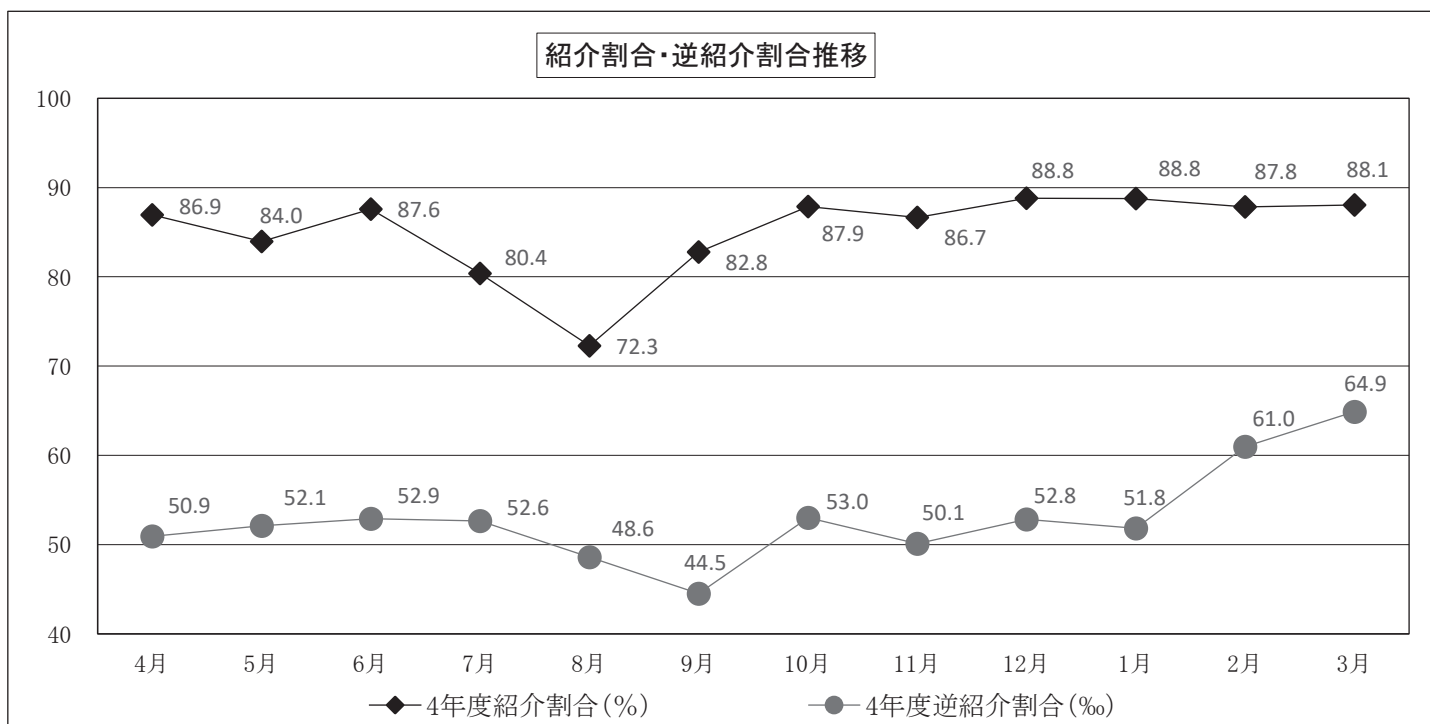
11月	12月	1月	2月	3月	合 計	平 均 患者数	年度稼働率 %	新入院数	新退院数	平 均 在棟日数
202	215	211	191	210	2,436	7	83.4%	75	24	3.3
185	222	212	177	233	2,440	7	83.6%	180	19	2.6
88	110	100	97	105	1,158	3	79.3%	138	35	4.4
50	96	94	67	107	800	2	36.5%	159	36	2.2
128	137	121	120	112	1,523	4	83.5%	0	27	29.0
184	148	222	214	134	2,283	6	69.5%	57	62	28.5
748	857	853	902	935	9,912	27	79.9%	743	755	11.9
1,244	1,153	1,235	1,110	1,333	14,867	41	84.9%	1,620	1,594	8.7
797	799	820	739	785	9,017	25	88.2%	588	612	11.4
673	604	526	547	598	7,409	20	78.1%	201	224	31.7
1,215	878	1,185	1,162	1,255	13,728	38	89.6%	1,157	1,250	9.1
1,363	1,293	1,172	1,206	1,289	15,202	42	88.6%	1,289	1,255	10.8
1,145	1,041	1,116	1,072	1,163	12,981	36	88.9%	961	1,015	9.8
1,152	1,123	947	1,071	1,127	13,973	38	87.0%	1,164	1,220	9.3
1,191	1,267	1,174	1,184	1,303	14,377	39	89.5%	1,626	1,598	8.2
1,257	1,248	1,221	1,191	1,222	15,266	42	92.9%	1,587	1,693	8.4
1,280	1,127	1,135	910	1,306	13,696	38	83.4%	1,008	1,015	11.4
1,320	1,283	1,222	1,127	1,220	14,746	40	89.8%	1,296	1,468	9.3
159	413	369	133	68	2,772	8	47.5%	109	100	15.1
61	91	82	33	35	865	2	50.7%	113	74	5.1
1,245	1,259	1,224	1,140	1,263	13,903	38	82.8%	1,610	1,590	7.7
413	729	422	719	959	6,106	17	37.7%	749	719	6.8
412	414	389	405	440	4,314	12	78.8%	441	472	8.4
16,512	16,507	16,052	15,517	17,202	193,774	531	81.2%	16,871	16,857	8.9
30	31	31	28	31	365					

3 紹介割合・逆紹介割合推移

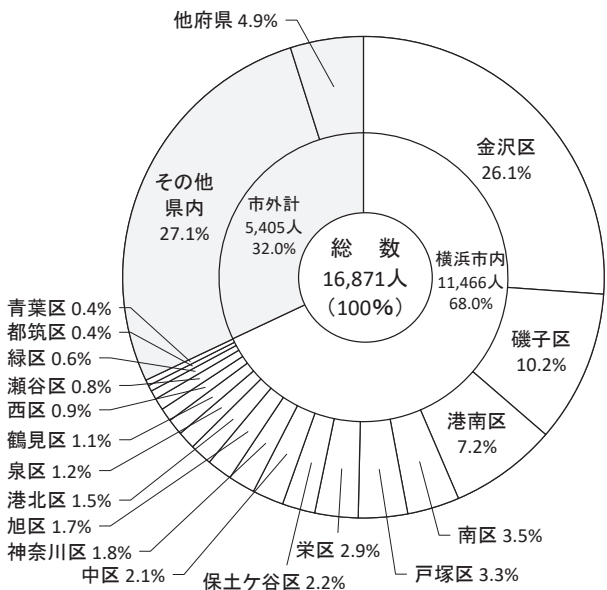
紹介割合

(令和4年度)

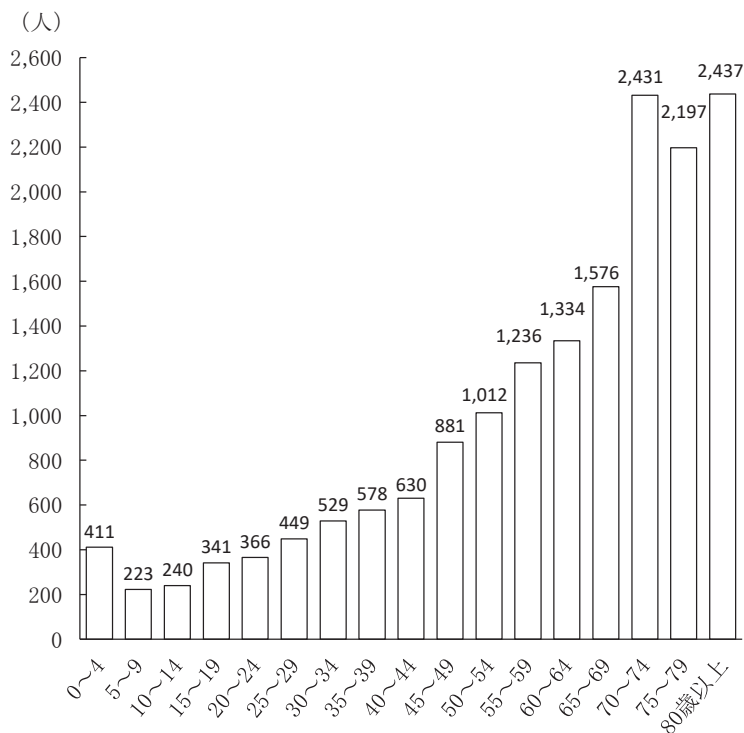
	紹介患者数 A	他医療機関 紹介患者数 B	初診救急車搬送数 C	初診患者数 (夜間・休日・救急 車搬送を除く) D	再診患者数 (夜間・休日・救急 車搬送を除く) E	紹介割合 (A+C)/D	逆紹介割合 B/D
4月	1,316	1,419	166	1,705	26,161	86.9%	50.9‰
5月	1,233	1,392	148	1,645	25,063	84.0%	52.1‰
6月	1,426	1,595	177	1,830	28,329	87.6%	52.9‰
7月	1,244	1,473	170	1,759	26,228	80.4%	52.6‰
8月	1,214	1,405	87	1,800	27,102	72.3%	48.6‰
9月	1,211	1,286	107	1,592	27,298	82.8%	44.5‰
10月	1,273	1,440	178	1,651	25,508	87.9%	53.0‰
11月	1,352	1,375	168	1,754	25,682	86.7%	50.1‰
12月	1,216	1,491	180	1,572	26,644	88.8%	52.8‰
1月	1,164	1,356	193	1,529	24,642	88.8%	51.8‰
2月	1,230	1,553	157	1,579	23,890	87.8%	61.0‰
3月	1,425	1,997	182	1,825	28,949	88.1%	64.9‰
合計	15,304	17,782	1,913	20,241	315,496	85.1%	53.0‰



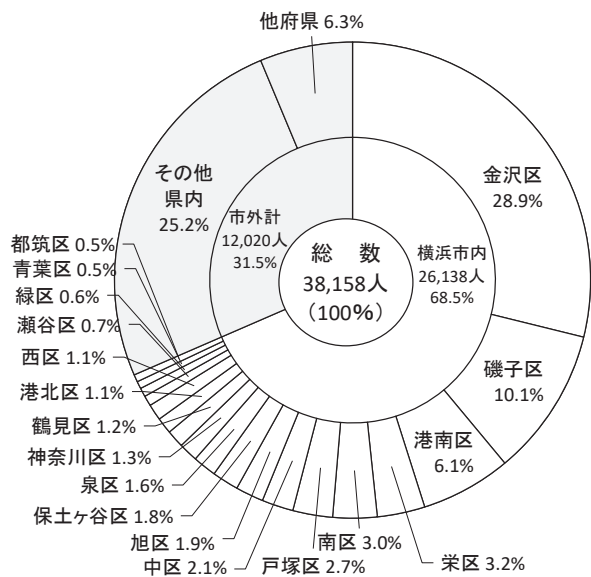
4 新入院患者の診療圏別割合 (令和4年度)



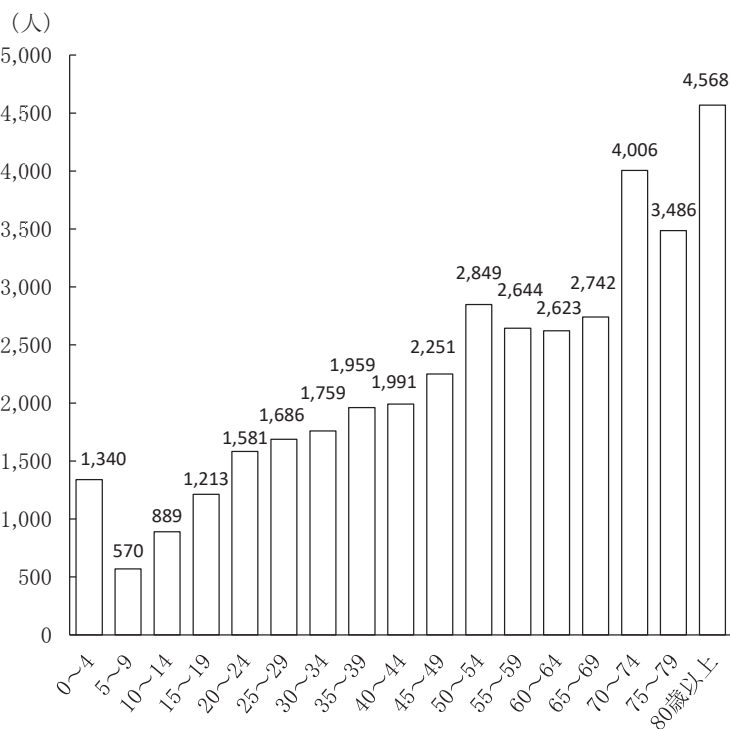
6 年齢階層別新入院患者数比較 (令和4年度)



5 初診患者の診療圏別割合 (令和4年度)



7 年齢階層別初診患者数比較 (令和4年度)



8 年齢別・疾患別転科・退院患者数（死亡を含む）および割合（令和4年度）

疾患		年齢		0～9歳		10～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳	
		患者数	比率	患者数	比率	患者数	比率	患者数	比率	患者数	比率		
感染症および寄生虫症		7	1.1%	5	0.8%	13	1.5%	18	1.6%	16	1.0%		
新 生 物	悪性・上皮内	214	32.8%	82	13.2%	71	8.3%	112	9.7%	424	27.0%		
	その他	14	2.1%	34	5.5%	68	8.0%	88	7.6%	176	11.2%		
血液・造血器系疾患・免疫機構障害		32	4.9%	10	1.6%	0	0.0%	5	0.4%	8	0.5%		
内分泌・栄養および代謝障害		0	0.0%	7	1.1%	17	2.0%	33	2.8%	63	4.0%		
精神および行動の障害		0	0.0%	42	6.8%	51	6.0%	37	3.2%	23	1.5%		
神経系疾患		6	0.9%	36	5.8%	40	4.7%	41	3.5%	62	4.0%		
眼および付属器の疾患		9	1.4%	8	1.3%	7	0.8%	15	1.3%	39	2.5%		
耳および乳様突起の疾患		13	2.0%	10	1.6%	3	0.4%	8	0.7%	11	0.7%		
循環器系疾患	心疾患	15	2.3%	29	4.7%	19	2.2%	9	0.8%	37	2.4%		
	脳血管性疾患	0	0.0%	3	0.5%	0	0.0%	7	0.6%	15	1.0%		
	高血圧性疾患	3	0.5%	6	1.0%	11	1.3%	15	1.3%	27	1.7%		
	その他	5	0.8%	13	2.1%	13	1.5%	19	1.6%	40	2.6%		
呼吸器系疾患		2	0.3%	5	0.8%	17	2.0%	23	2.0%	28	1.8%		
消化器系疾患	口腔・唾液腺・顎の疾患	12	1.8%	59	9.5%	150	17.6%	137	11.8%	115	7.3%		
	食道・胃・腸の疾患	0	0.0%	3	0.5%	9	1.1%	17	1.5%	32	2.0%		
	肝・胆・膵臓の疾患	0	0.0%	0	0.0%	14	1.6%	17	1.5%	53	3.4%		
	その他	0	0.0%	29	4.7%	3	0.4%	1	0.1%	5	0.3%		
皮膚および皮下組織の疾患		1	0.2%	8	1.3%	15	1.8%	15	1.3%	20	1.3%		
筋骨格系および結合組織の障害		56	8.6%	110	17.7%	45	5.3%	33	2.8%	78	5.0%		
腎・尿路系の疾患		0	0.0%	6	1.0%	12	1.4%	12	1.0%	40	2.6%		
男性生殖器の疾患		0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%		
女性骨盤臓器・生殖器の疾患		0	0.0%	0	0.0%	11	1.3%	22	1.9%	41	2.6%		
妊娠、分娩および産褥	分 娩	0	0.0%	2	0.3%	77	9.0%	194	16.7%	25	1.6%		
	妊娠、産褥等	1	0.2%	1	0.2%	46	5.4%	143	12.3%	41	2.6%		
周産期に発生した病態		112	17.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%		
先天奇形、変形、染色体異常		128	19.6%	42	6.8%	27	3.2%	19	1.6%	29	1.8%		
症状、徴候および異常臨床所見、異常検査所見		2	0.3%	4	0.6%	7	0.8%	10	0.9%	17	1.1%		
損傷、中毒およびその他の外因の影響	骨 折	6	0.9%	14	2.3%	13	1.5%	8	0.7%	6	0.4%		
	その他	13	2.0%	47	7.6%	48	5.6%	31	2.7%	57	3.6%		
健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用		0	0.0%	1	0.2%	35	4.1%	59	5.1%	24	1.5%		
2019年新型コロナウイルス急性呼吸器疾患		2	0.3%	5	0.8%	12	1.4%	11	0.9%	15	1.0%		
合 計		653	100.0%	622	100.0%	854	100.0%	1,160	100.0%	1,568	100.0%		

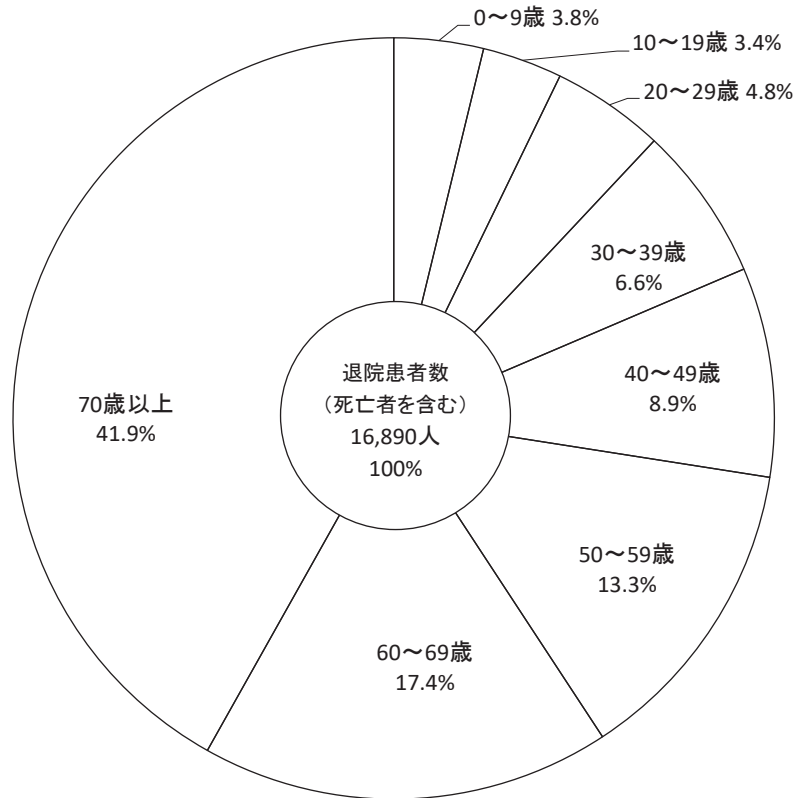
* 退院サマリから年齢別・疾患別の患者数を算出しているため、入院中に転科した患者数が含まれています。

* 入院中に転科した場合は、転科前・転科後それぞれの疾患を計上しています。

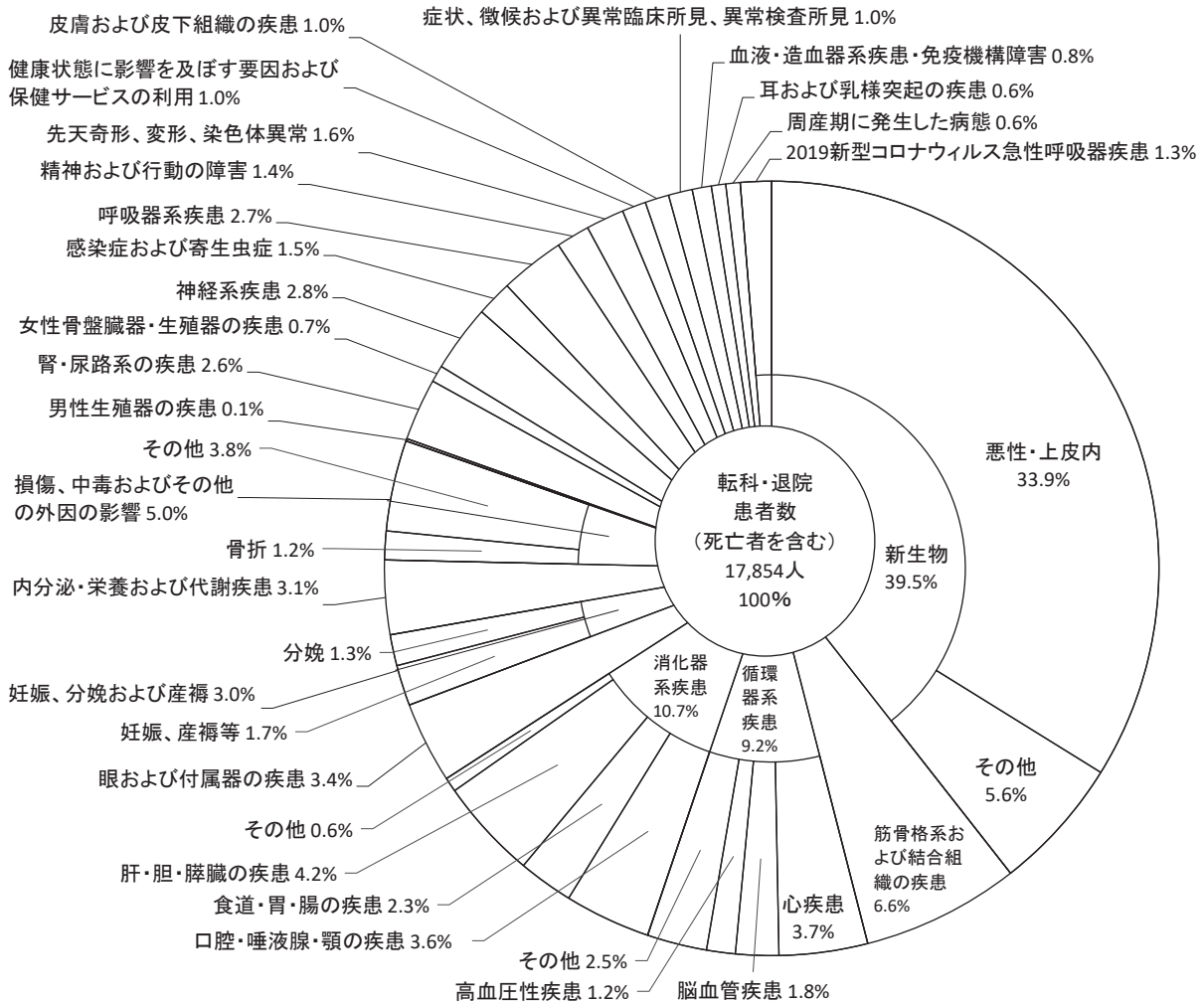
患者数(人)

50～59歳		60～69歳		70歳以上		合 計		男		女		男性退院患者に対する疾患別割合	女性退院患者に対する疾患別割合
患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率		
34	1.5%	47	1.5%	129	1.7%	269	1.5%	141	52.4%	128	47.6%	1.5%	1.5%
855	36.6%	1,299	41.8%	2,993	39.6%	6,050	33.9%	3,776	62.4%	2,274	37.6%	40.4%	26.7%
188	8.0%	180	5.8%	251	3.3%	999	5.6%	423	42.3%	576	57.7%	4.5%	6.8%
13	0.6%	20	0.6%	55	0.7%	143	0.8%	76	53.1%	67	46.9%	0.8%	0.8%
89	3.8%	100	3.2%	244	3.2%	553	3.1%	321	58.0%	232	42.0%	3.4%	2.7%
41	1.8%	32	1.0%	29	0.4%	255	1.4%	58	22.7%	197	77.3%	0.6%	2.3%
74	3.2%	68	2.2%	175	2.3%	502	2.8%	251	50.0%	251	50.0%	2.7%	2.9%
76	3.3%	116	3.7%	335	4.4%	605	3.4%	292	48.3%	313	51.7%	3.1%	3.7%
14	0.6%	9	0.3%	31	0.4%	99	0.6%	52	52.5%	47	47.5%	0.6%	0.6%
73	3.1%	114	3.7%	361	4.8%	657	3.7%	433	65.9%	224	34.1%	4.6%	2.6%
33	1.4%	56	1.8%	199	2.6%	313	1.8%	179	57.2%	134	42.8%	1.9%	1.6%
32	1.4%	43	1.4%	80	1.1%	217	1.2%	72	33.2%	145	66.8%	0.8%	1.7%
62	2.7%	102	3.3%	188	2.5%	442	2.5%	202	45.7%	240	54.3%	2.2%	2.8%
43	1.8%	85	2.7%	275	3.6%	478	2.7%	288	60.3%	190	39.7%	3.1%	2.2%
96	4.1%	48	1.5%	28	0.4%	645	3.6%	202	31.3%	443	68.7%	2.2%	5.2%
50	2.1%	70	2.3%	233	3.1%	414	2.3%	231	55.8%	183	44.2%	2.5%	2.1%
121	5.2%	151	4.9%	386	5.1%	742	4.2%	487	65.6%	255	34.4%	5.2%	3.0%
10	0.4%	24	0.8%	37	0.5%	109	0.6%	82	75.2%	27	24.8%	0.9%	0.3%
21	0.9%	23	0.7%	72	1.0%	175	1.0%	88	50.3%	87	49.7%	0.9%	1.0%
155	6.6%	222	7.1%	472	6.2%	1,171	6.6%	464	39.6%	707	60.4%	5.0%	8.3%
61	2.6%	75	2.4%	253	3.3%	459	2.6%	267	58.2%	192	41.8%	2.9%	2.3%
1	0.0%	4	0.1%	9	0.1%	16	0.1%	16	100.0%	0	0.0%	0.2%	0.0%
28	1.2%	7	0.2%	14	0.2%	123	0.7%	0	0.0%	123	100.0%	0.0%	1.4%
0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	298	1.7%	0	0.0%	298	100.0%	0.0%	3.5%
0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	232	1.3%	1	0.4%	231	99.6%	0.0%	2.7%
0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	113	0.6%	62	54.9%	51	45.1%	0.7%	0.6%
13	0.6%	14	0.5%	14	0.2%	286	1.6%	141	49.3%	145	50.7%	1.5%	1.7%
15	0.6%	27	0.9%	101	1.3%	183	1.0%	92	50.3%	91	49.7%	1.0%	1.1%
25	1.1%	27	0.9%	112	1.5%	211	1.2%	101	47.9%	110	52.1%	1.1%	1.3%
82	3.5%	99	3.2%	309	4.1%	686	3.8%	366	53.4%	320	46.6%	3.9%	3.8%
14	0.6%	15	0.5%	22	0.3%	170	1.0%	44	25.9%	126	74.1%	0.5%	1.5%
17	0.7%	29	0.9%	148	2.0%	239	1.3%	130	54.4%	109	45.6%	1.4%	1.3%
2,336	100.0%	3,106	100.0%	7,555	100.0%	17,854	100.0%	9,338	52.3%	8,516	47.7%	100.0%	100.0%

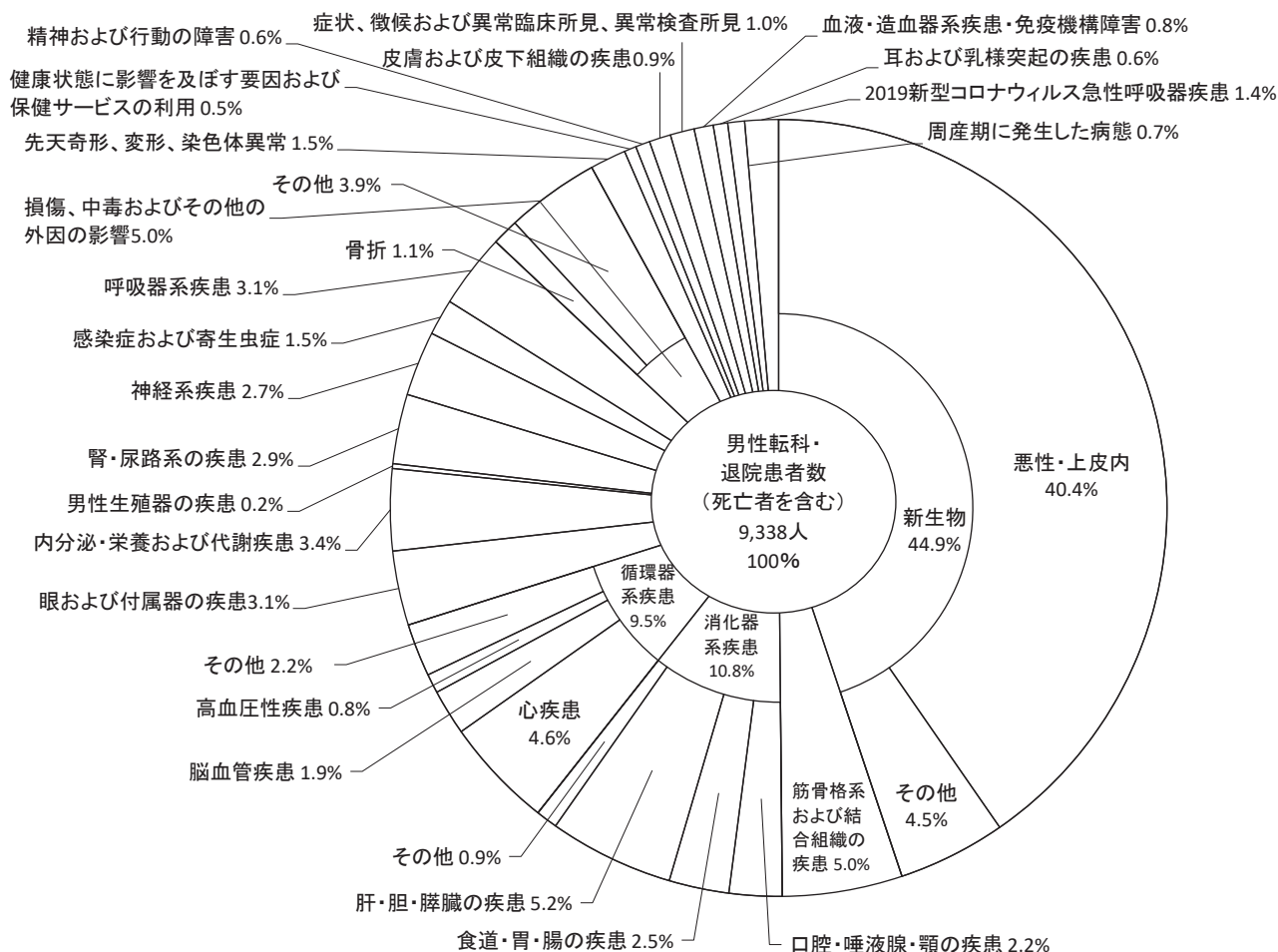
9 年齢別退院患者数の割合 (令和4年度)



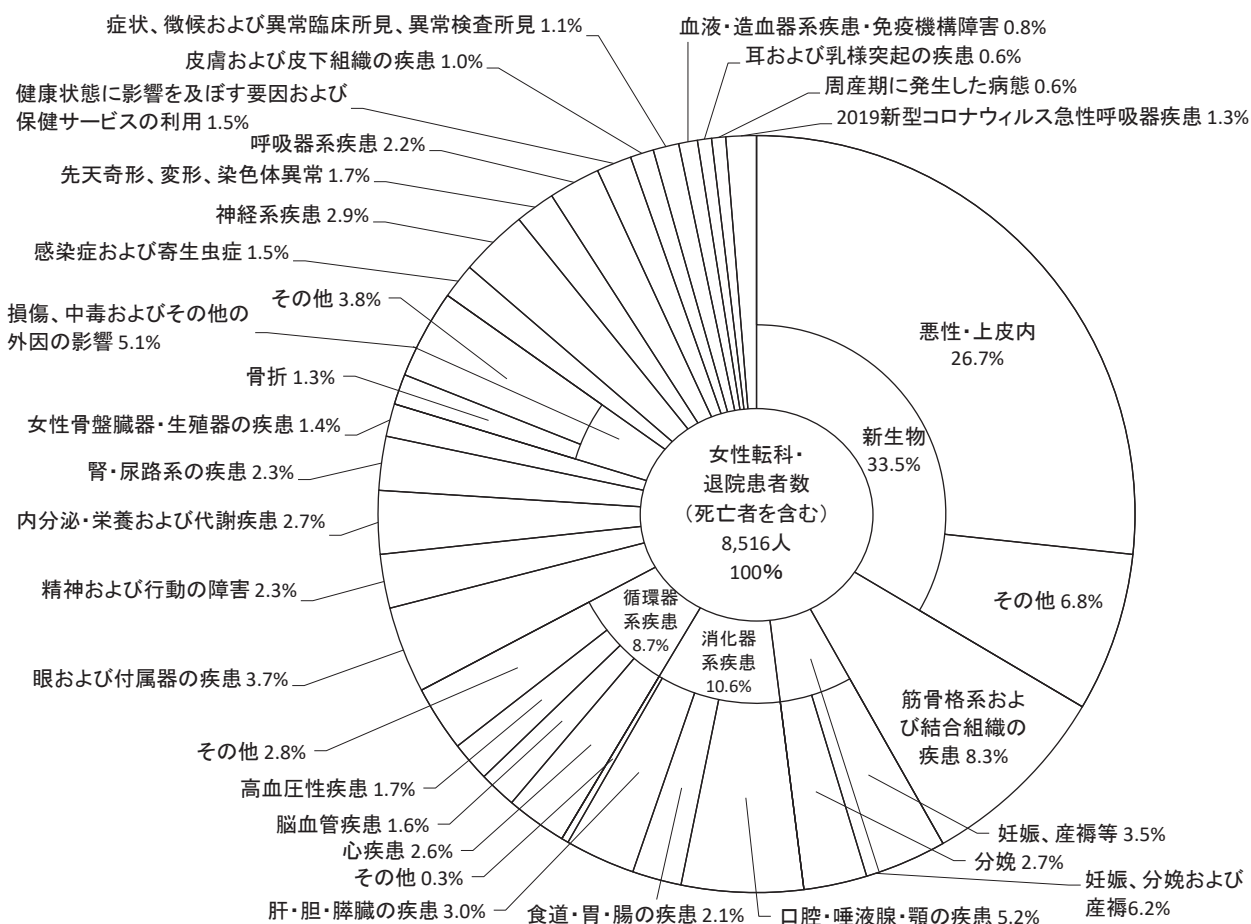
10 疾患別転科・退院患者数の割合 (令和4年度)



1 1 疾患別男性転科・退院患者数の割合 (令和4年度)



1 2 疾患別女性転科・退院患者数の割合 (令和4年度)



13 月別・診療科別・入退院患者数

診療科別	新 入 院 患 者 数												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
血液・リウマチ・感染症内科	52	64	56	70	55	56	69	71	55	51	49	63	711
呼吸器内科	48	43	51	60	62	76	64	66	63	60	53	57	703
循環器内科	56	66	78	63	72	78	90	71	77	83	68	75	877
腎臓・高血圧内科	30	56	44	45	38	41	41	36	34	42	38	33	478
消化器内科	139	161	169	128	140	161	166	169	146	169	155	147	1,850
内分泌・糖尿病内科	37	38	43	33	27	32	30	31	27	41	32	37	408
臨床腫瘍科	38	34	41	38	45	54	37	45	34	36	32	38	472
小児科	49	52	55	38	58	40	49	52	50	50	51	61	605
精神科	22	16	19	24	12	20	18	18	9	13	18	16	205
皮膚科	33	44	36	40	35	34	41	42	33	42	35	49	464
放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼吸器外科	19	22	18	15	13	12	16	17	12	17	14	21	196
消化器・一般外科	22	38	34	31	27	25	23	33	30	31	44	34	372
乳腺・甲状腺外科	12	13	10	15	20	21	16	13	13	16	16	15	180
乳腺外科	9	13	14	12	10	8	8	10	7	14	12	9	126
心臓血管外科	13	16	15	14	14	9	11	14	11	17	15	14	163
消化器外科	70	85	71	81	84	62	65	57	67	67	59	72	840
心臓血管外科・小児循環器	18	12	17	17	22	21	19	19	19	23	23	23	233
整形外科	112	119	106	114	77	108	123	126	122	131	114	123	1,375
形成外科	14	16	21	23	16	19	18	20	23	19	24	34	247
脳神経外科	57	57	56	51	55	53	54	54	41	60	64	61	663
眼科	52	52	64	49	46	39	56	60	50	40	45	44	597
耳鼻いんこう科	58	47	56	51	68	56	65	72	63	93	63	79	771
歯科・口腔外科・ 矯正歯科	47	62	83	71	65	58	72	67	58	59	74	74	790
産婦人科	98	132	127	128	144	131	113	120	124	127	105	121	1,470
泌尿器科	92	93	108	104	98	87	101	99	80	99	90	108	1,159
麻酔科	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
リハビリテーション科	0	0	2	0	0	1	1	1	0	0	1	1	7
児童精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳神経内科	27	32	28	31	25	37	29	27	29	39	27	36	367
脳卒中科	11	11	10	9	10	11	18	14	12	19	15	18	158
緩和医療科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
救急科	46	26	42	51	18	15	28	26	31	35	24	39	381
再掲)心臓血管外科・ 小児循環器	31	28	32	31	36	30	30	33	30	40	38	37	396
再掲)消化器・一般外科、呼 吸器外科、乳腺・甲状腺外科	53	73	62	61	60	58	55	63	55	64	74	70	748
再掲)臨床腫瘍科・ 乳腺外科	47	47	55	50	55	62	45	55	41	50	44	47	598
合 計	1,282	1,421	1,474	1,406	1,356	1,365	1,441	1,451	1,320	1,493	1,360	1,502	16,871
診 療 日 数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
1 日 平 均 数	42.7	45.8	49.1	45.4	43.7	45.5	46.5	48.4	42.6	48.2	48.6	48.5	46.2

(令和4年度)

退 院 患 者 数												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
66	51	66	61	62	57	60	71	65	50	54	51	714
53	56	44	63	67	63	76	67	64	57	55	63	728
57	63	78	67	71	78	87	77	89	75	74	76	892
32	60	44	45	39	43	38	39	35	35	41	40	491
155	139	168	137	124	154	165	161	171	140	157	152	1,823
31	39	37	38	28	27	29	27	30	32	31	36	385
39	37	39	41	47	50	46	37	43	28	35	42	484
56	46	47	47	55	38	53	51	53	42	55	62	605
16	14	29	23	18	18	22	19	20	11	17	17	224
32	39	48	34	38	32	40	41	41	35	32	47	459
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	18	19	15	14	11	16	17	16	10	15	16	189
20	31	38	33	29	25	24	34	34	31	40	41	380
14	12	13	11	20	17	20	12	16	11	18	14	178
8	13	16	10	10	7	7	9	6	9	13	6	114
11	17	17	15	14	14	11	13	17	14	16	14	173
68	80	72	87	88	65	73	63	72	57	75	68	868
18	13	18	18	17	20	20	15	20	15	22	24	220
108	102	112	121	100	89	120	130	141	105	116	127	1,371
16	16	17	28	15	21	21	18	30	17	25	36	260
58	52	62	51	50	55	43	57	60	47	63	62	660
50	41	74	50	43	40	47	61	56	39	38	54	593
57	51	50	57	63	58	53	78	73	82	67	86	775
54	52	75	83	68	49	80	57	68	51	72	79	788
106	123	125	125	152	124	111	142	130	106	104	117	1,465
99	89	107	107	96	84	111	84	96	84	86	123	1,166
1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
0	0	2	1	0	0	2	1	0	0	1	1	8
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	25	33	30	29	31	25	24	34	33	32	36	358
12	12	9	8	13	8	15	16	14	15	16	20	158
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
41	32	36	35	29	13	13	20	27	31	18	31	326
29	30	36	34	31	35	32	29	37	29	38	38	398
56	61	70	59	63	53	60	63	66	52	73	71	747
47	50	55	51	57	57	53	46	49	37	48	48	598
1,326	1,323	1,495	1,441	1,399	1,291	1,428	1,442	1,521	1,262	1,388	1,541	16,857
30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
44.2	42.7	49.8	46.5	45.1	43.0	46.1	48.1	49.1	40.7	49.6	49.7	46.2

1 4 月別・診療科別・死亡退院患者数

(令和4年度)

診療科別	死亡退院患者数												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
血液・リウマチ・感染症内科	2	1	2	1	0	7	2	3	5	3	2	2	30
呼吸器内科	1	6	3	1	5	5	3	4	2	3	1	3	37
循環器内科	0	1	0	4	1	2	3	0	0	1	2	3	17
腎臓・高血圧内科	2	1	0	1	3	2	2	1	0	1	5	1	19
消化器内科	4	2	2	2	1	4	4	3	4	3	0	1	30
内分泌・糖尿病内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
臨床腫瘍科	2	3	0	1	1	3	4	2	0	0	2	1	19
小児科	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	2	1	0	2	0	0	1	0	1	0	0	1	8
放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼吸器外科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
消化器・一般外科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	3
乳腺・甲状腺外科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
乳腺外科	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
心臓血管外科	0	1	2	0	1	0	0	0	1	0	1	0	6
消化器外科	1	1	0	2	0	0	1	3	2	1	1	1	13
心臓血管外科・小児循環器	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	3
整形外科	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	4
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳神経外科	0	0	0	0	1	0	2	1	1	0	2	0	7
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻いんこう科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
歯科・口腔外科・矯正歯科	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
産婦人科	0	1	1	0	0	2	0	1	2	1	1	1	10
泌尿器科	0	0	1	1	3	1	0	2	2	1	2	1	14
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リハビリテーション科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳神経内科	1	0	0	0	0	4	0	1	0	1	1	1	9
脳卒中科	0	2	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	5
緩和医療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救急科	2	1	1	1	3	0	0	0	2	0	0	2	12
再掲)心臓血管外科・小児循環器	0	1	2	1	1	1	0	0	2	0	1	0	9
再掲)消化器・一般外科、呼吸器外科、乳腺・甲状腺外科	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	5
再掲)臨床腫瘍科・乳腺外科	2	3	2	1	1	3	4	2	0	0	2	1	21
合計	19	22	14	18	22	33	23	22	23	19	23	18	256
診療日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
1日平均数	0.6	0.7	0.5	0.6	0.7	1.1	0.7	0.7	0.7	0.6	0.8	0.6	0.7

15 月別分娩件数

(令和4年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
方法	分娩件数	34	41	43	42	43	44	41	43	44	45	32	34	486
	正常分娩	22	26	33	32	27	27	27	29	32	31	20	22	328
	鉗子吸引分娩	5	4	1	3	4	4	5	6	6	6	3	1	48
	骨盤位経膈分娩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	帝王切開(予定)	2	5	3	5	6	6	4	5	1	1	4	4	46
	帝王切開(緊急)	5	6	6	2	6	7	5	3	5	7	5	7	64
分娩件数に含む	早産	3	6	3	1	4	5	1	3	6	7	3	2	44
	多胎	0	0	0	1	1	1	0	1	1	1	1	1	8
	麻酔分娩	18	14	16	12	17	20	18	17	20	23	9	17	201
	死産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

16 救急患者数

(令和4年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
救急車		296	319	327	366	241	272	346	322	366	360	318	356	3,889
(内訳)	(うち入院)	149	145	152	179	129	154	177	152	156	177	148	179	1,897
	(うち外来)	147	174	175	187	112	118	169	170	210	183	170	177	1,992
ウォークイン		321	355	309	472	486	340	296	307	390	385	286	302	4,249
(内訳)	(うち入院)	83	103	92	91	113	107	86	93	112	95	86	95	1,156
	(うち外来)	238	252	217	381	373	233	210	214	278	290	200	207	3,093
合計		617	674	636	838	727	612	642	629	756	745	604	658	8,138

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
二次輪番日救急患者数		51	52	40	60	42	49	62	45	46	57	46	54	604
(うち入院)		(17)	(19)	(14)	(14)	(20)	(13)	(30)	(17)	(20)	(17)	(17)	(25)	(223)
(内訳)	内科	11	11	9	17	13	15	19	19	14	15	8	12	163
	(うち入院)	(4)	(6)	(5)	(3)	(5)	(6)	(14)	(8)	(7)	(7)	(5)	(6)	(76)
	外科	8	10	6	8	12	11	12	7	9	12	16	14	125
	(うち入院)	(3)	(4)	(2)	(2)	(7)	(3)	(5)	(3)	(4)	(3)	(5)	(12)	(53)
	その他	32	31	25	35	17	23	31	19	23	30	22	28	316
	(うち入院)	(10)	(9)	(7)	(9)	(8)	(4)	(11)	(6)	(9)	(7)	(7)	(7)	(94)
輪番回数(夜間)		3	3	4	2	3	3	3	3	3	3	3	3	36
輪番回数(休日昼間)		1	1	0	2	1	1	1	1	1	1	1	1	12

17 病歴貸出・閲覧件数

(令和4年度)

区 分	項 目	外来カルテ	退院カルテ	エックス線写真	その他の資料
	4 月	件 数	27	9	5
冊 数		38	49	5	1
5 月	件 数	30	10	6	2
	冊 数	67	22	6	3
6 月	件 数	26	9	4	2
	冊 数	125	65	5	2
7 月	件 数	22	8	9	1
	冊 数	41	25	10	1
8 月	件 数	36	9	6	0
	冊 数	62	13	9	0
9 月	件 数	22	9	4	0
	冊 数	53	34	5	0
10 月	件 数	26	8	0	0
	冊 数	58	21	0	0
11 月	件 数	27	9	2	1
	冊 数	55	75	2	1
12 月	件 数	16	2	0	0
	冊 数	41	3	0	0
1 月	件 数	32	6	3	5
	冊 数	83	43	4	5
2 月	件 数	37	19	8	0
	冊 数	122	105	10	0
3 月	件 数	28	10	1	0
	冊 数	116	59	1	0
合 計	件 数	329	108	48	12
	冊 数	861	514	57	13

18 じょくそう 褥瘡対策チーム

活動目的

院内の褥瘡(予防)対策の体制を整えチーム内の専門性を発揮し褥瘡(予防)対策の推進・管理、評価を行う
活動体制

医療安全に関する基本指針に定められた組織横断的医療チームとして褥瘡対策チームを設置する

構成メンバー

皮膚科・形成外科医師、栄養士、薬剤師、理学療法士、皮膚・排泄ケア認定看護師、事務局(看護部・医事課)

活動内容

病院における褥瘡予防、褥瘡に関するケア全般に関すること(週1回 褥瘡対策チームラウンド)

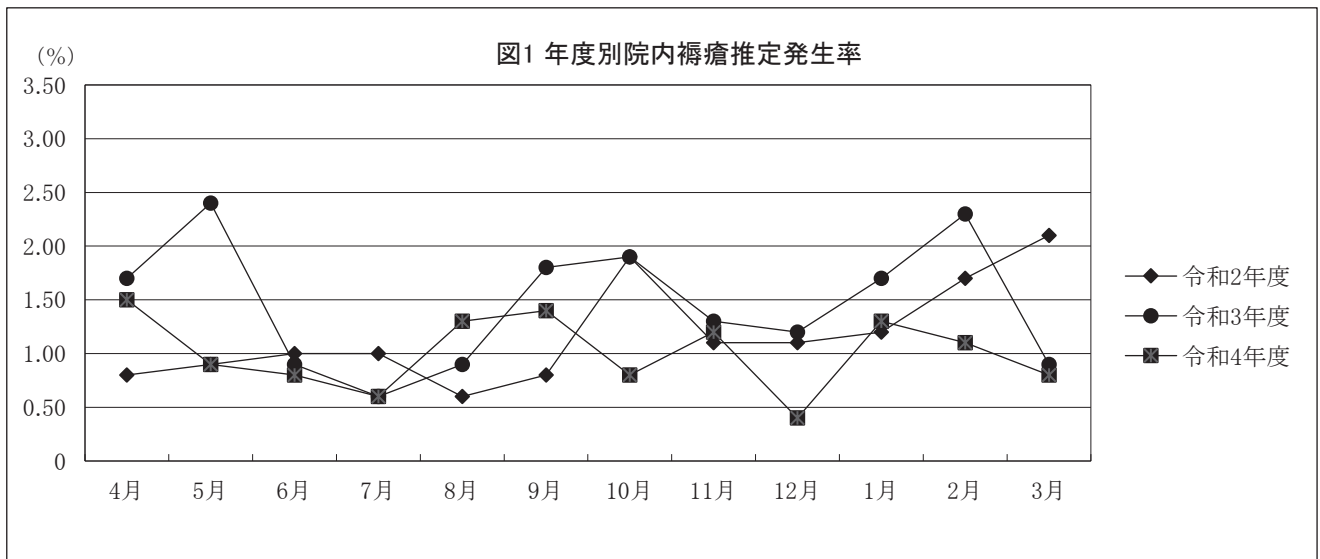
褥瘡予防、ケアを実施するうえでの各診療科、部門の調整に関すること

病院職員に対する褥瘡予防、ケアについての教育活動に関すること

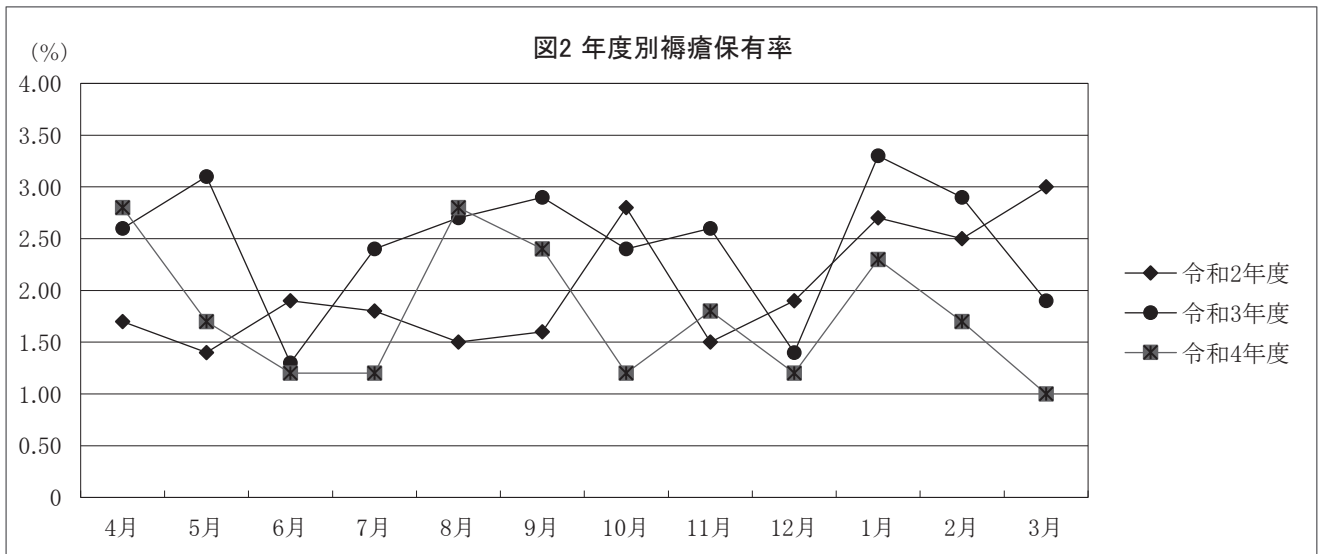
(年3回の院内勉強会実施、院内看護部教育研修での講義活動)

活動実績(令和4年度)

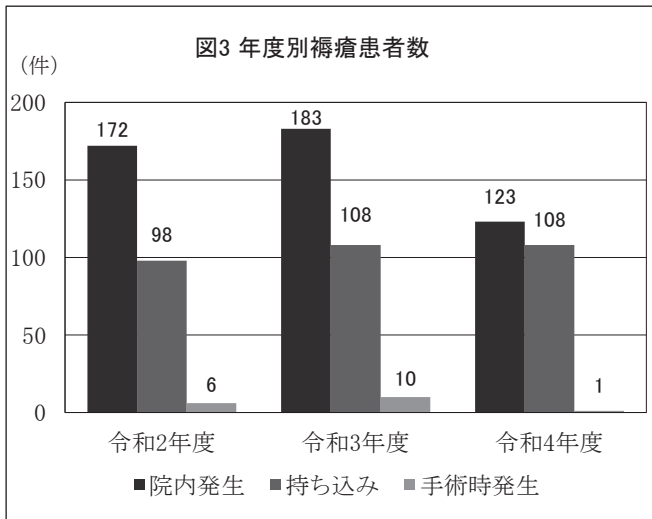
1. 年度別院内褥瘡推定発生率(図1)



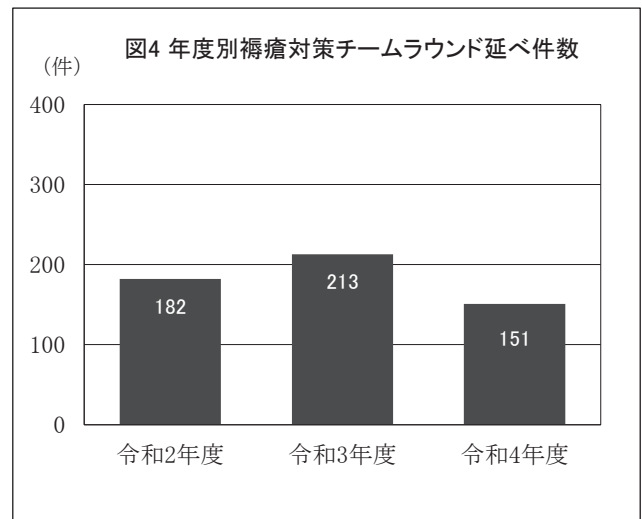
2. 年度別褥瘡保有率(図2)



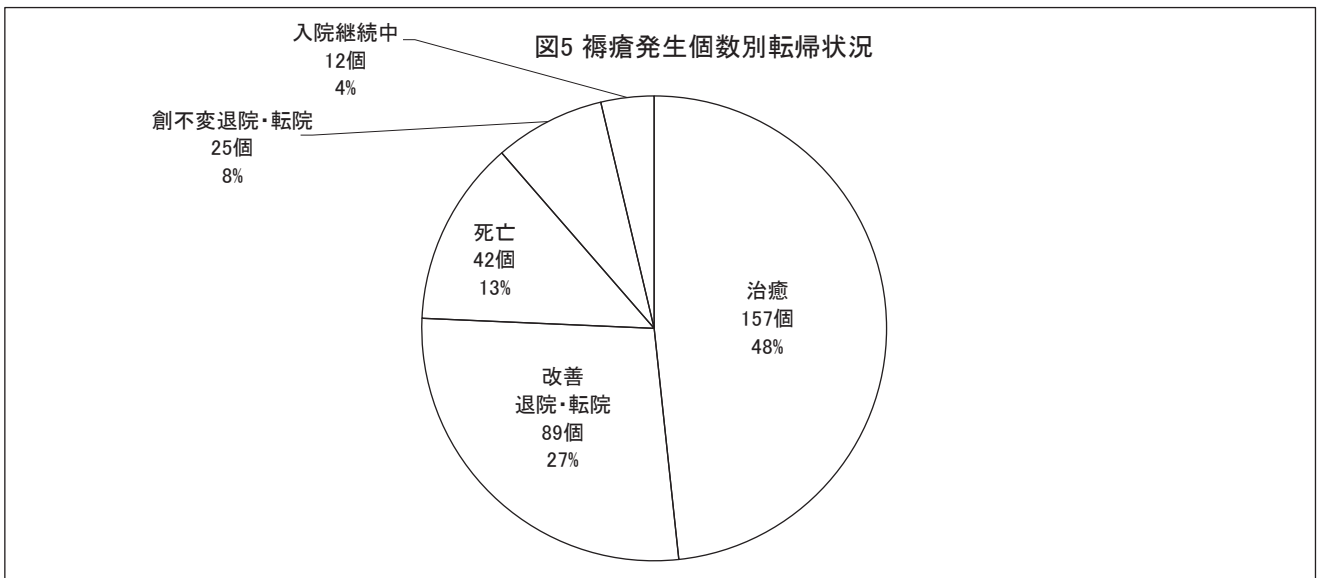
3. 年度別発生場所別褥瘡患者数(図3)



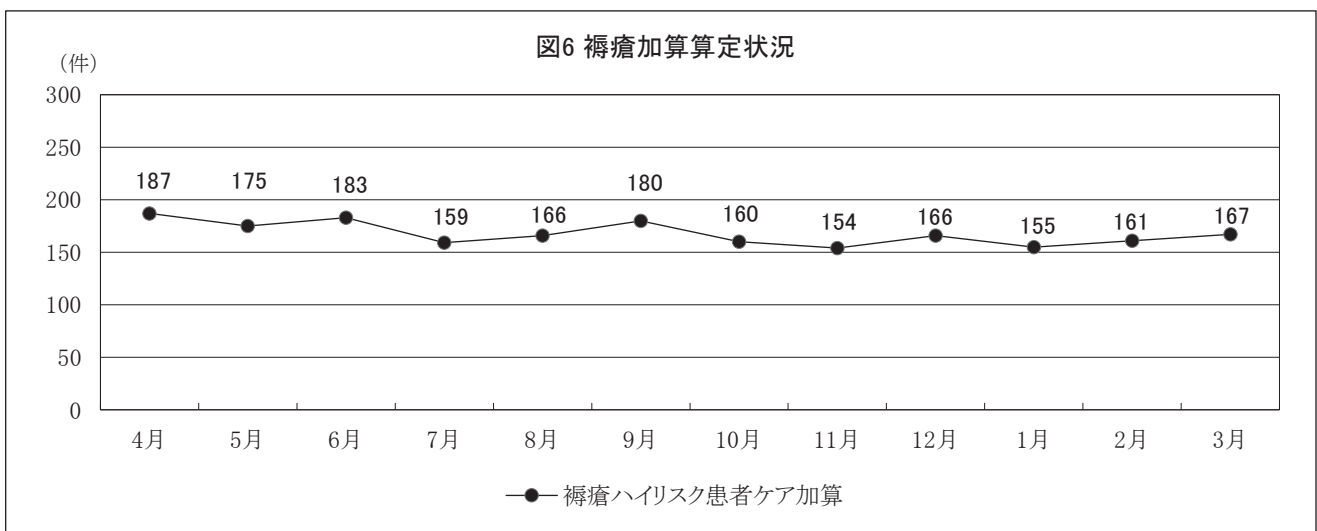
4. 年度別褥瘡対策チームラウンド延べ件数(図4)



5. 褥瘡発生個数別転帰状況(図5)



6. 褥瘡加算算定状況(図6)



19 諸法事務受付業務

病気やケガをしたとき、健康保険により診療を受けることができます。この健康保険制度のほかに公費負担制度があります。この制度は、特定の病気を対象とし、公衆衛生の向上を図るためのものと、経済的弱者を救済する社会福祉的なもの到大別され、その診療費の全額または一部を負担するものです。

諸法事務受付は、このような公費負担制度の院内の窓口として、主に次のような業務を行っています。

令和4年度医療事務相談取り扱い件数

受付事務および医療費請求	件数	受付事務および医療費請求	件数
医療費領収証明事務	772	労働災害補償保険法	705
生活保護法	11,000	国家・地方公務員災害補償法	110
公害認定患者	16	感染症37-1条・37-2条	69
横浜市・神奈川県妊婦健診	5,500	結核患者連絡票手続き	68
横浜市乳幼児精密健診	386	新生児聴覚検査	369
横浜市1歳6カ月・3歳児精密健診	8	育成医療	3
横浜市麻疹等の予防接種	64	養育医療	32
横浜市学校心臓病・糖尿病・腎臓病関連健診	9	更生医療	208
神奈川県原子爆弾被爆者等健康診断	3	介護保険主治医意見書	2,345
高齢者インフルエンザ予防接種	21	出産育児一時金直接支払制度利用手続き	533
高齢者肺炎球菌予防接種	1	障害者施設通所者交通費	7
横浜市子宮がん検診	207	合 計	22,436

9 患者サポートセンター

1 入院サポート

診療科別対応件数

(令和4年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
血液・リウマチ・感染症内科	30	32	35	38	25	43	46	33	27	33	24	40	406
呼吸器内科	27	33	34	35	35	47	36	50	35	43	25	37	437
循環器内科	43	51	61	50	43	56	51	46	59	35	50	55	600
腎臓・高血圧内科	24	26	30	15	16	18	14	16	14	19	18	22	232
消化器内科	107	114	113	78	95	116	95	122	99	116	81	110	1,246
内分泌・糖尿病内科	35	28	35	27	29	32	29	22	27	29	30	39	362
臨床腫瘍科	26	23	26	19	26	29	18	24	19	11	20	21	262
小児科	5	6	4	2	4	3	7	7	6	4	6	11	65
精神科	4	5	14	12	5	3	8	8	4	11	7	6	87
皮膚科	29	32	29	27	25	42	26	25	28	22	36	28	349
放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
呼吸器外科	11	19	13	10	17	14	12	9	14	15	12	16	162
消化器・一般外科	18	21	18	20	25	17	16	28	20	29	31	22	265
乳腺・甲状腺外科	13	8	6	14	16	17	12	12	10	13	8	16	145
乳腺外科	11	9	10	6	8	9	8	7	8	9	0	11	96
心臓血管外科	8	13	9	5	3	3	8	9	8	13	13	6	98
消化器外科	44	50	39	61	49	29	30	50	47	35	29	45	508
心臓血管外科・小児循環器	3	7	9	7	17	18	5	7	12	8	10	8	111
整形外科	107	112	129	100	101	132	138	116	126	139	106	133	1,439
形成外科	17	17	21	20	9	12	28	20	30	13	32	26	245
脳神経外科	40	34	29	31	41	24	39	40	22	26	45	42	413
眼科	53	60	66	54	43	38	53	51	41	43	39	33	574
耳鼻いんこう科	45	49	48	56	53	48	62	66	68	63	59	59	676
歯科・口腔外科・矯正歯科	54	67	53	52	73	52	53	59	67	73	66	69	738
産婦人科	45	56	57	65	75	57	69	66	64	47	65	64	730
泌尿器科	105	92	127	110	83	90	105	96	113	79	89	115	1,204
麻酔科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
リハビリテーション科	0	1	1	0	1	0	2	0	0	1	0	1	7
児童精神科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
脳神経内科	7	12	14	18	7	13	13	13	10	16	11	16	150
脳卒中科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	912	978	1,030	932	924	962	983	1,002	978	946	912	1,051	11,610

対応内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者情報収集	800	878	908	702	849	840	866	836	784	787	666	931	9,847
入退院支援スクリーニング	800	878	908	702	849	840	866	836	784	787	666	931	9,847
栄養スクリーニング	800	878	908	702	849	840	866	836	784	787	666	931	9,847
転倒転落スクリーニング	800	878	908	702	849	840	866	836	784	787	666	931	9,847
せん妄リスクスクリーニング	800	878	908	702	849	840	866	836	784	787	666	931	9,847
周術期管理センター案内	183	192	202	164	171	154	186	173	192	165	123	196	2,101
DA代理入力と検査説明	73	67	70	34	63	57	61	67	75	73	59	65	764
入院案内	901	955	997	765	896	922	945	985	971	947	944	1,062	11,290
月別合計	5,157	5,604	5,809	4,473	5,375	5,333	5,522	5,405	5,158	5,120	4,456	5,978	63,390
患者対応実数	937	1,000	1,049	942	935	962	989	1,014	997	953	944	1,062	11,784

2 患者相談窓口

(令和4年度)

内 容	件 数
診療内容・接遇に関する事	138件
医療費・助成に関する事	11件
施設・院内環境に関する事	6件
その他	84件
合 計	239件

3 地域連携業務

①地域連携にかかる主な実績

(令和4年度)

項 目	
紹介割合	85.1%
紹介患者数	15,304件
逆紹介割合	53.0%
逆紹介患者数	17,782件
セカンドオピニオン外来	155件
紹介患者初診時予約(予約件数)	7,913件
かかりつけ医案内コーナー対応件数	1,029件

②登録医・連携病院制度

(令和4年度)

登録医(医療機関数)	919件
連携病院	22件

※令和4年度より紹介割合と逆紹介割合の算出方法を変更しております。

③研修等開催実績

(令和4年度)

市民向け医療講座(エクステンション講座含)		医療従事者向け研修会等	
日 付	項 目	日 付	項 目
6月 20日	膠原病による治りづらい皮膚潰瘍を再生医療で治療する ～先進医療による血管再生治療研究へのとり組み～	5月 23日	産婦人科医療連携フォーラム
		5月 27日	HIV診療研修会
9月 2日	前立腺がん治療について ～放射線治療を中心に～	7月 21日	臨床がんゲノム検査の現状と地域連携について
		9月 27日	呼吸器外科での画像診断と手術の進歩
11月 21日	腎臓病患者さんの安全・安心の医療のために ～通常の腎臓病対策から透析・コロナ対応まで ～腎臓が寿命を決める!～	10月 15日	看護職向け認知症ケア対応力向上研修
		11月 12日	HIV診療症例研究会
2月 1日	認知症疾患医療センター市民講座	11月 25日	HIV感染者・エイズ患者の在宅医療・介護の環境整備事業「実地研修」
		11月 4日	HIV感染者・エイズ患者の在宅医療・介護の環境整備事業「実地研修」
		11月 14日	かかりつけ医認知症対応の向上研修
		12月 2日	かかりつけ医認知症対応の向上研修
		12月 7日	第1回YCU横浜早期膀胱癌診断プロジェクト2023の説明・研修会
		1月 30日	①「基底細胞癌・有棘細胞癌の診断と治療」 ②「基底細胞癌・有棘細胞癌に対する外科的治療の取り組みと進行情形」
		1月 21日	看護職向け認知症ケア対応力向上研修
		2月 11日	看護職向け認知症ケア対応力向上研修
		2月 28日	①「ロボット支援下直腸手術・結腸手術」 ②「経縦郭アプローチの食道手術とロボット支援食道手術」
		3月 9日	当科における膀胱癌治療の現状 ～早期発見を目指して～

4 ソーシャルワーク業務

患者や家族のかかえる経済的、心理的・社会的問題の解決、調整のため社会福祉の立場から相談・援助を行っている。

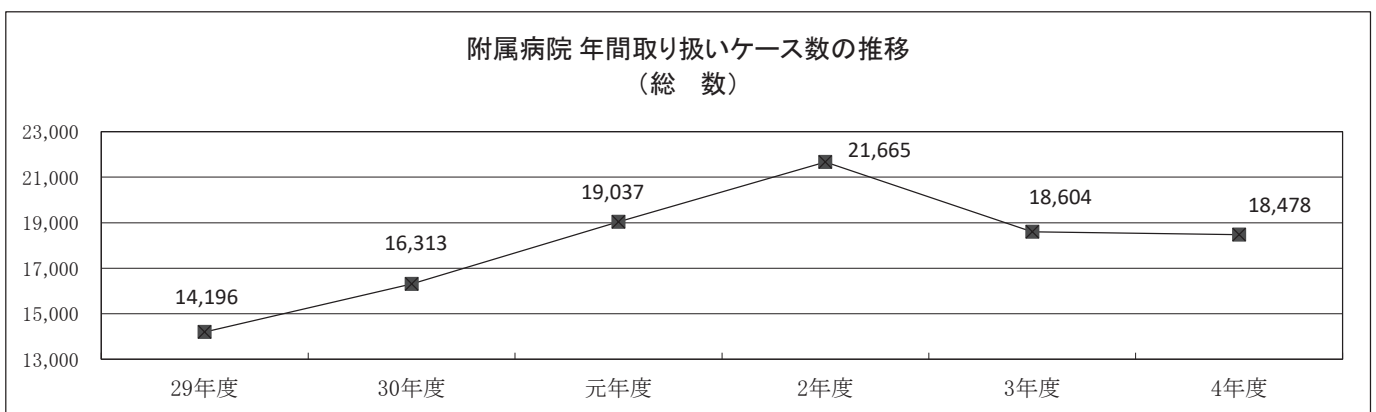
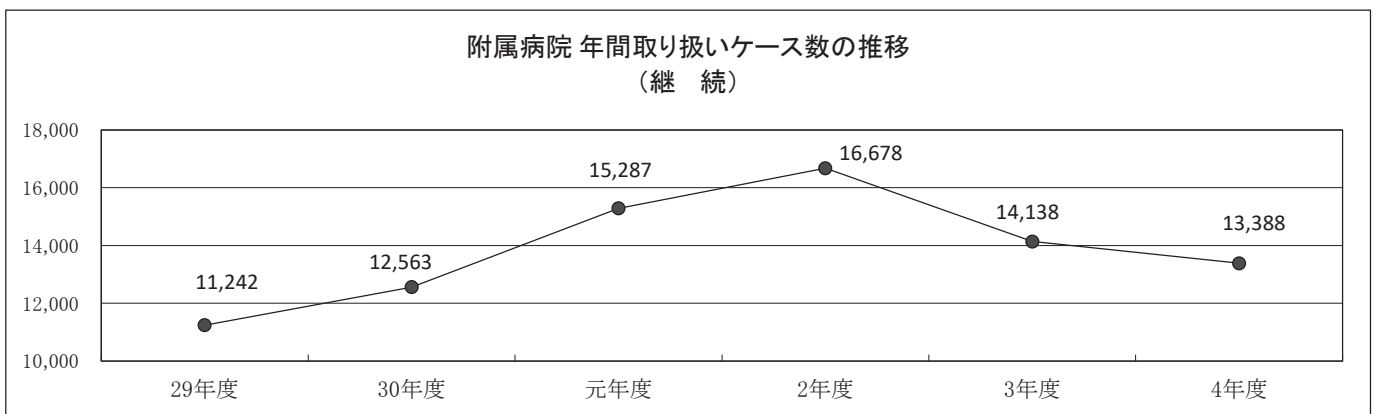
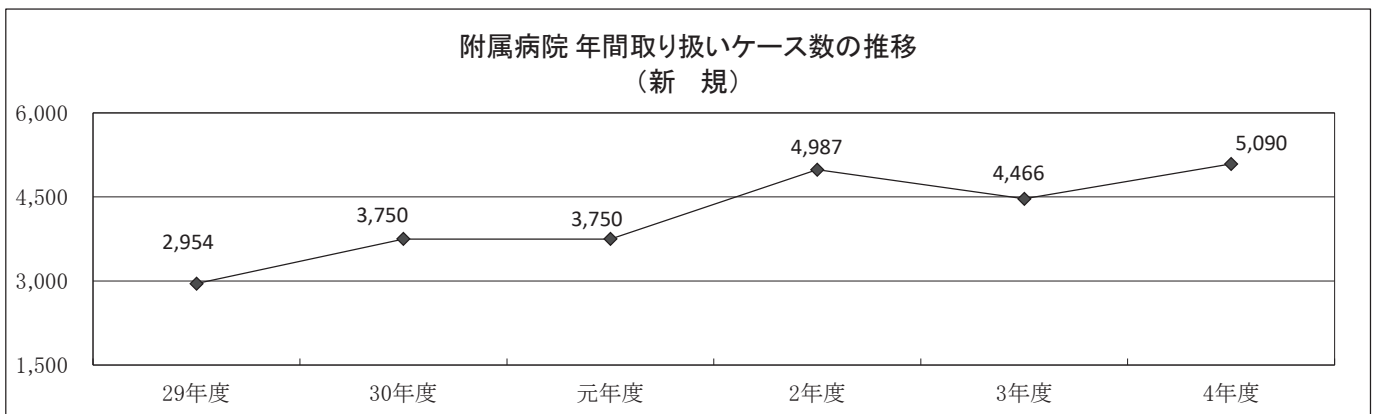
(1) 直接的援助業務

面接や電話などで、療養生活上の問題や社会復帰に関することなど多岐に渡る相談を受けている。また、必要に応じて地域の関係機関や医療機関等と連携して援助を行っている。

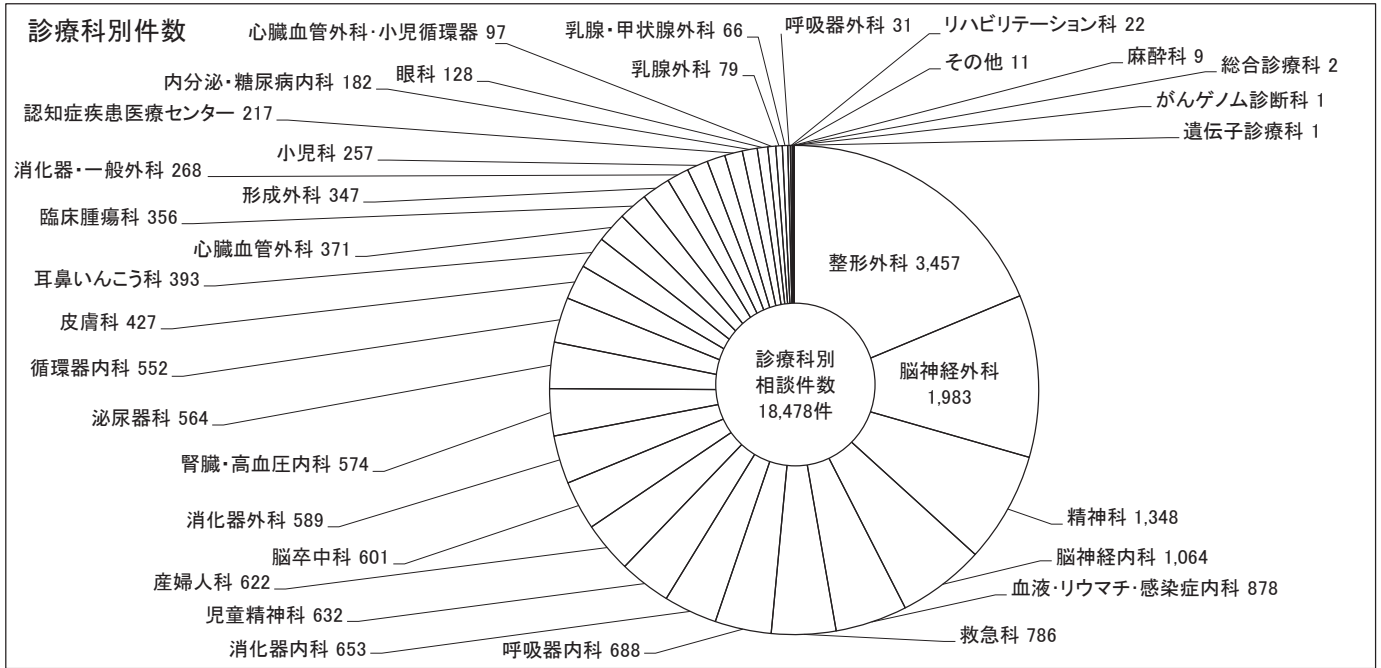
<相談件数>

(ア) 相談件数

	新 規	継 続	総 数
令和4年度	5,090	13,388	18,478



(イ) 診療科別相談件数

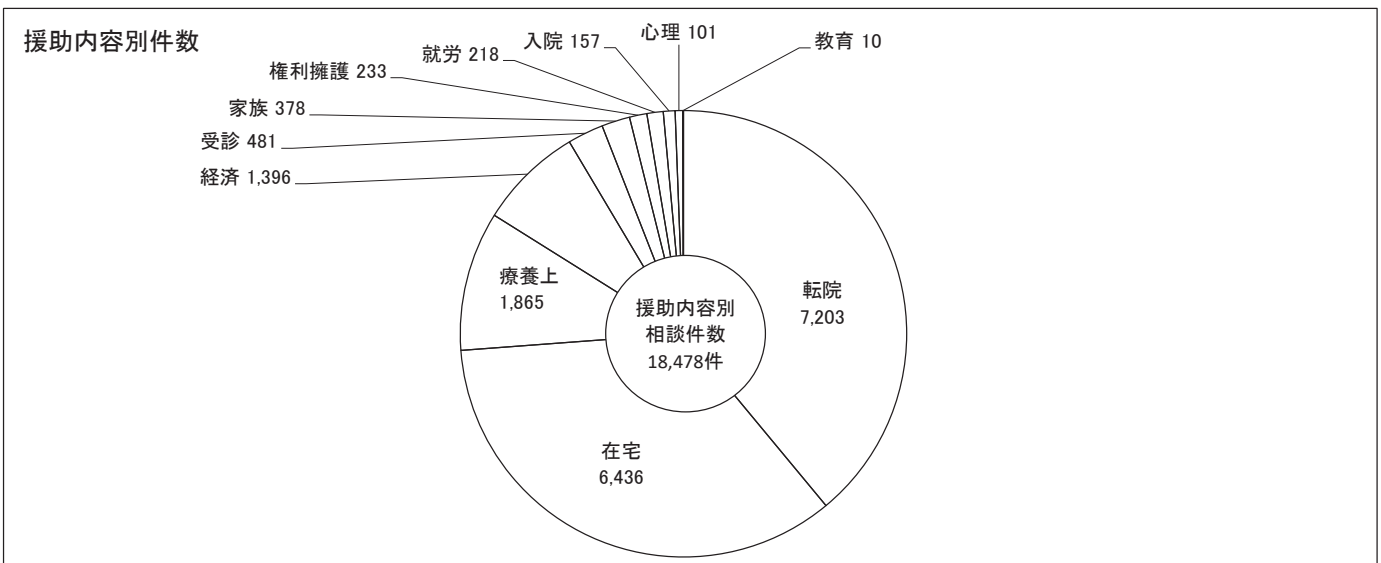


(ウ) 援助方法別相談件数

援助方法	電 話	面 接	文 書	退院支援計画書	カンファレンス	※転院調整システム	合 計
回 数	28,001	6,490	2,256	2,037	3,121	4,073	45,978

※転院調整のDXに伴い、導入したシステム(ケアブックコネクト)への入力作業を集計

(エ) 援助内容別相談件数



- ① 転 院 … リハビリ病院や療養型病院、ホスピス、一般病院、施設への転院(入所)調整援助(外来患者の調整含む)
- ② 療 養 上 … 臓器移植提供、治療の選択、死後事務手続き等に関する相談援助(医療通訳の手配)
- ③ 在 宅 … 往診医や訪問看護、ヘルパーや福祉用具などのサービス調整を含む在宅援助
- ④ 経 済 … 医療費や生活費などの経済問題に対し、社会保障・福祉制度を用いての援助
- ⑤ 受 診 … 当院受診に係る、受診以前の相談や受診に関する相談、受診に支援を要する患者に対しての援助
- ⑥ 入 院 … 当院への入院調整援助
- ⑦ 権利擁護 … 患者の権利擁護、児童・高齢者虐待やDV被害者、ハイリスク妊産婦への援助
- ⑧ 心 理 … 病気の受容促進、精神療法的援助
- ⑨ 家 族 … 家族状況の把握、家族の介護や育児等に関する問題に対しての援助
- ⑩ 就 労 … 障害者職業センターや作業所、ハローワーク等の紹介等、就労、休職、復職に関する援助
- ⑪ 教 育 … 就学・復学等に関する連絡調整等の援助

(2) 間接的援助業務および関連業務

① カンファレンス等への参加

各科、各病棟との連携の強化、ソーシャルハイリスク患者への早期介入などを目的に、診療科カンファレンス(脳神経外科、精神科等)や各病棟での退院支援カンファレンスに定期的に参加している。

② 神奈川県エイズ治療中核拠点病院に関する業務

ソーシャルワーカーは、医師や歯科医師、看護師、薬剤師やカウンセラー等と協働して、中核拠点病院としての役割である「拠点病院等に対する研修事業および医療情報の提供」や「拠点病院等との連携」等の一翼を担っている。

③ がん相談支援センターに関する業務

地域がん診療連携拠点病院として、がん患者に対する療養上の相談支援に加え、がんサロンの運営等、間接的な支援を提供している。また、がん患者のニーズを充足できるよう他機関との情報共有や、がん相談の技術向上に資するため「がん相談支援センター相談支援部会」や「横浜市小児がん連携病院連絡会」等の研修会・会議等へ参加している。

④ 横浜市認知症疾患医療センターに関する事業

平成25年1月に横浜市から事業運営を受託し認知症疾患医療センターを開設した。地域における認知症疾患の保健医療水準の向上を図ることを目的として、保健医療・介護機関等と連携を図りながら、かかりつけ患者に限定することなく認知症疾患に関する鑑別診断、周辺症状と身体合併症に対する急性期治療、専門医療相談等を実施している。また令和4年12月からは若年性認知症支援コーディネーター事業を受託し、ソーシャルワーカーを中心に若年性特有の仕事との両立や経済不安などの相談に対応している。

⑤ 地域との連携

高齢者、障害者、子育て支援および虐待対応等に係る連絡会に出席し、地域関係者(行政やケアマネジャー、他病院ソーシャルワーカー)との顔の見える連携体制を構築している。

⑥ 地域貢献・社会貢献

利用者や市民にソーシャルワーカーとしての実践を伝えることで地域に貢献すると共に、ソーシャルワーカーの認知度や社会的信用を高めるため、各種講演会・研修会の講師や実習生の受け入れ等を行っている。

5 チャイルド・ライフ・スペシャリスト (CLS) 業務

1. 患者統計

(1) 介入実患者数

(令和4年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	57	16	12	28	22	11	23	13	20	12	7	8	229
継続	199	202	81	210	206	177	243	176	238	197	185	152	2,266
再入院	7	16	6	18	18	8	15	15	19	20	20	12	174
合計	263	234	99	256	246	196	281	204	277	229	212	172	2,669

※継続は新規・再入院時に2回以上関わった患者を含む。

(2) 診療科別介入病棟

	6-1	6-2	6-4	7-1	7-2	7-3	8-2	8-3	9-1	9-2	9-4	ACU	HCU	CCU	ICU	無菌室	外来	その他	合計
小児科(血腫)	1,559					8		4	3		1				10	73	126	14	1,798
小児循環器	286											3			4		2	3	298
小児科(リウマチ)	103								2						2		28	2	137
血液・リウマチ・感染症内科																	3	3	6
消化器内科																	1		1
臨床腫瘍科							1												1
精神科			1																1
呼吸器外科	1																		1
消化器外科				2													4		6
整形外科	16				3												1		20
形成外科	4					5													9
脳神経外科	71					9							1	4	1		4	5	95
眼科	1									1									2
耳鼻いんこう科	7									6							4	1	18
歯科・口腔外科・矯正歯科	9									1									10
産婦人科		17																	17
児童精神科			245															2	247
遺伝子診療科																	1	1	2
合計	2,057	17	246	2	3	22	1	4	5	8	1	3	1	4	17	73	176	29	2,669

(3) 支援内容

(令和4年度)

項目	内容	件数
関係構築・アセスメントを目的とした遊びの提供	日常的な遊びを通して、患者との関係構築を行ったり、患者の課題・ニーズ・CLSの介入の必要性を把握するためのアセスメントを行う。	96
プリパレーション	人形、お医者さんごっこのセット、医療資材等を用いて検査や処置について、年齢・発達に応じた言葉を用いて説明し、心の準備をサポートする。	167
検査・処置に伴う支援	おもちゃを用いたり、声がけをしたりしながら、少しでも不安や恐怖が軽減し、主体的に治療に臨めるようにサポートする。検査・処置前後の関わりも含む。	386
病状説明への同席	心理的負担が大きいと予想される病状説明にはCLSが同席し、適宜患者や家族をフォローする。	21
メディカルプレイ	人形、お医者さんごっこのセット、医療資材等を用いて、医療資材に慣れ親しみ、検査や処置への理解を深めるために行う遊び。	3
自己表現・感情表出および心理的支援	患者が抱く様々な感情を適切且つ安全な形で表出し、療養環境におけるストレスを和らげ、コーピングスキルの回復をサポートをする。	2,298
きょうだい支援	患者のきょうだいに対する直接または間接的な支援。	70
家族支援・相談	家族が直面する不安や困難な状況を乗り越えていけるよう、悩みや葛藤を傾聴したり、患者への関わり方のアドバイス等を行う。	682
グリーフサポート	ターミナル期の患者・家族への支援。	10
復学支援	原籍校へ戻る際に多職種と連携しながら、患者を支援する。原籍校とのカンファレンスがあれば、CLSも参加し、情報共有を行う。	11
成人患者家族支援	子どもへの関わり方や病気の伝え方の相談に応じ、子どもの話を傾聴する。家族で大きなライフイベントを乗り越えていけるようサポートする。	17
その他	他職種依頼によるCLSアセスメント、6-1病棟での各種催し時の関わり等	140
合計		3,901

※1日の内に2項目以上介入する患者がいるため(例：遊びの提供とプリパレーション)介入実患者数と支援内容の件数は一致しない。

(4) 介入理由・患者背景(全3,901件)

(令和4年度)

初めての検査・処置	初めての入院	心理的不安	気分の落ち込み	抵抗・拒否	ストレス反応	家族の不安	ターミナル期	心理的安定の維持	その他
119	56	743	185	39	202	438	37	1,754	328

(5) 依頼者(全3,901件)

(令和4年度)

医師	看護師	患者	家族	院内学級	保育士	ソーシャルワーカー	CLS	その他
417	261	1,485	316	19	16	7	1,254	126

2. 療養環境の整備

CLSは個別のケースだけでなく、小児科病棟に入院する患児とご家族の療養環境向上のために様々な活動に取り組んでいる。

(1) きょうだい通信の発行

(2) 公益財団法人そらぶちキッズキャンプと連携した各種イベントの実施

(3) おやこの会さんふわらと連携した小児科病棟の環境整備

(4) その他:各団体と連携した小児科病棟へのクリスマスプレゼントの調整・配布(みんなのレモネードの会、横浜こどもホスピスプロジェクト、横浜金沢マリオンライオンズクラブ)、医学科生と連携した各種イベントの実施

3. 院内外での活動

院内外においてもCLSの専門的知識を伝え、子ども・家族中心医療を多職種で実現できるよう活動している。

(1) 医学科生・看護学科生への講義(横浜市立大学附属病院、横浜中央病院附属看護専門学校)や多職種への勉強会の開催

(2) NPO法人しぶたねを招いたシブリングサポーター研修NPO法人しぶたねを招いたシブリングサポーター研修ワークショップin神奈川の対面開催

10 医療の質向上・安全管理センター

1 安全管理研修の開催状況

名 称	対 象	内 容	回 数
新採用・転入者 入職時研修 (e-Learning)	新採用・転入職員、 前期研修医2年目、 大学院生	・医療安全に関する院内のルールについて	2
復職者研修	復職者	・医療安全に関する院内のルールについて	1
第1回医療安全講演会 (e-Learning)	全職員	・附属病院の医療安全の歩み	1
第2回医療安全講演会 (e-Learning)	全職員	・当院手術室で発生した左右誤認手術と改善に向けた対応について～手術安全の取り組みの世界的な潮流を理解する～	1
第3回医療安全講演会 (e-Learning)	全職員	・附属病院の安全文化を測る ・手術安全チェックリストの見直し	1
第4回医療安全講演会 (e-Learning)	全職員	・医療放射線安全研修 ・医薬品安全管理研修 ・HIV診療の基礎と問題点	1
TeamSTEPPS研修	全職員	・チームでの働き方を考える参加型研修	2
中心静脈カテーテル 講習会	医師・研修医	・講義、シミュレーターを使用した実技演習	3

2 インシデント報告数（ヒヤリハット報告数）

年 度	報 告 件 数
令和2年度	5,665件
令和3年度	5,853件
令和4年度	5,758件

3 高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等申請、承認状況

(1) 高難度新規医療技術申請、承認件数

年 度	申請件数	承認件数
令和3年度	12件	10件
令和4年度	9件	8件

※申請件数は申請日の年度で集計しています。承認件数は令和5年5月時点の件数です。

(2) 高難度新規医療技術申請一覧(令和4年度)

申請診療科	申請名	申請	承認
泌尿器科	腎癌に対するロボット支援腹腔鏡下腎摘除術	○	○
泌尿器科	ロボット支援腹腔鏡下副腎摘除術	○	○
呼吸器内科	肺疾患に対する経気管支凍結生検法(クライオ生検法)	○	○
脳神経外科	デリタクト	○	※
脳神経外科	定位的頭蓋内電極留置術	○	○
消化器・一般外科	食道癌に対するロボット支援胸腔鏡下食道切除術	○	○
産婦人科	ロボット支援腹腔鏡下单純子宮全摘術	○	○
小児循環器科	開窓フォンタン術後に対するカテーテル的デバイス開窓閉鎖術	○	○
呼吸器外科	単孔式ロボット支援下肺切除・縦隔腫瘍切除術 (改造フレアカニューレを用いる)	○	○

※再生・細胞医療運営委員会で審議しました。

(3) 未承認新規医薬品等申請、承認件数

年度	申請件数	承認件数
令和3年度	44件	36件
令和4年度	50件	42件

※申請件数は申請日の年度で集計しています。承認件数は令和5年5月時点の件数です。

(4) 未承認新規医薬品等申請内訳(令和4年度)

	申請件数	承認件数
未承認医薬品の使用	2件	0件
院内製剤	5件	4件
医薬品の適応外使用	35件	30件
医療機器の適応外使用	8件	8件

4 当院の組織横断的医療チーム (令和4年度)

■栄養サポートチーム(NST)			
介入件数	ラウンド回数	NSTニュース発行	NST加算算定 (200点+歯科連携50点)
352件	199回	6回	294件

NSTは、各職種が専門的な知識を持ち寄り、治療が円滑に進むよう、栄養面からサポートを行っているチームです。以下を目的に活動を行っています。

- (1) 適切な栄養管理の提案
- (2) 栄養療法に関する合併症の予防及び対策による安全な医療の支援
- (3) 病院経費及び医療費削減への貢献
- (4) 病院スタッフのレベルアップを目的とした栄養管理に関わる知識の啓蒙
- (5) 他の医療チーム及び院外の地域医療との連携

今後、高齢の入院患者さんの増加により一層栄養面からのサポートが必要になると考えられます。

■褥瘡対策チーム

介入患者数	ラウンド回数	研修開催件数	褥瘡対策ニュース発行
291名	50回	3回	6回

褥瘡対策チームでは、医師・看護師・理学療法士・薬剤師・栄養士・医事課職員も含めた多職種でのカンファレンスを行い、褥瘡発生予防や、褥瘡のケアに努めています。主な活動は以下の通りとなります。

- ・院内をラウンド(週1回)し、褥瘡患者さんのケア方法を提案
- ・褥瘡定例会を通じた褥瘡発生率や改善率の共有、発生要因や対応策の検討・実施
- ・院内勉強会の開催や院内ニュースレターの作成を通しての啓蒙活動
- ・日本褥瘡学会大規模調査への参加

患者さんにより良いケアができるように、最終的には院内褥瘡発生率(日本褥瘡学会の褥瘡発生率の計算式を活用)1%以下となることを目標に活動しています。

■呼吸サポートチーム(RST)

介入患者数	ラウンド回数	研修開催件数	RST NEWS	RST加算算定
104件	235回	3回	3回	154件

RSTは、医師・看護師・臨床工学技士・理学療法士の4職種が専門的な知識を持ち寄り、人工呼吸療法中もしくは呼吸ケアを必要とする患者さんの安全管理と、呼吸器装着期間の短縮、効果的な呼吸療法に関するスタッフ教育、院内の呼吸療法の質の維持と向上を目的としている専門チームです。人工呼吸器の最適な設定、口腔ケアや排痰ケア、筋力維持や改善を目的とした早期離床や運動療法の導入などのサポートを行います。

主な活動の一つが、人工呼吸器を装着中の患者さんの状態を把握し、適切なアドバイスや支援を行うためのチームラウンドです。令和4年度はHCU・CCU・6-3病棟・7-1病棟・7-4病棟など計13病棟にラウンドを行いました。週1回、全ての職種がそれぞれの領域の専門知識や技術を十分に活用し、患者さんが治療を安全に、安心して受けられるように病棟の看護師や主治医と連携をしています。また、病院スタッフに講習会を開催して、呼吸ケアの質の向上に努めています。

■精神科リエゾンチーム

チーム登録患者数	ラウンド実施延べ患者件数	精神科リエゾンチーム加算(300点)	せん妄ハイリスク患者ケア加算(100点)	せん妄症状発症報告シート提出件数	研修開催件数	精神科急性期医師配置加算2(500点)
246名	1,412件	784回	8,867件	466件	4件	7,409件

「リエゾン」とはフランス語で「つなぐ」「連携」を意味します。身体的疾患は患者さんの体だけではなく心にも影響を与えます。精神科リエゾンチームは、身体科医療と精神科医療をつなぎ、患者さんが身体科医療に向き合えるために活動するチームです。当院では自殺企図や自殺念慮、認知症や精神疾患、身体疾患や身体疾患の治療薬剤によって起こる精神症状、身体疾患の心理的影響に伴う抑うつ、不眠、せん妄などに精神科医、精神看護専門看護師、公認心理士でチームを組み、薬剤師や精神保健福祉士などの協力も得ながら、患者さんへの介入を行っています。

■摂食嚥下支援チーム

介入件数	ラウンド回数	研修開催件数	摂食機能療法	摂食嚥下支援加算
776件	576回	30回	538回	207回

摂食嚥下支援チームが立ち上がってから3年が経過しました。近年の高齢人口の急速な増加により、嚥下機能低下を訴える患者さんが増え、当院でも新患件数ならびに介入件数も多くなり、チームの需要は年々高まっています。

昨年度1月より、歯科口腔医師主導のチーム運営から、リハビリテーション科主導の運営に変化しており、より全身管理を行った上での、包括的な嚥下リハビリテーション治療が行われるようになりました。チームの実績としては、2年前に変更した嚥下食(ゼリー食)も定着しています。昨年度は、嚥下フローを作成して、全入院患者の嚥下スクリーニングを実施するようになりました。引き続き、チーム活動を継続することにより、医療の質の向上を目指しています。

■緩和ケアチーム

介入件数	ラウンド回数	研修開催件数	その他
1,474件 *入院+外来介入(延べ)	2,775回	緩和ケア研修会 2回 看護部がん看護研修 8回	地域カンファレンス 5回

緩和ケアチームはがん患者さんが経験する痛み、しびれ、吐き気などの体の症状や、不安感や不眠という心の症状の原因を主治医や病棟スタッフと連携してサポートするチームです。緩和ケアというと、以前はがんの治療が終わった後の患者さんが対象のように考えられていましたが、現在では、がんの治療と並行して必要に応じた緩和ケアが開始されることが大切だと考えられています。当院の緩和ケアチームは、診断時の患者さんから、様々な治療段階にある患者さんまで、幅広く緩和ケアを行っています。緩和ケアチームは、入院中または外来に通院中の患者さんに対し、主治医や病棟のスタッフの治療とケアをサポートする体制で診療を行っています。診療をご希望の患者さんは主治医までお話しください。

■ラピッドレスポンスチーム(RRT)

介入件数	ラウンド回数
110件	140回

院内の急変事例が増えてきたことをきっかけに、集中治療部、救急科、麻酔科、認定看護師らが中心となって、2019年1月にRRTを立ち上げました。病棟へのラウンドを積極的に行い、認知度が徐々に上がってきたことで、コール件数も年々増加しています。現在、24時間365日の運用体制を取っており、院内の安全管理に貢献しています。RRTの導入前後を比較すると、敗血症死亡率の改善も見られており、重症患者への早期介入の意義を結果として認めています。今後も、病棟のラウンドをしながら、スタッフへの教育を行ない、周知活動を続けていきます。RRTチームへのコールを増やしていくことが、予後改善の成果に繋がると考えています。

■臨床倫理コンサルテーションチーム(CECT)

依頼件数	研修開催件数	定期発行物数	学会発表
46件	12回	6回	1回

臨床倫理委員会の下部組織として位置づけられ、2020年11月16日より活動を開始しました。メンバーは、11診療科13人の医師、家族支援・精神・がん・老人看護などの専門看護師を含む看護師9人、社会福祉士4人、薬剤師1人で構成されています。当院の医療従事者が診療・ケアに関して日常的に遭遇する倫理的な価値判断が難しいケースや倫理的な問題・悩みについて、共に考え、検討する支援を行っています。日常的な課題においては、定期的な広報「CECT新聞」を通じて全職員への共有を行い、さらに倫理教育・研修の実施を通して、質の向上に努めています。

■HIV診療チーム

通院患者数	新規患者数	カンファレンス回数	配布資料作成	研修開催件数
311名	25名/年	12回/年	1回/年回	3回/年回

HIV感染症は疾患に特化した問題や制度があり、それらに柔軟に対応するため、多職種による診療体制の構築が必要です。当院では、医師、看護師、薬剤師、社会福祉士、カウンセラー、事務職員をメンバーとするHIV診療チームで活動しています。また、当院はエイズ治療中核拠点病院として、診療だけでなく他施設への研修を行いHIV感染者の受け入れを勧奨しています。近年、HIV感染者の高齢化・合併症の増加が問題となっており、今まで以上に他科や行政との連携が必要と考えられます。

■暴言・暴力対応支援チーム

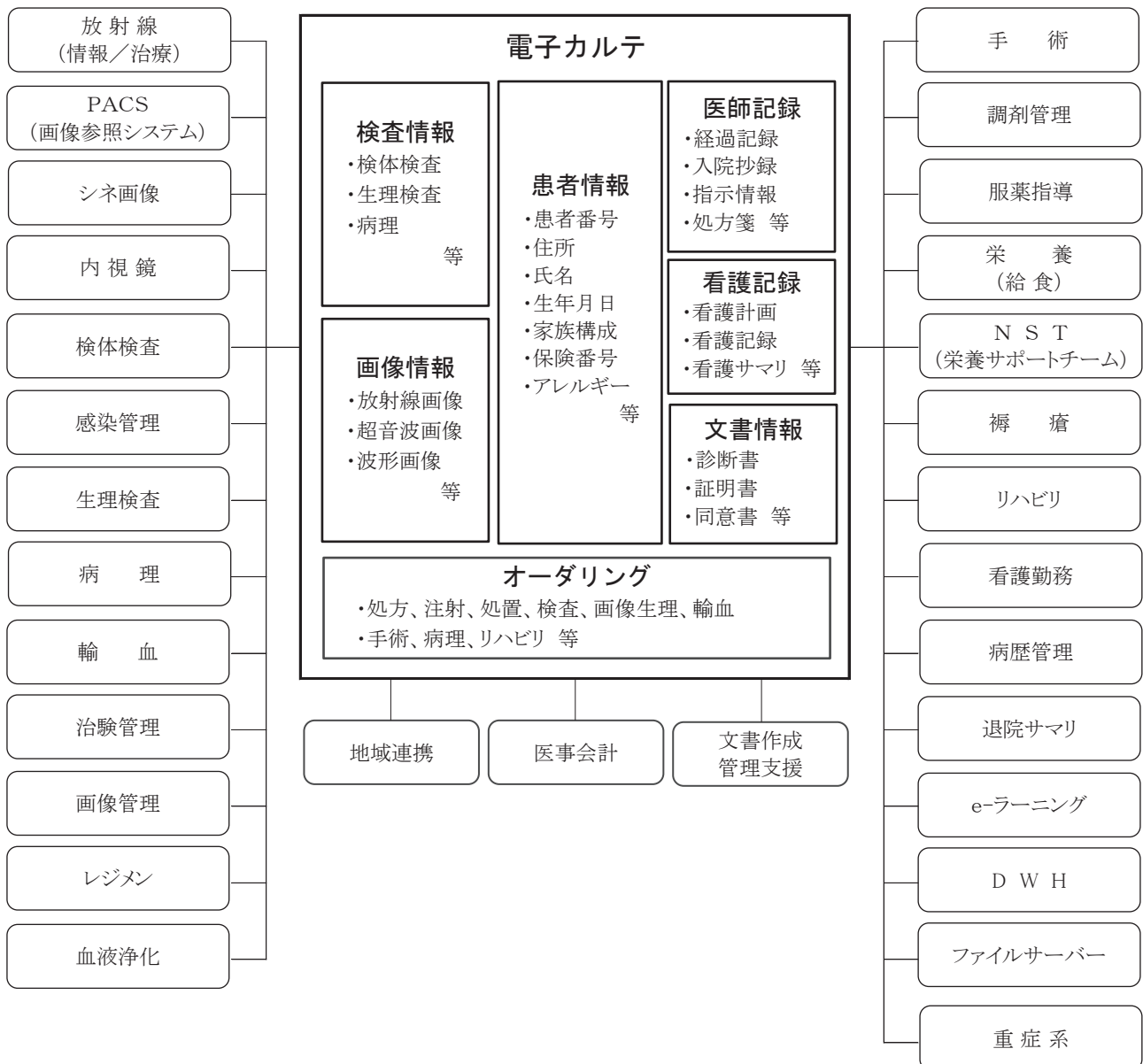
チーム会議回数	研修開催件数
4回	1回

職員に対する暴言・暴力等被害報告の増加を受けて調査した結果、対応整備、環境調整、職員教育等の課題が明らかになりました。これらに対する対策を検討するため、令和4年6月に「暴言・暴力対応支援チーム」が設置されました。令和4年度は、院内のマニュアルや規程の見直し、防犯用品の調達及び評価、困難事案への支援や介入、職員研修の実施等の取り組みを行うことで、暴言・暴力等に対する対応力強化に取り組みました。職員に対する暴言・暴力等は、患者さんに医療を提供する上での妨げとなります。今後もこれらの取り組みを継続しながら、暴言・暴力等に対しては毅然と対応できるよう、病院全体の対応力強化に取り組んでいきます。

11 医療情報部

医療情報部は平成20年から稼働し、平成27年7月に更新した電子カルテを中心とした病院情報システムの管理、ものとしての診療録の管理を担当し、医療情報全般の運用に携わっています。診療情報管理士によるがん登録、診療記録監査も実施し、診療情報の質の向上を図っています。平成29年6月には手術システムの更新、重症系患者情報システムの稼働がありました。病院情報システムでは複数のシステムが連携し、病院全体の情報の共有化を図り、統合管理を行うことで、医療安全の向上、チーム医療の実践、医療の質の向上、病院経営の効率化などに寄与しています。併せて、DPCによる分析、クリニカルパスの運用もサポートしています。

病院情報システム



関連システム

このほか、患者サービスの向上や安全性の向上などを目的に以下のシステムを導入しています。

DPC分析システム、自動精算機システム、会計待番号表示システム、患者案内表示板システム、アンブルピッカーシステム、インシデントレポートシステム、がん登録システム等

12 臨床検査部

[ISO15189認定 臨床検査室:認定番号RML00520] (第3回更新日:2022年2月1日~2026年1月31日)

部門別、月別検査件数

部 門		4月	5月	6月	7月	8月		
検 体	一 般	件 数	18,760	17,537	18,277	17,268	17,921	
	血 液	件 数	53,381	52,657	53,510	52,723	52,587	
	臨床化学免疫血清	件 数	339,637	338,426	351,110	337,534	338,330	
	COVID-19 PCR	件 数	1,493	1,656	1,687	1,914	2,310	
	医 生 物	一 般 細 菌	件 数	4,426	3,838	3,623	4,358	4,168
		抗 酸 菌	件 数	427	383	403	443	359
		計	件 数	4,853	4,221	4,026	4,801	4,527
検 体 検 査 合 計		件 数	418,124	414,497	428,610	414,240	415,675	
生 理	循 環 器	件 数	2,114	2,091	2,326	2,024	2,158	
	呼 吸 機 能	件 数	171	184	223	203	190	
	筋 電 図	件 数	67	64	82	77	78	
	脳 波	件 数	51	45	50	57	66	
	超 音 波	件 数	1,141	1,192	1,380	1,216	1,258	
	ガ ス 分 析	件 数	170	183	216	111	187	
生 理 検 査 合 計		件 数	3,714	3,759	4,277	3,688	3,937	
総 合 計		件 数	421,838	418,256	432,887	417,928	419,612	
外 部 委 託 検 査		件 数	8,227	7,976	8,919	8,137	8,048	
外 来 採 血 患 者 数			12,022	11,395	12,149	11,387	11,617	
簡 易 血 糖 器 指 導 ・ 保 守 ・ 管 理			415	394	434	428	401	
P O C T 新 規 指 導			48	33	47	40	38	
臨床試験支援室 臨床検査関係支援業務係数			956	1,468	1,249	1,202	1,099	
法 医 学 検 査 (検 体)			516	561	982	614	1,018	
法 医 学 検 査 (細 菌)			20	8	18	2	12	

注1 免疫血清稼動は臨床化学に含まれる

注2 緊急検査室稼動は各該当部門に含まれる

注3 院内委託業務は日常検査以外に感染管理に必要な細菌学的な検査を行なう

注4 平成29年度から血液件数集計方法を変更(5DIFFの個別項目を白血球分類1項目として集計)

(令和4年度)

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
17,808	17,216	17,264	17,366	17,226	16,025	19,528	212,196
53,230	52,381	52,484	54,562	53,101	50,038	58,570	639,224
345,133	341,010	341,696	355,527	346,931	327,392	383,330	4,146,056
1,660	1,569	1,554	1,613	1,568	1,401	1,490	19,915
4,101	3,770	4,067	4,062	4,142	3,422	4,539	48,516
393	348	356	364	296	275	281	4,328
4,494	4,118	4,423	4,426	4,438	3,697	4,820	52,844
422,325	416,294	417,421	433,494	423,264	398,553	467,738	5,070,235
2,115	2,222	2,205	2,116	2,087	2,009	2,390	25,857
192	202	176	206	193	169	211	2,320
68	57	59	64	66	70	93	845
47	58	47	51	47	44	62	625
1,208	1,248	1,240	1,232	1,200	1,151	1,381	14,847
192	209	207	217	157	201	198	2,248
3,822	3,996	3,934	3,886	3,750	3,644	4,335	46,742
426,147	420,290	421,355	437,380	427,014	402,197	472,073	5,116,977
8,221	8,803	8,532	8,346	8,370	8,407	9,402	101,388
12,071	11,593	11,642	11,863	11,614	10,862	13,086	141,301
438	380	401	415	391	377	401	4,875
35	39	40	32	24	45	38	459
1,153	937	1,191	1,375	1,314	1,044	1,405	14,393
569	674	628	884	756	691	573	8,466
4	4	12	18	12	2	6	118

13 放射線部

1 X線・CT・MR・核医学検査月別業務量

			4月	5月	6月	7月	8月	9月
X 線 検 査	胸 部	人 数	3,101	3,243	3,411	3,027	3,047	3,076
	腹 部	人 数	910	977	1,058	945	880	867
	骨 部	人 数	2,551	2,486	2,866	2,521	2,634	2,540
	パ ン ト モ	人 数	255	218	296	242	304	236
	そ の 他	人 数	105	81	103	115	91	126
	小 計		6,922	7,005	7,734	6,850	6,956	6,845
	血 管 造 影	人 数	149	146	170	143	144	139
	消 化 器 造 影	人 数	107	105	118	98	106	113
	泌 尿 器 造 影	人 数	110	108	127	108	109	119
	そ の 他 造 影	人 数	81	67	72	66	80	86
	小 計		447	426	487	415	439	457
	(ポータブル)		1,989	1,702	1,637	1,615	1,982	2,211
	(時間外)		657	559	360	539	356	68
	合 計	人 数	7,369	7,431	8,221	7,265	7,395	7,302
C T	頭 頸 部	人 数	652	631	587	650	607	638
	(造 影)		54	48	43	52	61	67
	そ の 他	人 数	2,363	2,284	2,468	2,324	2,392	2,420
	(造 影)		677	626	724	644	763	721
	合 計	人 数	3,015	2,915	3,055	2,974	2,999	3,058
M R	頭 頸 部	人 数	420	363	425	376	451	362
	(造 影)		129	116	142	101	144	124
	そ の 他	人 数	516	521	599	514	506	526
	(造 影)		85	82	96	105	101	78
	合 計	人 数	936	884	1,024	890	957	888
核 医 学	体 外 測 定	人 数	156	140	183	143	156	137
		(SPECT)	91	92	108	93	103	86
	P E T	人 数	205	217	248	215	234	264

(令和4年度)

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
3,309	3,309	3,155	3,244	3,079	3,514	38,515
869	943	909	888	914	938	11,098
2,647	2,690	2,760	2,474	2,541	3,219	31,929
286	294	309	264	279	350	3,333
94	115	113	86	93	147	1,269
7,205	7,351	7,246	6,956	6,906	8,168	86,144
163	158	135	155	160	157	1,819
100	113	104	94	103	105	1,266
115	116	112	118	105	126	1,373
79	85	95	83	69	84	947
457	472	446	450	437	472	5,405
1,937	2,021	2,343	2,211	2,049	2,201	23,898
45	77	85	78	60	73	2,957
7,662	7,823	7,692	7,406	7,343	8,640	91,549
682	738	680	707	749	747	8,068
57	87	69	57	70	80	745
2,418	2,462	2,526	2,484	2,409	2,730	29,280
707	765	727	720	703	779	8,556
3,100	3,200	3,206	3,191	3,158	3,477	37,348
406	411	387	395	400	434	4,830
138	131	126	130	126	137	1,544
556	538	550	514	495	595	6,430
81	101	99	83	83	108	1,102
962	949	937	909	895	1,029	11,260
172	149	139	158	152	177	1,862
104	88	80	101	94	106	1,146
217	203	247	229	239	287	2,805

2 放射線治療月別業務量

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
放射線治療	高エネルギー X線	人 数	541	605	705	592	607	570
		部 位 数	551	605	726	598	621	583
		照 射 数	1,816	1,866	2,092	1,735	1,589	1,631
	電 子 線	人 数	21	58	14	42	51	49
		部 位 数	21	58	14	47	51	49
		照 射 数	21	58	14	47	51	49
	中エネルギー X線	人 数	367	370	503	338	379	429
		部 位 数	390	425	610	377	476	535
		照 射 数	1,401	1,256	1,635	1,277	1,505	1,537
	(IMRT) 新 患	人 数	7	13	11	9	11	8
	(I M R T)	総 人 数	234	304	355	317	353	282
	(T B I)	人 数	2	1	1	2	1	1
外部照射合計	人 数	929	1,033	1,222	972	1,037	1,048	
R A L S	人 数	5	19	6	8	19	10	
合 計	人 数	934	1,052	1,228	980	1,056	1,058	

(令和4年度)

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
798	917	855	682	658	828	8,358
861	948	855	682	676	852	8,558
2,525	2,766	2,455	1,855	1,895	2,611	24,836
63	17	18	42	34	10	419
63	47	18	42	34	10	454
63	47	18	42	34	10	454
513	613	597	391	473	580	5,553
600	647	640	452	529	648	6,329
1,703	1,876	1,872	1,307	1,578	2,119	19,066
19	12	14	16	16	15	151
401	496	498	406	431	549	4,626
3	1	1	1	1	0	15
1,374	1,547	1,470	1,115	1,165	1,418	14,330
18	32	24	14	8	11	174
1,392	1,579	1,494	1,129	1,173	1,429	14,504

14 薬 剤 部

1 処方箋統計 (令和4年度)

		年	間	1	日	平	均
調 剤	処方箋枚数	入 院	156,625	429			
		外 来	4,718	19			
		計	161,343	448			
	処方箋件数	入 院	221,561	607			
		外 来	6,564	27			
		計	228,125	634			
	処方箋剤数	入 院	1,345,428	3,686			
		外 来	100,842	415			
		計	1,446,270	4,101			
注 射	処方箋枚数	入 院	165,188	453			
		外 来	25,754	106			
		計	190,942	559			
	処方箋件数	入 院	391,040	1,071			
		外 来	61,750	254			
		計	452,790	1,325			
	処方箋剤数	入 院	566,584	1,552			
		外 来	96,083	395			
		計	662,667	1,947			
院 外 処 方 箋 枚 数		198,310	816				
院 外 処 方 箋 発 行 率		97.7%					
調 剤 数 算 定 方 式		文部科学省方式					
注 射 薬 払 出 方 法		個人別セット、定数配置、請求伝票					

取扱日数

入院 365日

外来 243日

2 麻薬処方箋枚数 (令和4年度)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
1,374	1,372	1,264	1,199	1,298	1,369	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1,412	1,498	1,266	1,204	1,352	1,452	16,060

4 TDM実施件数 (令和4年度)

薬品名	件数
バンコマイシン	860件
ポリコナゾール	21件

3 無菌製剤処理料算定件数 (令和4年度)

	入院	外来	合計
T P N	661件	0件	661件
抗がん剤*	6,607件	12,468件	19,075件
小児科外来	-	460件	460件

(*抗リウマチ薬等で、外来化学療法加算を算定しているものを含む)

5 薬剤部取扱品目数

内用剤	626品目
外用剤	249品目
注射剤	694品目
合計	1,569品目

(令和5年3月末時点)

6 薬剤管理指導料算定件数 (令和4年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	前期合計
指導料 1 (380点)	446	459	494	447	454	424	2,724
指導料 2 (325点)	978	1,074	1,285	1,086	1,122	1,014	6,559
麻薬加算 (50点)	18	21	23	25	41	33	161
退院時指導料 (90点)	559	525	662	570	519	522	3,357
保険点数合計	538,540	571,770	666,075	575,360	585,930	539,300	3,476,975

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	後期合計	年度合計
指導料 1 (380点)	588	610	544	530	479	613	3,364	6,088
指導料 2 (325点)	1,212	1,070	1,095	1,039	1,038	1,297	6,751	13,310
麻薬加算 (50点)	33	38	38	34	28	39	210	371
退院時指導料 (90点)	532	573	641	476	541	685	3,448	6,805
保険点数合計	666,870	633,020	622,185	583,615	569,460	718,065	3,793,215	7,270,190

指導料1:特に安全管理が必要な医薬品(抗悪性腫瘍剤、免疫抑制剤など)が投薬または注射されている患者

指導料2:指導料1以外の患者

7 治験薬管理業務 (令和4年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
処方箋枚数	外来	78	70	70	54	66	63	57	72	63	70	75	89	827
	入院	0	0	2	0	2	2	3	2	3	2	2	4	22
	計	78	70	72	54	68	65	60	74	66	72	77	93	849
管理品目数		117	123	125	126	128	129	128	143	147	148	151	158	

8 院内製剤 (令和4年度)

(1) 調製実績(全体)

区 分	取扱品目	調製件数
内 用 剤	3品目	9件
外 用 剤	30品目	112件
注 射 剤	3品目	9件
試 薬	3品目	24件
そ の 他	2品目	75件
合 計	41品目	229件

(2) 調製実績(品目別)

製 剤 品 名	規 格	調 製 量
アズレン亜鉛華配合軟膏	500g/個	76個
アドレナリン外用液0.02%	30mL/本	1,260本
ヨウ素液・検査用	100mL/本	460本
内視鏡用メチレンブルー液・検査用0.2%	15mL/本	66本
パテントブルー注5%	2mL/V	88本

9 実習生等受入実績 (令和4年度)

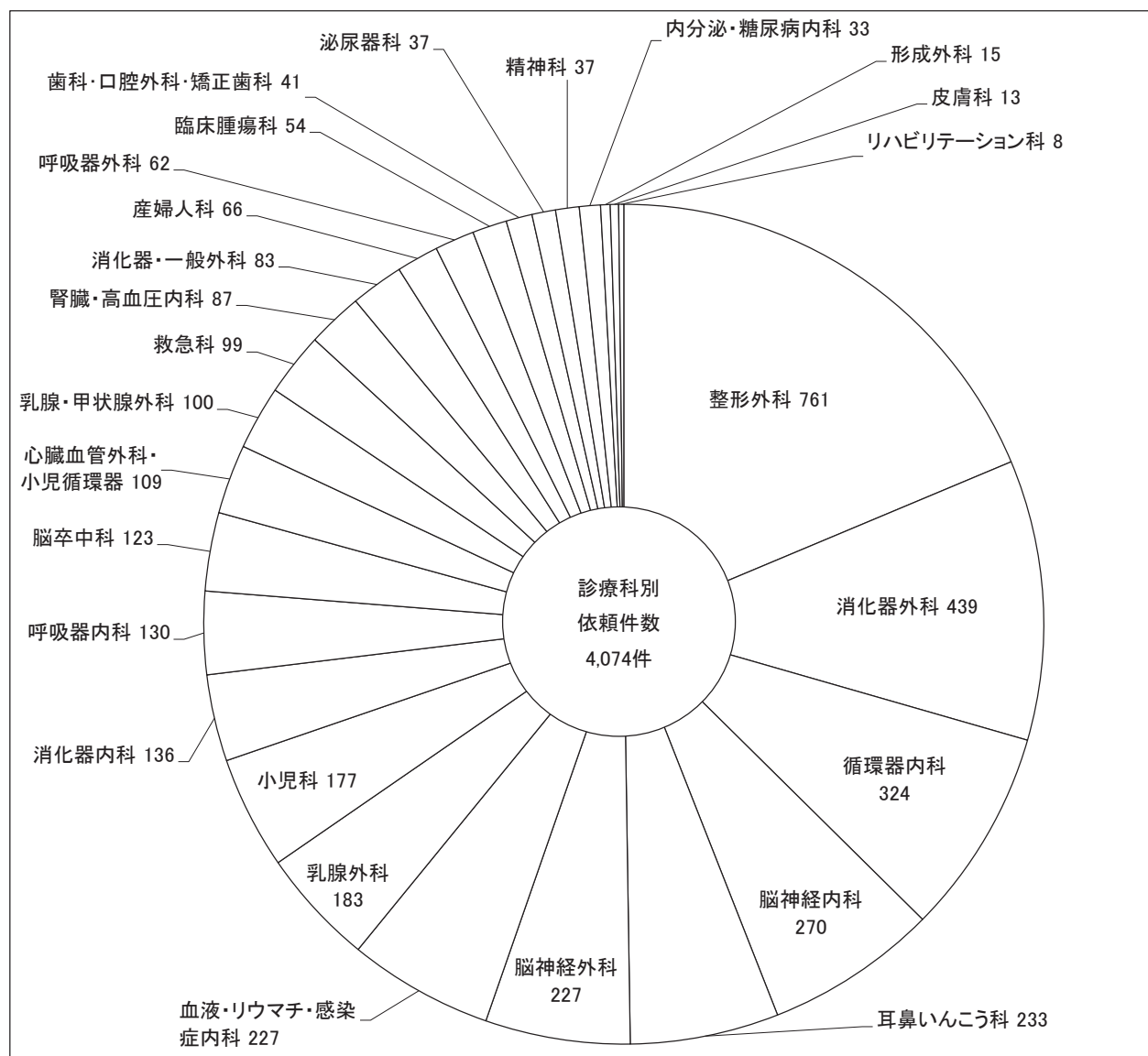
区 分	受 入 期 間	受入人数(延べ)
薬学部学生(病院実務実習)	11週間	30人

10 専門薬剤師等認定取得状況 (令和4年度)

資 格 等 の 名 称	人 数
日病薬病院薬学認定薬剤師(日本病院薬剤師会)	33人
医療薬学専門薬剤師(日本医療薬学会)	1人
がん薬物療法認定薬剤師(日本病院薬剤師会)	1人
がん薬物療法専門薬剤師(日本病院薬剤師会)	1人
がん指導薬剤師(日本医療薬学会)	1人
外来がん治療認定薬剤師(日本臨床腫瘍薬学会)	1人
外来がん治療専門薬剤師(日本臨床腫瘍薬学会)	1人
緩和薬物療法認定薬剤師(日本緩和医療薬学会)	2人
緩和医療暫定指導薬剤師(日本緩和医療薬学会)	1人
感染制御認定薬剤師(日本病院薬剤師会)	4人
感染制御専門薬剤師(日本病院薬剤師会)	1人
HIV感染症薬物療法認定薬剤師(日本病院薬剤師会)	1人
抗菌化学療法認定薬剤師(日本化学療法学会)	5人
抗酸菌症エキスパート(日本結核病学会)	3人
妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師(日本病院薬剤師会)	2人
栄養サポート(NST)専門療法士(日本臨床栄養代謝学会)	4人
救急認定薬剤師(日本臨床救急医学会)	2人
医薬品情報認定薬剤師(日本医薬品情報学会)	1人
認定CRC(日本臨床薬理学会)	2人
老年薬学認定薬剤師(日本老年薬学会)	1人
高血圧・循環器病予防療養指導士(日本高血圧学会)	1人
心不全療養指導士(日本循環器学会)	1人
日本不整脈心電学会認定心電図専門士(日本不整脈心電学会)	1人
植込み型心臓不整脈デバイス認定士(日本不整脈心電学会)	1人
心電図検定1級(日本不整脈心電学会)	1人
心電図検定4級(日本不整脈心電学会)	1人
周術期管理チーム認定薬剤師(日本麻酔科学会)	4人
GCPパスポート(日本臨床試験学会)	1人
ICLSプロバイダー(日本救急医学会)	1人

15 リハビリテーション部

1 診療科別依頼件数 (令和4年度)



2 耳鼻いんこう科検査・療法件数 (令和4年度)

標準純音	2,394	耳音響放射	110	ことばの聞き取り	166
標準語音	203	耳管機能	143	音響分析	67
簡易気道	441	重心動揺	56	音声機能	71
ティンパノメトリー	547	聴性定常反応	54	嚥下内視鏡診療補助	138
あぶみ骨筋反射	65	脳誘発電位	30	補聴器適合1回目	39
中耳機能(パッチ)	6	内耳機能	71	補聴器適合2回目	28
遊戯聴力	314	耳鳴	13		

3 診療報酬別実施患者数・単位数 (令和4年度)

		病棟		訓練室*		併用	
		単 位	件 数	単 位	件 数	単 位	件 数
理学療法	脳血管	7,167	6,123	5,319	4,251	85	76
	運動器	2,876	2,419	8,962	5,444	92	68
	呼吸器	4,373	3,915	1,088	990	38	33
	心大血管	2,008	1,862	1,442	1,249	102	94
	が ん	5,552	5,399	2,215	2,059	88	85
	廃 用	1,085	1,033	379	331	4	4
	合 計	23,061	20,751	19,405	14,324	409	360
作業療法	脳血管	5,828	5,010	5,717	4,134	15	13
	運動器	812	749	2,082	1,603	13	10
	呼吸器	1,031	892	263	208	0	0
	心大血管	504	474	328	277	3	3
	が ん	1,688	1,635	1,104	947	4	4
	廃 用	244	231	113	108	2	1
	合 計	10,107	8,991	9,607	7,277	37	31
言語療法	脳血管	1,043	989	729	582	7	4
	運動器	0	0	0	0	0	0
	呼吸器	219	208	13	13	0	0
	心大血管	0	0	0	0	0	0
	が ん	26	26	14	13	0	0
	廃 用	44	42	16	16	0	0
	合 計	1,332	1,265	772	624	7	4
疾患別合計	脳血管	34,500	31,007	29,784	22,225	453	395
	運動器	3,688	3,168	11,044	7,047	105	78
	呼吸器	5,623	5,015	1,364	1,211	38	33
	心大血管	2,512	2,336	1,770	1,526	105	97
	が ん	7,266	7,060	3,333	3,019	92	89
	廃 用	1,373	1,306	508	455	6	5
合 計		54,962	49,892	47,803	35,483	799	697

※ 耳鼻いんこう科外来言語聴覚室を含む

4 実習受け入れ状況 (令和4年度)

(人数)

	見学実習	評価実習	総合実習
理学療法部門	2	3	12
作業療法部門	0	8	11
言語療法部門	0	0	0

見学実習:3日間の実習、施設見学および患者とのコミュニケーションの方法を学ぶ

評価実習:3-4週間の実習、患者の評価および治療プログラムの立案まで行う

総合実習:7-8週間の実習、患者の評価および訓練の実習を行う

5 認定、専門理学・作業療法士取得状況

(人数)

専門理学療法士	運動器 2
認定理学療法士	循環 1, 脳卒中 1
専門作業療法士	がん 1
認定作業療法士	2
3学会合同呼吸療法認定士	6
心臓リハビリテーション指導士	3
NST専門療法士	4

16 栄 養 部

1 食種別給食数 (令和4年度)

食 種		1日当たり		総 数	
		人 数(人)	食 数(食)	人 数(人)	食 数(食)
一 般 食	成 人 食 常 食	186	558	67,862	203,586
	全 粥 食	38	114	13,847	41,542
	五 分 粥 食	11	33	4,026	12,078
	三 分 粥 食	4	13	1,638	4,914
	流 動 食	5	16	1,958	5,874
	高 学 児 食 (常食・全粥食)	5	16	1,897	5,691
	学 童 食 (常食・全粥食)	7	22	2,679	8,037
	小 児 食 (常食・全粥食)	8	24	2,947	8,840
	幼 児 食 (常食・全粥食)	3	9	1,113	3,340
	変 則 食 (常食・全粥食・5・3・流)	7	22	2,626	7,878
	離 乳 食 (全・五分・流)	2	7	837	2,511
	そ の 他 食	20	59	7,143	21,428
小 計		296	893	108,573	325,719
特 別 食	エネルギーコントロール食(常・全)	46	137	16,651	49,953
	タンパクコントロール食(常・全)	13	39	4,776	14,329
	エネルギー・タンパクコントロール食(常・全)	8	25	3,063	9,190
	脂質コントロール食(常・全)	6	17	2,124	6,373
	術 後 食	2	7	809	2,426
	検 査 食	1	4	452	1,356
	口腔外科食(全・5分)	3	9	1,103	3,308
	濃厚流動食	17	51	6,156	18,469
	特別指示食	0	1	62	187
	そ の 他 食	0	0	59	176
小 計		96	290	35,256	105,767
合 計		392	1,183	143,829	431,486

2 調 乳 数 (令和4年度)

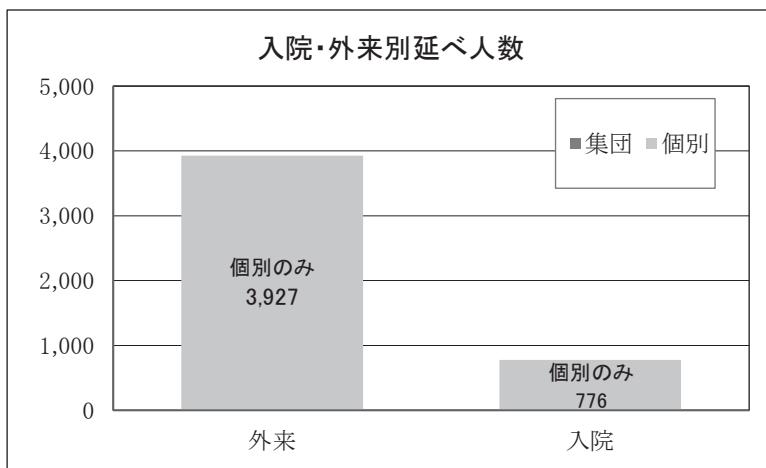
区 分	小 児 科	産 科	そ の 他	合 計
調 乳 件 数	4,249	1,243	269	5,761
調 乳 本 数	38,076	16,910	2,129	57,115

3 栄養相談業務（令和4年度）

(1) 入院・外来別延べ人数

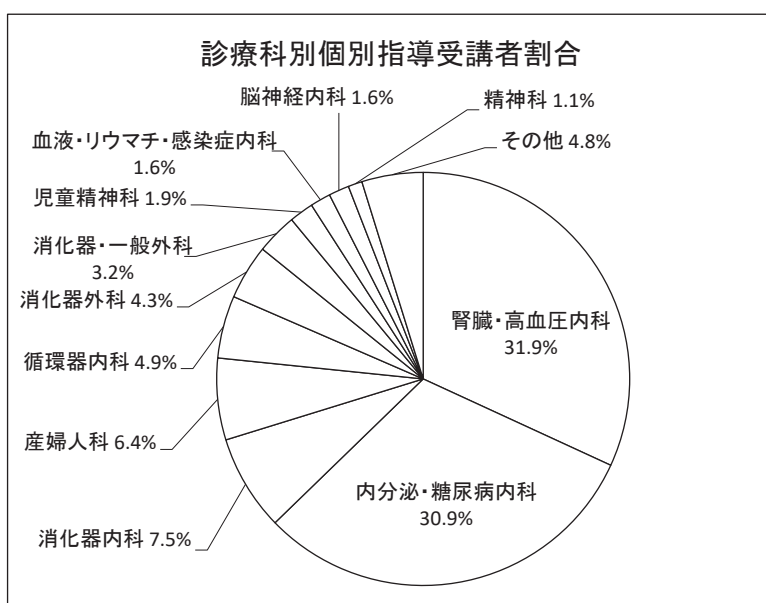
指導形態	外来	入院	総計
集団	0	0	0
個別	3,927	776	4,703
総計	3,927	776	4,703

※新型コロナウイルスの影響により集団指導実施なし



(2) 診療科別個別指導受講者延べ人数

診療科	計
血液・リウマチ・感染症内科	75
呼吸器内科	46
循環器内科	230
腎臓・高血圧内科	1,500
消化器内科	352
内分泌・糖尿病内科	1,454
臨床腫瘍科	5
小児科	9
精神科	51
皮膚科	8
呼吸器外科	2
消化器・一般外科	150
乳腺・甲状腺外科	1
乳腺外科	5
消化器外科	201
心臓血管外科・小児循環器	25
整形外科	9
形成外科	7
脳神経外科	5
眼科	3
耳鼻いんこう科	19
歯科・口腔外科・矯正歯科	33
産婦人科	301
泌尿器科	27
麻酔科	12
リハビリテーション科	6
児童精神科	88
脳神経内科	73
脳卒中科	6
総計	4,703



(3) 月別NST介入件数（令和4年度延べ件数）

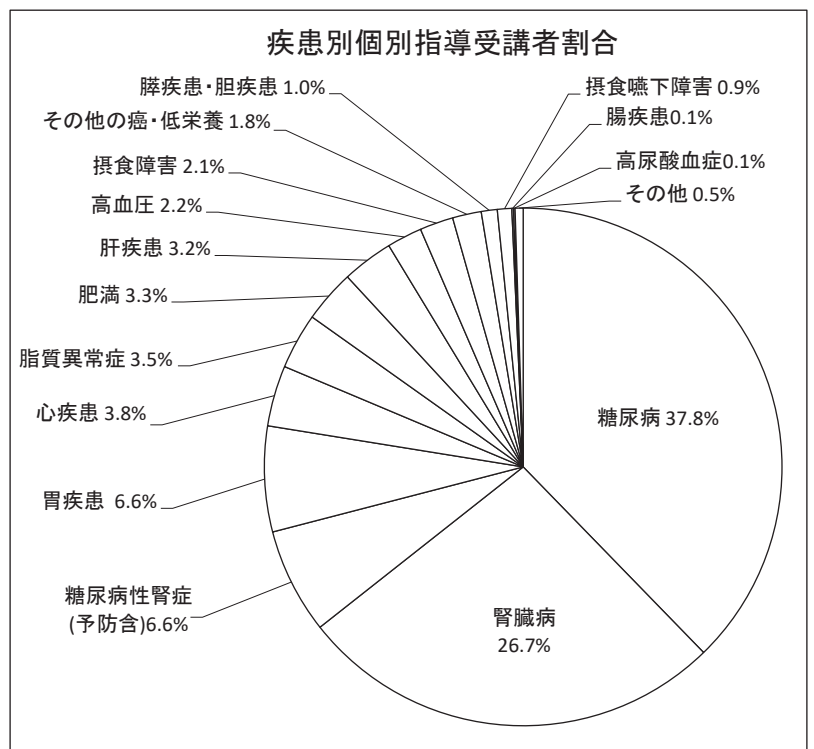
月	依頼件数	ラウンド介入件数	総件数
4月	22	8	30
5月	19	13	32
6月	23	20	43
7月	25	24	49
8月	39	19	58
9月	46	23	69
10月	38	17	55
11月	35	16	51
12月	17	16	33
1月	22	18	40
2月	36	11	47
3月	30	14	44
合計	352	199	551

※依頼件数は主治医からの介入依頼件数

※ラウンド介入件数はNSTからの介入件数

(4) 疾患別個別指導受講者延べ人数

分 類	人数(延べ)	月平均数
糖 尿 病	1,777	148
腎 疾 患	1,254	105
糖尿病性腎症(予防含)	309	26
胃 疾 患	310	26
脂 質 異 常 症	164	14
肥 満	157	13
心 疾 患	178	15
摂 食 障 害	99	8
高 血 圧	102	9
肝 疾 患	149	12
項目外の癌・低栄養	86	7
膵疾患・胆疾患	46	4
摂食嚥下障害	41	3
腸 疾 患	4	0
高 尿 酸 血 症	4	0
そ の 他	23	2
総 計	4,703	392



(5) NST介入診療科別集計 (令和4年度延べ件数)

診 療 科	依頼件数	ラウンド介入件数	総件数
血液・リウマチ・感染症内科	40	20	60
呼 吸 器 内 科	24	10	34
循 環 器 内 科	34	5	39
腎 臓 ・ 高 血 圧 内 科	16	16	32
消 化 器 内 科	8	17	25
内 分 泌 ・ 糖 尿 病 内 科	5	1	6
臨 床 腫 瘍 科	0	10	10
小 児 科	3	1	4
精 神 科	27	30	57
皮 膚 科	40	0	40
呼 吸 器 外 科	0	0	0
消 化 器 ・ 一 般 外 科	0	2	2
乳 腺 外 科	0	0	0
消 化 器 外 科	2	6	8
心臓血管外科・小児循環器	45	8	53
整 形 外 科	33	3	36
形 成 外 科	0	0	0
脳 神 経 外 科	50	9	59
眼 科	0	0	0
耳 鼻 い ん こ う 科	0	2	2
歯科・口腔外科・矯正歯科	2	1	3
産 婦 人 科	0	8	8
泌 尿 器 科	6	8	14
児 童 精 神 科	0	0	0
脳 神 経 内 科	8	21	29
脳 卒 中 科	5	7	12
緩 和 医 療 科	0	0	0
救 急 科	4	14	18
合 計	352	199	551

17 手 術 部

1 診療科別・月別手術件数

	4月				5月				6月				7月				8月				9月			
	定時	臨時	外来	計	定時	臨時	外来	計	定時	臨時	外来	計	定時	臨時	外来	計	定時	臨時	外来	計	定時	臨時	外来	計
血液・リウマチ・感染症内科	1	2	0	3	2	2	0	4	1	6	0	7	1	2	0	3	0	3	0	3	1	1	0	2
呼吸器内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
循環器内科	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
腎臓・高血圧内科	3	3	2	8	4	2	3	9	4	1	3	8	6	0	0	6	6	0	1	7	4	0	1	5
消化器内科	1	1	0	2	1	1	0	2	1	2	0	3	0	1	0	1	0	5	0	5	0	2	0	2
内分泌・糖尿病内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
臨床腫瘍科	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	2
小児科	1	0	0	1	0	1	0	1	1	4	0	5	0	2	0	2	2	5	0	7	3	1	0	4
精神科	1	0	0	1	8	2	0	10	16	1	0	17	2	0	0	2	2	1	0	3	12	0	0	12
皮膚科	7	4	1	12	8	2	3	13	8	4	3	15	7	2	3	12	10	2	3	15	9	1	3	13
呼吸器外科	16	2	0	18	13	3	0	16	14	0	0	14	13	0	0	13	13	0	0	13	9	0	0	9
消化器・一般外科	17	3	0	20	22	8	0	30	19	5	0	24	17	4	1	22	20	7	0	27	14	2	0	16
乳腺・甲状腺外科	11	0	0	11	10	1	1	12	9	0	1	10	12	1	0	13	17	4	1	22	17	0	0	17
乳腺外科	7	0	0	7	10	0	0	10	8	0	0	8	10	1	0	11	8	0	0	8	7	0	0	7
心臓血管外科・小児循環器	14	6	1	21	11	11	1	23	16	6	0	22	12	17	0	29	10	5	0	15	11	9	0	20
消化器外科	34	10	0	44	39	15	0	54	38	14	0	52	33	12	1	46	41	8	0	49	43	17	0	60
整形外科	76	20	0	96	83	24	4	111	78	6	6	90	70	17	5	92	63	17	12	92	70	20	4	94
形成外科	11	3	10	24	17	2	10	29	18	2	7	27	20	2	11	33	15	0	11	26	20	2	11	33
脳神経外科	22	13	0	35	14	10	0	24	12	7	0	19	18	11	0	29	20	6	0	26	17	11	0	28
眼科	31	17	3	51	31	7	6	44	47	14	5	66	34	9	4	47	39	7	5	51	27	7	4	38
耳鼻いんこう科	32	4	0	36	26	6	0	32	35	3	0	38	33	8	0	41	31	5	0	36	37	6	0	43
歯科・口腔外科・矯正歯科	49	8	0	57	51	4	0	55	73	3	0	76	80	5	0	85	56	2	0	58	49	1	0	50
産婦人科	35	7	0	42	47	13	0	60	39	13	0	52	44	9	0	53	51	9	0	60	42	9	0	51
泌尿器科	65	0	0	65	63	0	0	63	75	2	0	77	74	2	0	76	70	1	0	71	66	2	0	68
麻酔科	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳神経内科	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	1	1	0	1	2	3	1	0	0	1
脳卒中科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	436	104	17	557	460	116	28	604	512	95	26	633	486	107	26	619	474	88	35	597	460	94	23	577

2 年度別手術件数

年度	定時	臨時	外来	合計
令和4年度	5,812	1,157	338	7,307
令和3年度	5,221	1,160	195	6,576

年度	定時	臨時	外来	合計
令和2年度	5,264	1,008	234	6,506
令和元年度	5,454	1,017	225	6,696

(令和4年度)

10月				11月				12月				1月				2月				3月				合 計							
定時	臨時	外来	計	定時	臨時	外来	計	定時	臨時	外来	計	定時	臨時	外来	計	定時	臨時	外来	計	定時	臨時	外来	計	定時	臨時	外来	計	定時	臨時	外来	計
2	2	0	4	2	3	0	5	0	2	0	2	0	5	0	5	0	5	0	5	1	4	0	5	11	37	0	48				
0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	6	0	6				
1	1	0	2	0	0	0	0	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	0	7				
5	3	1	9	5	1	1	7	5	3	1	9	5	3	0	8	5	4	2	11	3	0	3	6	55	20	18	93				
0	0	0	0	1	3	0	4	1	2	0	3	0	2	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	6	19	0	25				
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	8	0	8				
1	2	0	3	2	4	0	6	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	0	0	3	1	0	4	14	21	0	35				
21	0	0	21	20	0	0	20	14	1	0	15	14	0	0	14	19	0	0	19	43	0	0	43	172	5	0	177				
8	0	3	11	11	0	2	13	8	1	3	12	10	0	1	11	9	1	1	11	11	2	4	17	106	19	30	155				
16	1	0	17	16	0	0	16	9	3	0	12	12	0	0	12	13	1	0	14	17	3	0	20	161	13	0	174				
14	3	0	17	18	5	0	23	19	4	0	23	15	3	0	18	25	6	1	32	17	5	0	22	217	55	2	274				
15	1	0	16	12	0	0	12	11	1	2	14	13	0	1	14	12	0	1	13	14	2	2	18	153	10	9	172				
7	0	1	8	11	0	0	11	6	0	0	6	11	0	0	11	10	0	1	11	8	0	0	8	103	1	2	106				
7	3	0	10	14	9	1	24	20	10	0	30	14	9	0	23	18	4	0	22	19	8	0	27	166	97	3	266				
31	5	0	36	31	7	0	38	37	13	0	50	34	15	0	49	29	6	1	36	30	15	0	45	420	137	2	559				
83	13	8	104	85	14	10	109	81	19	11	111	72	23	6	101	78	10	11	99	76	14	15	105	915	197	92	1,204				
18	1	10	29	18	0	12	30	24	1	10	35	19	4	12	35	20	5	9	34	35	2	9	46	235	24	122	381				
19	12	0	31	18	12	0	30	13	9	0	22	13	13	0	26	21	8	0	29	22	12	0	34	209	124	0	333				
45	8	6	59	43	13	5	61	34	8	3	45	26	5	2	33	31	9	3	43	34	10	4	48	422	114	50	586				
28	7	0	35	32	2	0	34	27	8	0	35	40	6	0	46	29	4	0	33	41	6	0	47	391	65	0	456				
70	2	0	72	65	2	0	67	54	6	0	60	46	1	0	47	70	2	0	72	69	6	1	76	732	42	1	775				
31	5	0	36	43	6	0	49	37	7	0	44	36	11	0	47	47	7	0	54	42	10	0	52	494	106	0	600				
65	3	0	68	64	4	0	68	60	6	0	66	69	2	0	71	59	5	0	64	88	2	0	90	818	29	0	847				
0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	1	0	3					
0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	1	4	1	0	0	1	1	0	1	2	5	5	7	17				
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
487	75	29	591	512	86	31	629	463	105	31	599	451	105	23	579	497	78	30	605	574	104	39	717	5,812	1,157	338	7,307				

年度	定時	臨時	外来	合計
平成30年度	5,373	972	276	6,621
平成29年度	5,016	921	302	6,239

年度	定時	臨時	外来	合計
平成28年度	4,634	941	352	5,927
平成27年度	4,864	924	347	6,135

18 ICU（集中治療室）

ICU入室状況など（入室日基準）

（令和4年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
患者数	61	48	68	59	62	55	66	62	63	62	58	71	735	
男	40	24	40	37	40	33	45	36	42	35	30	38	440	
女	21	24	28	22	22	22	21	26	21	27	28	33	295	
術後入室	38	34	48	35	44	35	39	46	41	43	39	51	493	
院内急変入室	9	8	6	13	8	10	10	11	12	9	12	14	122	
救急搬送	5	4	10	7	5	5	8	8	7	7	4	5	75	
1歳未満	2	2	3	3	4	4	2	2	2	0	4	5	33	
5歳未満	0	3	2	0	3	2	1	4	1	2	1	0	19	
15歳未満	2	2	2	2	4	1	3	1	6	4	2	1	30	
死亡数	1	1	1	3	2	2	2	2	3	3	0	1	21	
平均在室日数	3.5	4.2	2.7	3.4	3.3	3.6	3.0	3.2	3.4	3.6	3.3	2.9	3.3	
病床利用率	90.8	83.9	76.3	82.7	80.2	82.1	79.4	84.2	86.7	85.1	85.3	84.7	83.4	
入室時間帯	日勤	31	15	20	29	24	20	23	21	21	27	18	27	276
	準夜	25	29	43	27	36	31	36	37	32	29	36	40	401
	深夜	5	4	4	1	2	4	4	4	8	7	6	4	53
退室時間帯	日勤	56	48	66	57	54	50	59	59	59	56	56	73	693
	準夜	4	3	1	3	0	4	4	3	2	2	1	0	27
	深夜	2	0	2	0	1	1	1	2	4	1	1	0	15
人工呼吸器療法／(人)	33	25	26	25	23	27	24	32	36	27	32	24	334	
血液浄化療法／(回)	16	13	2	5	24	18	6	3	34	23	6	29	179	
補助循環療法／(人)	0	1	0	2	1	1	0	0	2	0	2	0	9	

19 CCU（冠動脈疾患集中治療室）

CCU入室状況など（入室日基準）

（令和4年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
患者数	22	22	22	30	19	12	27	27	30	8	20	24	263	
男	13	11	10	20	9	9	14	19	18	3	16	11	153	
女	9	11	12	10	10	3	13	8	12	5	4	13	110	
平均在室日数	4.6	3.9	4.4	3.2	5.2	7.8	2.8	3.4	3.7	12.5	4.9	4.5	4.4	
病床利用率	86.7	71.0	77.5	77.4	81.5	81.7	62.9	73.3	88.7	80.6	86.6	84.7	79.3	
死亡数	1	0	0	1	1	1	2	0	2	0	1	1	10	
人工呼吸器（延べ）	28	26	17	36	50	69	16	31	54	60	58	43	488	
入室時間帯	日勤	13	12	12	16	4	3	11	16	19	5	9	10	130
	準夜	9	9	8	13	10	6	11	10	9	2	9	9	105
	深夜	0	1	2	1	5	3	5	1	1	1	1	5	26
退室時間帯	日勤	17	22	20	28	17	12	27	22	27	8	19	21	240
	準夜	4	1	0	2	1	1	0	3	2	0	0	1	15
	深夜	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	1	1	5

20 HCU（ハイケアユニット）

HCU入室状況など（入室日基準）

（令和4年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
患者数	86	82	87	80	89	99	68	83	71	73	78	73	969	
男	46	39	40	46	55	64	36	47	52	37	53	41	556	
女	40	43	27	34	34	35	32	36	19	36	25	32	393	
術後入室	42	32	31	28	43	46	30	26	14	25	7	6	330	
平均在室日数	2.4	2.4	3.1	2.6	2.0	2.0	3.1	2.2	3.1	2.9	2.2	3.2	2.6	
病床利用率	88.3	79.8	87.5	82.3	71.4	83.8	84.3	77.1	89.5	85.5	79.0	94.0	83.6	
死亡数	1	0	0	2	0	1	1	0	0	0	2	0	7	
入室時間帯	日勤	53	49	45	47	48	54	47	58	44	43	57	54	599
	準夜	31	24	20	27	34	43	20	19	25	25	17	18	303
	深夜	3	9	2	7	5	4	1	5	2	5	4	2	49
退室時間帯	日勤	84	78	66	78	83	88	66	75	64	70	77	66	895
	準夜	6	1	2	2	4	7	1	7	8	0	3	3	44
	深夜	0	1	0	0	1	5	1	1	1	1	1	2	14
人工呼吸器療法／(延べ人数)	26	54	23	35	17	15	57	23	39	29	14	21	353	
血液浄化療法／(回)	2	8	2	3	3	3	3	7	13	5	4	17	70	

21 ACU（急性期ケアユニット）

ACU入室状況など（入室日基準）

（令和4年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
患者数	40	30	38	32		19	33	17	45	36	31	38	359	
男	20	15	18	17		8	22	6	27	16	18	20	187	
女	20	15	20	15		11	10	11	18	20	13	18	171	
手術数	2	4	2	0		0	1	2	2	0	5	4	22	
緊急入院	19	10	20	13		5	16	7	15	19	14	12	150	
平均在室日数	2.2	2.2	2.1	1.7		1.8	1.6	2.8	2.2	2.6	2.2	2.8	2.2	
病床利用率	75.8	56.5	66.7	63.1		30.3	45.2	41.7	77.4	75.8	59.8	86.3	36.5	
死亡数	0	0	0	0		0	0	0	1	1	1	0	3	
入室時間帯	日勤	16	16	14	12		8	20	9	22	17	18	19	171
	準夜	22	11	20	17		11	7	7	19	15	9	15	153
	深夜	2	2	4	3		0	6	0	2	4	4	4	31
退室時間帯	日勤	38	31	37	29		18	28	18	35	35	29	33	331
	準夜	2	0	1	0		2	6	1	5	2	1	3	23
	深夜	1	1	0	3		0	0	0	1	0	1	0	7
人工呼吸器療法／(延べ人数)	8	0	0	0		0	1	19	4	0	1	16	49	

22 輸血・細胞治療部

[ISO15189認定：認定番号RML00520]

1 各科別輸血用血液使用状況

(令和4年度)

	赤血球製剤		新鮮凍結血漿		血小板製剤		貯血式自己血	アルブミン	輸血管理料
	使用 単位数	使用 人数	使用 単位数	使用 人数	使用 単位数	使用 人数	使用 単位数	使用量 (g)	人 数
血液・リウマチ・感染症内科	2,942	152	576	21	12,025	108	29	2,037.5	677
呼 吸 器 内 科	96	18	6	1	150	3	0	125.0	25
循 環 器 内 科	354	47	64	9	230	9	0	1,050.0	67
腎 臓 ・ 高 血 圧 内 科	398	72	426	7	40	3	0	1,312.5	123
消 化 器 内 科	872	148	594	22	875	24	0	11,600.0	321
内 分 泌 ・ 糖 尿 病 内 科	2	1	0	0	0	0	0	0.0	1
臨 床 腫 瘍 科	412	53	2	1	160	6	0	2,662.5	117
小 児 科	584	54	17	5	7,370	44	11	637.5	200
精 神 科	8	3	0	0	0	0	0	25.0	3
皮 膚 科	110	13	90	3	35	2	0	1,050.0	19
呼 吸 器 外 科	12	5	0	0	0	0	0	12.5	5
消 化 器 ・ 一 般 外 科	242	49	56	8	30	2	0	1,387.5	57
乳 腺 ・ 甲 状 腺 外 科	20	4	0	0	0	0	0	0.0	5
乳 腺 外 科	20	3	0	0	0	0	0	0.0	5
心 臓 血 管 外 科	1,948	115	1,713	98	2,580	69	8	4,275.0	144
消 化 器 外 科	1,068	121	1,048	52	1,195	20	0	9,912.5	220
心臓血管外科・小児循環器	124	14	50	6	440	4	0	2,162.5	42
整 形 外 科	438	87	88	16	100	5	661	687.5	281
形 成 外 科	18	5	0	0	0	0	2	0.0	5
脳 神 経 外 科	166	37	40	8	40	3	32	287.5	54
眼 科	12	4	0	0	0	0	0	2,075.0	4
耳 鼻 い ん こ う 科	110	23	4	1	55	3	0	1,050.0	35
歯科・口腔外科・矯正歯科	80	18	26	3	20	1	127	912.5	85
産 婦 人 科	920	110	124	20	100	7	150	1,337.5	233
泌 尿 器 科	294	45	122	5	190	7	0	637.5	50
麻 酔 科	0	0	0	0	0	0	0	0.0	33
リハビリテーション科	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
脳 神 経 内 科	66	13	124	3	95	2	0	3,600.0	19
脳 卒 中 科	16	7	4	1	0	0	0	1,050.0	7
緩 和 医 療 科	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
救 急 科	264	38	78	10	100	6	0	1,900.0	53
合 計	11,596	1,154	5,252	283	25,830	315	1,020	51,787.5	2,890

☆ 1単位=200mL採血由来

2 稼働実績

(令和4年度)

項目	血液型検査 ABO.Rh-D	Rh-D陰性	抗原チェック	製剤 血液型	不規則抗体 スクリーニング	間接クームス 試験	直接クームス 試験	交差試験 (本数)	DNAマイクロ サテライト法
		D陰性確認試験	製剤数						
件数	9,314	33	262	4,685	6,399	950	93	2,338	131

項目	同種クリオ プレシピテート作製	自己血			細胞採取等		FFP比	アルブミン比
		貯血本数	自己FFP	自己クリオ	移植用細胞 保存処理	末梢血単核 球採取および凍結保存		
件数	76	584	4	0	22	17	0.38	1.15

3 時間外稼働実績

(令和4年度)

赤血球		新鮮凍結血漿		濃厚血小板		アルブミン		同種クリオプレシピテート	
件数	本数	件数	本数	件数	本数	件数	本数	件数	本数
917	1,629	336	978	670	736	385	895	19	41

23 病理診断科・病理部

月別検査件数および点数

(令和4年度)

項目 月別	組織診断 件数 点数	迅速診断 件数 点数	細胞診断 件数 点数	電 顕 件数 点数	病理解剖 体数	合 計
4月	986	73	681	5	2	1,747
	1,814,440	145,270	341,130	10,000	-	2,310,840
5月	947	60	635	4	0	1,646
	1,843,080	119,400	320,636	8,000	-	2,291,116
6月	1,087	56	766	8	0	1,917
	2,080,750	111,440	365,616	16,000	-	2,573,806
7月	983	55	621	2	3	1,664
	1,854,360	109,450	313,320	4,000	-	2,281,130
8月	969	72	677	2	1	1,721
	1,840,040	143,280	351,202	4,000	-	2,338,522
9月	1,001	62	708	1	3	1,775
	1,891,390	123,380	346,128	2,000	-	2,362,898
10月	1,057	78	676	5	4	1,820
	2,030,570	155,220	316,980	10,000	-	2,512,770
11月	1,050	67	702	8	0	1,827
	1,980,080	133,330	346,986	16,000	-	2,476,396
12月	1,009	64	694	4	2	1,773
	1,986,440	127,360	333,438	8,000	-	2,455,238
1月	1,007	68	633	5	2	1,715
	1,866,160	135,320	309,428	10,000	-	2,320,908
2月	996	67	612	3	1	1,679
	1,878,890	133,330	299,908	6,000	-	2,318,128
3月	1,144	65	792	4	0	2,005
	2,207,330	129,350	389,774	8,000	-	2,734,454
合 計	12,236	787	8,197	51	18	21,289
	23,273,530	1,566,130	4,034,546	102,000	-	28,976,206

24 遺伝子診療科 / 妊娠と薬外来

■診療概要

日常診療の中に遺伝診療が取り入れられてきたため、院内の横断的遺伝子学診療部門として2002年に発足しました。妊娠と薬外来は2010年より国立成育医療研究センター妊娠と薬情報センターと連携して遺伝子診療科とともに診療をしています。

遺伝カウンセリング、遺伝子検査、遺伝診療、遺伝子解析研究、妊娠中/前に服用した薬の相談を行っています(予約制)。

■診療責任者・スタッフ

部 長	伊藤 秀一 (小児科教授 臨床遺伝専門医)
医 師	宮武 聡子 (脳神経内科 臨床遺伝専門医 指導医) 浜之上 はるか (産婦人科 臨床遺伝専門医・指導責任医 遺伝性腫瘍専門医) 須郷 慶信 (産婦人科 臨床遺伝専門医) 尾堀 佐知子 (産婦人科 臨床遺伝専門医)
遺伝カウンセラー	栗城 紘子 (認定遺伝カウンセラー 胚培養士) 坂口 智博 (遺伝カウンセラー) 高塚 美衣 (遺伝カウンセラー 臨床検査技師)
遺 伝 学	松本 直通 (教授 臨床遺伝専門医)
その他の臨床 遺伝専門医	各科より多数
妊娠と薬外来 薬 剤 師	川邊 桂 (妊婦授乳婦薬物療法認定薬剤師)、関 雅子 (妊婦授乳婦薬物療法認定薬剤師)、 成田 由紀 (薬剤師)

■令和4年度実績

- ・出生前診断に関するカウンセリング(新型出生前診断、妊娠初期コンバインドテスト含) 初診 462例 再診 471例
- ・遺伝カウンセリング(各種の遺伝性疾患、先天性疾患、家族性腫瘍、妊娠と感染等) 初診160例 再診 235例
- ・妊娠と薬外来相談 28例

延べ 1,356例に対応しました。

*網羅的解析の実績数 53件(先進推進事業として10件、未診断疾患の遺伝子網羅的解析研究として43件)

■遺伝子診療科カンファレンス

スタッフ、院内職員、医療職、薬剤、看護、中央部門スタッフ、学外医師、実習生等を対象に毎月第4水曜日18時半より附属病院オンラインカンファレンスを行っています(直前に変更になることもございますので、ご参加希望の先生は遺伝子診療科へご連絡いただき、日時と場所をご確認いただけますと幸いです)。毎回30名ほど集まりカンファレンスが開かれますが、症例報告以外にも遺伝子診療にかかわる重要な情報提供、小講演、討議も行われています。

25 感染制御部

感染対策は健全な病院機能を維持のために重要な業務であり、当院では全国に先立って2007年9月1日から活動をしています。現在は病院内外でのあらゆる事例に対応するために医師・歯科医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・事務職員からなる多職種で構成されています。MRSAやESBL産生菌、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌など薬剤耐性菌や、新型コロナウイルス、インフルエンザ、感染性胃腸炎、麻疹、風疹、水痘、結核菌など院内で広まると問題となる感染症の発生状況の掌握や検出時の対策を行っています。感染症発症時期の早期診断・隔離予防策、治療の実施指導等の対応を行うとともに、感染症の伝播を防ぐため定期的に院内ラウンドを行い、院内の環境整備を行っています。各診療科、部署に感染リンクドクター、感染リンクナースを配置し病院全体で連携した感染対策に取り組んでいるほか、HIV・輸入感染症、結核、麻疹・風疹等の対策には各診療科と連携して対応しています。職員の職務環境整備としてはワクチン接種、健康管理、針刺し血液曝露対策等を行っています。また院外においては新型コロナウイルス対策、インフルエンザ対策、薬剤耐性菌検出例の対応では横浜市・金沢区の担当部署と連携して対応しており、感染対策向上加算1を取得し、地域病院との情報交換、感染症対策支援も行っています。国全体の組織としては国立大学附属病院感染対策協議会に参加しています。2017年度からは厚生労働省AMR(薬剤耐性)アクションプランを受けて抗菌薬適正使用支援チームを立ち上げ、抗微生物薬の適正使用支援と耐性菌抑止の取り組みを行っています。2020年初頭からの新型コロナウイルス感染症では、入院・外来を含め感染者の診療や感染制御を行っているほか、集中治療室・感染症病床、外来等の施設整備、個人防護具の管理、感染対策指導を行っています。

【当院における医療関連感染対策のための各種サーベイランスの取り組み】

院内における感染症発生の実態等を把握することで、感染率を改善する糸口となります。厚生労働省は2000年より院内感染サーベイランス事業を展開しており、当院は積極的にこのサーベイランス事業のうち、SSI/NICU/耐性菌の各サーベイランス事業に協力しています。2007年度より全外科領域診療科のSSIサーベイランスを実施し集計結果の報告が開始されています。その他にも感染対策の効果の検証と改善のために下表のような関連のサーベイランスを実施し、ベンチマークとしています。これらサーベイランスの結果の多くは感染対策委員会ならびに感染対策推進部会で報告しています。PDCAサイクルをまわし、感染率の低下につなげるために役立てられています。感染制御部では、これら医療関連感染サーベイランスの情報を集約的に監視し、他施設との比較も行いながら当院における感染対策に結びつけています。

医療関連感染サーベイランスの種類		実施時期	対象者	評価方法(基準)
1	中心静脈ライン関連血流感染(CLABSI)	通年	全中心静脈ライン挿入患者	NHSN
2	人工呼吸器関連事象(VAE)	通年	全集中治療部門人工呼吸管理下患者	NHSN
3	尿路カテーテル関連尿路感染(CAUTI)	通年	全尿路カテーテル挿入患者	NHSN
4	外科手術部位感染(SSI)	通年	全手術患者	厚労省JANIS形式
5	NICU	通年	全NICU入室患者	厚労省JANIS形式
6	臨床分離菌/薬剤耐性菌	通年	全臨床分離菌	厚労省JANIS形式
7	針刺し・切創、血液・体液曝露	通年	全院内申告例	日本版エピネット形式
8	抗菌薬使用届け出	通年	全届け出対象抗菌薬処方症例	院内基準による
9	<i>C. difficile</i> 感染症(CDI)	通年	全院内発生例	症候と検査陽性例
10	季節性インフルエンザ	流行期	全発生例	検査陽性例や曝露者
11	症候(有熱者)サーベイランス	通年	全患者入院例	問診票と検温
12	感染性胃腸炎	冬季流行期	全院内発生例	症候に基づく調査
13	手指衛生	通年	全職員	払い出し量に基づく調査
14	発熱・感染性胃腸炎	通年	全職員	症候に基づく調査
15	抗菌薬使用量	通年	全院内抗菌薬使用患者	AUD, DOT

※ NHSN: 米国疾病制御予防センター(CDC)の公開している医療関連サーベイランスの基準。NHSN=national healthcare safety network

※ 日本版エピネット形式=日本職業感染制御研究会の提供している針刺し・切創・体液曝露時の報告・集計。

※ JANIS: Japan Nosocomial Infection Surveillance Systemは厚生労働省が実施している感染サーベイランス事業。

※ AUD: 抗菌薬使用密度 AUD=antimicrobial use density

※ DOT: 抗菌薬使用日数 DOT=days of therapy

26 緩和ケアセンター

1 緩和ケアセンター

緩和ケアセンターとは、がんおよび心不全の患者やその家族等に対して、診断時からより迅速かつ適切な緩和ケアを切れ目なく提供するために「緩和ケアチーム」「緩和ケア外来」「緊急緩和ケア病床」を統括し、医師・看護師・薬剤師を中心とした多職種が連携した緩和ケアに関する院内組織です。

2 組織と構成員（令和5年5月現在）

緩和ケアセンター長 医師1名（臨床腫瘍科部長）

緩和ケアセンタージェネラルマネージャー 専従1名（がん領域総括副看護部長）

【緩和ケアチームメンバー】

身体症状担当医師 専従リーダー1名（緩和医療科）

専従1名（緩和医療科）

専任1名（麻酔科）

兼任1名（総合診療科）

精神症状担当医師 専従1名（緩和医療科・精神科）

看護師

専従2名、兼任2名（がん性疼痛看護認定看護師、慢性心不全看護認定看護師）

薬剤師

専任1名、兼任2名

コメディカル

臨床心理士1名、作業療法士1名、ソーシャルワーカー3名

3 具体的な活動内容

- 1) 緩和ケアチーム活動 専門的緩和ケアに関するチーム医療提供（病棟ラウンド）
緩和ケアチームカンファレンス（1回/週）、病棟・外来スタッフとのカンファレンス
緩和ケアセンター運営会議（1回/月）
- 2) 緩和ケア外来 専門的緩和ケアの提供
- 3) 緊急緩和ケア病床の運営 緊急緩和ケア病床への入院による専門的症状緩和治療の実施
- 4) 地域連携活動 地域との連携協力に関するカンファレンスの実施（1回/1～2か月）
- 5) 相談支援活動 緩和ケアに関する院内・外の医療スタッフからのコンサルテーション対応
- 6) 教育活動 緩和ケア研究会など医療従事者に対する研修会の運営
医学・看護・薬学の学生実習および見学対応
- 7) 看護活動 がん看護相談や緩和ケアチーム担当看護師による看護業務の支援・強化
- 8) 診療情報の集約・分析 苦痛のスクリーニング、医療用麻薬の処方量の把握と評価
- 9) がん診療連携病院関連 神奈川緩和ケア部会への参加

4 診療および活動実績（令和4年度）

- 1) 緩和ケアチーム対応患者数 入院424件（新規216件）、非がん23件（新規22件）、外来1,052件（新規97件）
- 2) 依頼内容
 - ① 疼痛治療・ケア
医療用麻薬調整、メサペイン導入、副作用対策、患者・家族教育
骨転移症例に関する放射線治療の提案、調整、神経ブロックの提案とマネジメント
 - ② 疼痛以外の症状治療・ケア
呼吸困難、消化器症状、鎮静への対応
 - ③ 精神症状治療
抑うつ、不安、せん妄、心理的反応に対する精神療法、薬物療法
 - ④ 末期心不全の症状コントロール 4件
 - ⑤ 在宅・転院に向けた調整
PCAポンプの導入・指導 32件
退院前カンファレンス 9件
- 3) 緊急緩和ケア病床入院患者数 30件
- 4) 地域連携カンファレンス 5回/年
- 5) 緩和ケア診療加算算定件数（次頁参照）
- 6) 緩和ケア外来診療件数（次頁参照）

5 緩和ケア診療加算の算定状況 (390点)

(令和4年度)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
血液・リウマチ・感染症内科	279	10		4		14	14	26	49	38	29	28	67
呼吸器内科	430	26	28	28	37	18	80	63	13	35	36	34	32
循環器内科	28	17										6	5
腎臓・高血圧内科	18											18	
消化器内科	99	9	18	3	14	6	5	16	8	12	3	2	3
内分泌・糖尿病内科	0												
小児科	10				9	1							
精神科	0												
皮膚科	287	65	32	22	14		15	40	13	20	13	17	36
放射線科	0												
呼吸器外科	4								3				1
消化器・一般外科	74		4	7	9	3	3	7	1	19		21	
心臓血管外科	0												
消化器外科	85	12	1	6	13	14	4	7	8		5	1	14
整形外科	95		6	18	3	2	11	5	6	14	23		7
形成外科	0												
脳神経外科	133						11	18	20	19	19	22	24
眼科	0												
耳鼻いんこう科	244	21	10	28	30	28	4	21	21	27	36	18	
歯科・口腔外科・矯正歯科	507	87	78	98	76	46	1	10	20	35	19	27	10
産婦人科	457	53	38	20	10	55	41	8	34	13	44	56	85
泌尿器科	567	15	9	69	76	58	49	86	31	30	34	74	36
麻酔科	0												
リハビリテーション科	0												
脳神経内科	0												
脳卒中科	0												
がんゲノム診断科	0												
緩和医療科	0												
臨床腫瘍科、乳腺外科	873	62	71	63	91	111	124	63	54	27	58	88	61
合計件数	4,190	377	295	366	382	356	362	370	281	289	319	412	381
緩和ケア診療加算(点数)→	390												
合計算定点数	1,634,100	147,030	115,050	142,740	148,980	138,840	141,180	144,300	109,590	112,710	124,410	160,680	148,590

6 緩和ケア外来診療件数状況

(令和4年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
緩和身体 緩和ケア外来新患併診	14	4	10	2	7	7	5	4	5	9	8	5
緩和身体 緩和ケア外来再診	85	90	91	65	82	69	66	50	71	76	77	71
緩和精神 緩和ケア外来再診	1	2	4	0	1	1	1	11	1	5	4	1
合計件数	100	96	105	67	90	77	72	65	77	90	89	77

27 がん相談支援センター

1 がん相談支援センター

がん相談支援センターとは、院内および地域の医療従事者の協力を得て、院内外のがん患者とその家族、地域の住民および医療機関等からの相談に対応する体制を整備し、がん診療や患者支援の充実を、全病的に推進している組織です。

個別の相談支援においては、相談者の権利を守り、がんと向き合うすべての段階において信頼できる情報を提供することを目指しています。そして、相談者に寄り添い、困りごとの本質をともに考え、相談者が十分な情報に基づいた自己決定ができるよう支援しています。納得して治療を受けることは元より、患者が望む社会生活が送れるよう目指しています。

2 がん相談支援センター構成員（令和5年4月現在）

- 1) 責任者: 医師1名(血液リウマチ感染症内科)
- 2) 副責任者: 医師1名(がんゲノム診断科)
- 3) がん専門相談員
看護師: 専従1名(がん性疼痛看護認定看護師)
兼任3名(がん看護専門看護師1名、がん性疼痛看護認定看護師2名)
ソーシャルワーカー: 専任1名、兼任7名
- 4) その他
診療科医師、がん領域認定・専門看護師、ソーシャルワーカー、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士
- 5) 事務局: 医学・病院統括部地域連携課地域連携担当

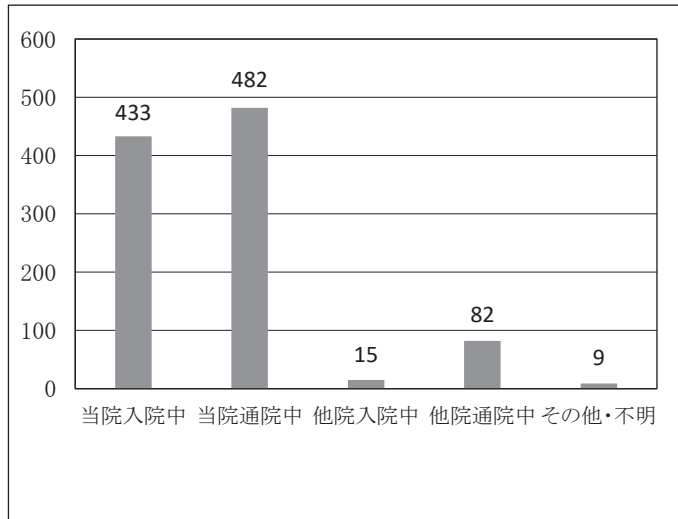
3 具体的な活動内容

- 1) 相談支援(患者および家族相談)
- 2) がん相談支援センタースタッフミーティング 12回/年
- 3) がん相談・がん患者支援会議 2回/年
- 4) はまかぜサロン企画・運営 12回/年(4月～3月オンライン開催)計104名参加
- 5) アピアランスケア相談会 5回/年 計6名参加
- 6) ピアサポーターによる個別相談 0名/年(コロナにより開催せず)
- 7) 社会保険労務士相談 8名/年
- 8) 教育活動
緩和ケア研修会講義 2回/年
看護部教育委員会がん看護勉強会 12回/年
- 9) 広報活動
「がん患者支援のご案内」を外来診療ブースへ設置
- 10) 地域連携活動 地域医療機関とカンファレンス 4回/年
- 11) 地域がん診療連携拠点病院関連
神奈川県相談支援部会参加 2回/年
就労ワーキング活動 5回/年
神奈川県相談支援部会研修会参加 3回/年

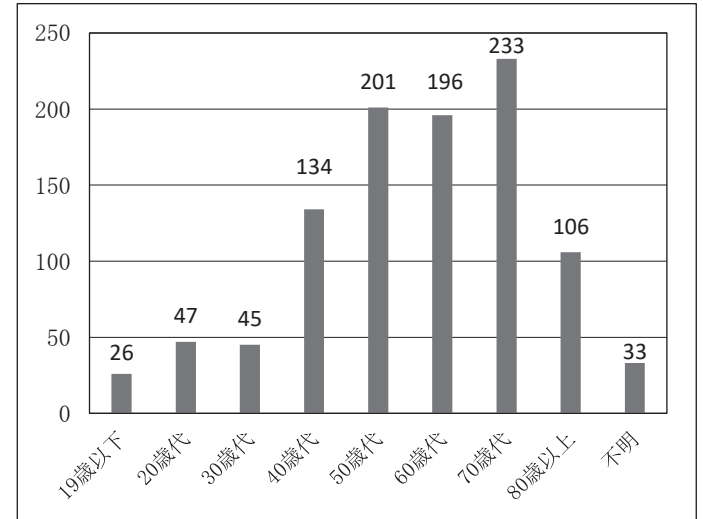
【相談件数】

対応者	ソーシャルワーカー	看護師	合計
件数	463	558	1,021

【患者カテゴリー】



【患者年齢構成】



【相談内容】(複数カウント)

相談内容	件数	相談内容	件数
がんの治療	361	食事・服薬・入浴・運動・外出など	32
がんの検査	29	介護・看護・養育	114
症状・副作用・後遺症	238	社会生活(仕事・就労・学業)	88
セカンドオピニオン(一般)	8	医療費・生活費・社会保障制度	208
セカンドオピニオン(他へ紹介)	6	不安・精神苦痛	390
転院	95	告知(がん患者指導管理料イ算定72件)	54
医療機関の紹介	25	医療者との関係・コミュニケーション	124
在宅医療	78	患者・家族間の関係・コミュニケーション	84
ホスピス・緩和ケア	126	友人・知人・職場の人間関係・コミュニケーション	2
患者会・家族会(ピア情報)	12	アピアランスケア	68
妊孕性	1	がん患者スクリーニングより看護面談	85
その他	122		

【はまかぜサロン(4月～3月オンライン開催)】

	ミニ医療講座	担当	参加者
4月	「こころのリラックス」	臨床心理士	10名
5月	「認知症について」	看護師 老人看護専門看護師	9名
6月	「化学療法 Q&A ～吐気止めについて～」	薬剤師	9名
7月	「お家でできるフレイル予防 ストレッチ」	リハビリテーション部	10名
8月	「がんとともに暮らす～お金・仕事・療養についてのおはなし～」	ソーシャルワーカー	9名
9月	「採血結果のみかた」	臨床検査部 医師	13名
10月	「正しい検査の受け方 知っていますか！ 検査結果は日常の活動で影響を受ける」	臨床検査技師	9名
11月	「新型コロナウイルス感染症の現状」	感染制御部 医師	8名
12月	「食事から考える 病気に負けない身体づくり」	管理栄養士	6名
1月	「人生会議ってな～に？ ～もしも手帳の使い方～」	緩和ケアチーム 医師	6名
2月	「痛み止めの貼り薬のいろいろ」	薬剤師	9名
3月	「がんゲノム検査について～最新情報～」	がんゲノム診断科 医師	6名

28 内視鏡センター

1 内視鏡検査件数

項	目	計
気管支内視鏡		4
上部内視鏡		5,287
下部内視鏡		2,350
経鼻内視鏡		326
カプセル内視鏡		32
他院カプセル内視鏡読影		14
内視鏡的逆行性膵胆管造影(ERCP)		854
小腸(バルーン)内視鏡		18
気管支内視鏡(放射線室分)		71
	(術中内視鏡)	(26)
	(病棟内視鏡)	(25)
	(夜間・休日内視鏡)	(529)
合	計	9,536

2 内視鏡処置・手術内容

項	目	計
超音波内視鏡		728
超音波内視鏡的穿刺吸引術(EUS-FNA)		143
ポリペクトミー	上 部	2
	下 部	27
内視鏡的粘膜切除術(EMR)	上 部	28
	下 部	65
内視鏡下粘膜下層剥離術(ESD)	上 部	183
	下 部	120
胃ろう造設		92
胃ろう交換		161
静脈瘤結さつ術(EVL)		16
硬化療法(EIS)		0
拡張術		41
アルゴンプラズマ凝固療法(APC)		20
気管内洗浄・BAL		0
異物除去		8
内視鏡的止血術		214
その他		165
胆膵関連手技		854
ステント留置術	Plastic Stent	335
	Metallic Stent	42
内視鏡的乳頭バルーン拡張術(EPBD)		17
内視鏡的乳頭括約筋切開術(EST)		188
胆管腔内超音波検査(IDUS)		15
経口胆道鏡(POCS)		20
結石除去術		116
十二指腸ステント留置術		9
内視鏡的乳頭切除術		8
超音波内視鏡下胆道ドレナージ術(EUS-BD)		29
超音波内視鏡下膵仮性嚢胞ドレナージ術(EUS-CD)		10
超音波内視鏡下膵管ドレナージ術(EUS-PD)		1

29 血液浄化センター

科別取扱件数

(令和4年度)

項目 科目	血液透析 慢性腎不全 導入	血液透析 慢性腎不全 維持	急性 腎不全	血交 漿換	二重濾 過血漿 交換	免疫 吸着	LDL 吸着	GCAP	LCAP	血液 吸着	CAPD	PD/HD 併用	療法 選択	幹細胞 採取	ECUM	OHDF	その他	合計
血液・リウマチ・ 感染症内科	15	133	18	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	174
呼吸器内科	0	51	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	58
循環器内科	3	198	15	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	14	0	0	233
腎臓・高血圧内科	337	1,719	150	13	2	0	0	13	0	0	428	452	107	0	68	322	122	3,733
消化器内科	0	178	21	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	2	1	0	226
内分泌・ 糖尿病内科	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17
脳神経内科	0	5	0	19	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25
脳卒中科	0	22	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	30
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼吸器外科	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
消化器・一般外科	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
乳腺・甲状腺外科	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
心臓血管外科	0	86	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	86
消化器外科	1	23	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26
臨床腫瘍科	0	34	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46
乳腺外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
整形外科	6	59	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	69
皮膚科	0	26	0	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33
泌尿器科	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
産婦人科	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
眼科	0	24	1	14	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	42
耳鼻いんこう科	0	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32
放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科・口腔外科・ 矯正歯科	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
救急科	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	27
脳神経外科	1	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31
リハビリテーション科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
形成外科	0	73	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73
合計	363	2,770	232	63	7	0	0	37	0	0	428	455	107	0	93	323	122	5,000

30 化学療法センター

1 化学療法業務 (一日平均)

(令和4年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
化学療法実施件数	52.9	54.4	48.7	51.1	50.0	52.6	48.9	50.7	51.2	54.4	55.8	51.1	51.7
化学療法実施件数 (小児科外来分)	2.0	1.6	1.8	2.1	1.9	2.1	2.0	1.8	1.7	1.9	1.3	2.2	1.9

※化学療法実施件数には自己免疫疾患等治療(バイオ製剤投与)を含む。

2 化学療法実施件数

(令和4年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
血液・リウマチ・感染症内科	229	207	224	230	224	224	182	188	194	188	184	236	2,510
呼吸器内科	31	39	42	42	51	37	45	37	44	43	46	52	509
腎臓・高血圧内科	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
消化器内科	91	85	97	83	88	85	66	68	74	75	78	104	994
臨床腫瘍科	262	250	245	222	225	234	208	238	211	216	210	189	2,710
小児科	5	7	5	6	7	5	4	8	4	5	5	5	66
皮膚科	32	40	35	36	38	33	33	38	31	35	31	33	415
呼吸器外科	2	2	3	1	1	4	2	2	4	3	2	3	29
消化器・一般外科	81	77	82	71	81	87	75	78	69	76	72	85	934
乳腺・甲状腺外科	39	32	34	35	23	25	24	20	42	44	34	51	403
乳腺外科	66	83	69	68	81	78	79	78	85	70	82	79	918
消化器外科	49	51	66	74	81	66	71	70	84	82	77	88	859
整形外科	9	8	6	9	9	13	15	13	18	16	6	14	136
脳神経外科	14	13	14	13	12	13	14	12	14	10	9	7	145
耳鼻いんこう科	0	1	0	2	1	0	0	1	3	6	6	29	49
歯科・口腔外科・矯正歯科	2	2	2	2	3	0	1	3	2	5	0	0	22
産婦人科	79	72	74	64	79	66	79	79	62	78	81	60	873
泌尿器科	67	65	73	64	95	78	78	80	82	81	81	87	931
脳神経内科	0	0	0	0	2	3	0	0	0	1	0	2	8
合計	1,058	1,034	1,071	1,022	1,101	1,051	977	1,013	1,023	1,034	1,004	1,124	12,512

※自己免疫疾患等治療(バイオ製剤投与 1,423件)を含む。

31 中央無菌室

月別入室件数

(令和4年度)

	血液・リウマチ・感染症内科			小 児 科			合 計
	同種移植	自家移植	化学療法	同種移植	自家移植	化学療法	
4月	1	0	2	0	0	0	3
5月	1	1	4	0	0	0	6
6月	3	1	0	0	1	0	5
7月	2	0	1	0	0	1	4
8月	1	0	3	1	0	0	5
9月	2	1	1	0	0	0	4
10月	2	1	1	0	0	0	4
11月	1	0	2	1	0	0	4
12月	0	1	3	0	0	0	4
1月	2	1	1	0	0	0	4
2月	1	1	0	1	0	0	3
3月	0	1	0	1	0	1	3
合 計	16	8	18	4	1	2	49
総合計	42			7			49

32 滅菌室

滅菌室業務

(令和4年度稼働日数 294日)

項目 月	AC 滅菌※	EOG 滅菌※	STR 滅菌※	病棟・外来器材滅菌件数			手術器材滅菌件数				滅菌依頼件数		臨時 請求件数
				セット	単品	その他	コンテナ	セット	単品 その他	借用	病棟・ 外来・ 他部門	物流	
4月	400	36	200	550	10,814	0	614	1,303	7,913	546	3,232	1,304	356
5月	358	31	180	566	10,513	0	527	1,075	7,227	542	2,923	1,128	475
6月	423	38	221	631	12,143	0	633	1,415	8,022	656	3,450	802	473
7月	403	39	202	553	12,029	0	623	1,340	7,534	622	3,089	1,604	809
8月	335	38	175	618	11,099	0	557	1,205	7,078	589	2,973	1,154	315
9月	391	41	182	545	9,435	0	534	1,159	8,529	432	2,967	789	325
10月	413	40	182	589	11,014	0	603	1,208	8,801	574	3,451	733	531
11月	396	37	199	679	11,726	0	586	1,295	7,481	626	2,995	731	265
12月	416	41	221	594	10,139	0	580	1,217	8,607	602	3,202	913	377
1月	384	42	181	633	11,064	0	563	1,196	7,404	654	2,412	678	450
2月	370	28	191	597	11,738	0	575	1,301	7,548	660	3,107	1,143	852
3月	438	42	217	754	13,274	0	692	1,442	8,655	772	3,523	576	328
合計	4,727	453	2,351	7,309	134,988	0	7,087	15,156	94,799	7,275	37,324	11,555	5,556
1日平均	16.1	1.5	8.0	24.9	459.1	0.0	24.1	51.6	322.4	24.7	127.0	39.3	18.9

(※ AC: 高圧蒸気滅菌 EOG: エチレンオキシドガス滅菌 STR: 過酸化水素低温プラズマ滅菌)

33 シミュレーションセンター

シミュレーションセンター利用状況

(令和4年度)

	医師		研修医		看護師		医学科		看護学科		その他		合計		
	センター利用	物品貸出	センター利用	物品貸出	センター利用	物品貸出	センター利用	物品貸出	センター利用	物品貸出	センター利用	物品貸出	センター利用	物品貸出	計
4月	59	10	84	1	97	112	149	2	28	6	191	2	608	133	741
5月	130	8	86	6	120	23	129	14	29	0	35	0	529	51	580
6月	105	34	75	0	145	20	171	120	26	221	75	0	597	395	992
7月	137	17	35	3	55	57	296	4	117	0	95	18	735	99	834
8月	71	2	18	0	13	20	12	0	13	10	139	53	266	85	351
9月	71	6	9	2	276	21	147	4	3	0	19	33	525	66	591
10月	66	48	6	42	83	59	418	108	64	0	52	72	689	329	1,018
11月	58	50	12	38	263	143	371	1,211	0	0	987	95	1,691	1,537	3,228
12月	65	105	14	7	136	151	451	850	0	8	57	53	723	1,174	1,897
1月	48	4	11	0	227	47	50	10	4	0	175	5	515	66	581
2月	87	8	16	1	132	176	167	4	23	3	138	15	563	207	770
3月	53	8	23	0	46	64	95	0	40	0	56	27	313	99	412
合計	950	300	389	100	1,593	893	2,456	2,327	347	248	2,019	373	7,754	4,241	11,995
	1,250		489		2,486		4,783		595		2,392				

34 先進医療推進センター

1 目的

高度かつ先進的な医療を行うための研究および技術開発の支援を行い、その成果を厚生労働省の「先進医療」に結実させ、患者さんに還元します。

2 学内先進支援事業審査会の開催状況 (令和4年度)

学内先進支援事業審査会	申請件数		備考
第47回(令和4年6月6日開催)	重点型: 0件	一般型: 4件	令和4年度支援分
第48回(令和4年10月3日開催)	重点型: 0件	一般型: 4件	令和4年度支援分
第49回臨時(令和4年12月19日開催)	重点型: 0件	一般型: 3件	令和4年度支援分、一般型2件は変更申請
第49回臨時(令和5年1月10日開催)	-		「2023年度学内先進支援事業の進め方について」審議、新規申請なし
第49回臨時(令和5年1月13日～18日開催)	-		「学内先進支援事業審査会要綱改訂について」メール審議、新規申請なし
第49回定期(令和5年2月27日開催)	9件		令和5年度支援分、旧制度からの移行8件、新制度新規1件

※重点型:厚生労働省の定める先進医療の承認を得られる可能性が高いもの。

※一般型:先進医療の承認又は保険適用を目指す、実現の可能性が未確定なもの。

※新制度:令和5年度より実現の可能性が高く対象疾患を「がん」に限る「特定臨床研究」。支援期間を最長3年間とする。

3 承認件数 (令和5年4月現在)

	承認件数	終了件数	合計
重点型	3件	2件	1件
一般型	39件	33件	6件
新制度	9件	0件	9件

※一般型39件のうち、7件はセンター病院で実施する研究。

※一般型終了件数33件のうち、新制度への移行8件が含まれ、新制度9件のうち、2件はセンター病院で実施する研究。

※一般型6件は令和4年3月末迄に承認済であるがん以外の「特定臨床研究」であり、被験者保護の観点から特例措置として研究終了まで支援する。

※支援期間継続中の【重点型】研究は支援期間令和7年3月末まで支援する。

4 厚生労働省の定める先進医療への申請および承認状況 (令和4年度)

申請件数	0件	承認件数	0件
------	----	------	----

令和5年度 臨床研修関連年間計画

センター病院との共通予定

マッチング日程 ★日程未定

1 主な業務

	1年次研修医	2年次研修医	医科採用関連	歯科採用関連	専攻医関連	委員会・講演会・セミナー
4月	1年次オリエンテーション 看護体験実習 麻疹等4種ワクチン接種 B型肝炎ワクチン接種① T-SPOT採血	2年次オリエンテーション 新人職員医療安全研修 麻疹等4種ワクチン接種(新採用) B型肝炎ワクチン接種①(新採用) T-SPOT採血(新採用)	R6年度募集要項完成 プログラム変更申請の締め切り eレジエア(オンライン) マイナビ(名古屋) レジナビ(福岡)	臨床研修委員会 第3火曜日(8月 休会)	プログラム変更届を専門医機構に提出	
5月	B型肝炎ワクチン接種② 1年次研修医面談	B型肝炎ワクチン接種②(新採用) 2年次研修医面談				
6月	麻疹等4種抗体等確認検査 (6～9月 夏季休暇 5日間)	麻疹等4種抗体等確認検査(全員) B型肝炎抗原・抗体等検出検査 (6～9月 夏季休暇 5日間)	第1回臨床研修医採用試験委員会 マッチング参加登録開始 マッチング参加登録開始 R6年度採用者募集開始	マッチング参加登録開始 マッチング参加登録開始 R6年度研修医募集説明会(オンライン)		
7月	T-SPOT採血(既採用) 麻疹等4種ワクチン接種(既採用) 麻疹等4種ワクチン接種(既採用) B型肝炎ワクチン接種(既採用)	T-SPOT採血(既採用) 麻疹等4種ワクチン接種(既採用) 麻疹等4種ワクチン接種(既採用) B型肝炎ワクチン接種(既採用)	基礎研究医プログラム採用試験 附属2期院合同R6年度研修医募集説明会(オンライン) 附属病院R6年度研修医募集ミニ説明会(オンライン)	歯科臨床研修医採用試験 7月～12月頃まで 各医局にて教室説明会の実施		病理解剖症例総検査(ミニCPC) 外科寺子屋(毎月第3土曜日) 中心静脈カテーテル講習会 人工呼吸講習会(レベルI、レベルII) 栄養療法勉強会 キャンサーボード 医療安全講演会 感染対策講演会 チームSTEPPS研修
8月	8～10月 健康診断		マッチング参加登録締切 臨床研修医採用試験(オンライン)	マッチング参加登録締切		
9月	B型肝炎ワクチン接種③	麻疹等4種抗体等確認検査(既採用) B型肝炎ワクチン接種①(既採用) B型肝炎ワクチン接種③(新採用)	マッチング参加順位登録受付開始 マッチング希望順位登録中間発表前締切 ★第2回臨床研修医採用試験委員会 マッチング中間発表 マッチング参加登録最終締め切り	マッチング参加順位登録受付開始 マッチング参加登録最終締め切り	専攻医のプログラム割り付け	
10月		B型肝炎ワクチン接種②(既採用)	マッチング決定 マッチング決定	マッチング決定		
11月	★2年次研修の選択科説明会 インフルエンザワクチン接種 選択科アンケート締め切り	インフルエンザワクチン接種 インフルエンザワクチン接種 選択科アンケート締め切り	★R6年度新採用者説明会 新採用者コース希望アンケート		★R6年度専攻医募集開始	
12月	第1回臨床研修管理委員会		新採用者コース決定		★専攻医募集締め切り ★R6年度専攻医合格発表	
1月	1年次研修医面談(2年次ローテーションの確認) 選択科アンケート締め切り	2年次研修医面談				
2月	2年次ローテーション決定	B型肝炎ワクチン接種③(既採用)	F・I・IIコースのローテーション決定	新採用者のローテーション決定	専攻医修了判定 専門研修管理委員会開催	
3月	★第2回臨床研修管理委員会 B型肝炎抗体定量確認検査(既採用) ★研修修了証書授与		国家試験結果発表	国家試験結果発表表	専門医養成プログラム改訂	

令和4年度の業務と実績

- (1) 臨床研修医の募集と採用
 - ① 臨床研修説明会の学内開催、Web開催、学外説明会の出展・参加
 - ② 病院見学学生の受入れ(メールでの問い合わせ・見学申し込み対応)
年間120名程度(シニア・レジデント応募のための研修医の見学および歯科を含む)
 - ③ 研修医の採用業務
臨床研修マッチング参加
募集要項作成
採用試験委員会開催
採用試験作成・実施・採点
- (2) 臨床研修委員会の開催(毎月第3火曜日に開催)
- (3) 臨床研修管理委員会(協力病院、協力施設の研修責任者による委員会)の開催(年2回、12・3月に開催)
- (4) 臨床研修プログラムの企画・運営
 - ① 研修医のローテート決定
 - ② 研修評価のためのEPOC2(オンライン評価システム)利用のための各種手続き
 - ③ 厚生労働省に研修実績の報告、新規・更新プログラムの申請
 - ④ 臨床研修手帳作成
 - ⑤ 研修実施要項作成
 - ⑥ 地域医療研修に関する冊子の作成
 - ⑦ 研修医対象のオリエンテーション・セミナー・研究会・講習会等の企画および開催・研修医出席の管理
オリエンテーション : 医療安全演習、感染管理演習、医療倫理、個人情報管理、電子カルテ操作演習、
採血実習、麻薬講義、健康管理、災害対策、薬剤管理
C P C : 病理総検査(ミニCPC)を月2回程度開催
手技トレーニング : 中心静脈カテーテル、人工呼吸、外科基本手技など
外科寺子屋
 - ⑧ 研修協力病院・地域医療研修の研修施設との連携
- (5) 講演会(医療安全研修、キャンサーボード、感染対策講演会等)への研修医出席の管理
- (6) 研修医のサポート
健康管理(ワクチン接種を含む)
研修医との個別面接
協力病院研修医訪問
研修医へ医療安全情報や医薬品情報等を周知
各種イベント時のアンケート集計
研修医の進路相談・調査
- (7) 臨床研修指導医養成講習会の企画(開催はできず)
- (8) 後期研修医の募集と採用、プログラム管理
- (9) 臨床研修センターホームページ、Facebookページ運営
- (10) 日本救急医学会認定 ICLSコース受講(研修医)

36 次世代臨床研究センター

横浜市立大学附属2病院と医学部は、再生医療など先進的な医療の実現に向け、基礎研究から臨床応用に向けた橋渡し研究(トランスレーショナルリサーチ)を行う体制を構築するとともに、横浜市の支援の下、平成27年4月に次世代臨床研究センター(Y-NEXT)を設立し、臨床研究支援体制の充実を図ってきました。

Y-NEXTは、最先端の治療をいち早く患者さんに届けることを目標とした臨床研究を推進するための専門家集団で、その活動は活発かつ多岐にわたり、国への承認申請や保険収載などの“出口”を見据えた新しい治療法や診断法の開発研究を複数展開しています。

現在、横浜市立大学附属2病院・医学部の各教室・診療科に所属する医師や看護師等の医療従事者は、臨床研究の推進に向けて一丸となって臨床研究・治験に取り組んでいます。この活動を横浜市立大学附属病院を中核とした横浜臨床研究ネットワークに所属する医療機関にも波及させ、横浜市および神奈川県における医療機関等の臨床研究・治験の活性化を図るとともに、医療機関同士の有機的な連携を構築し、質の高い先進的な地域医療の提供を図っていきます。

1 組織体制

(令和5年4月1日現在)

室名	主な業務	主な構成員
研究開発支援室	臨床研究(臨床試験および医師主導治験)のプロジェクト管理、研究デザイン支援および相談業務など	・薬剤師、看護師、臨床検査技師、事務
臨床試験データ管理室	臨床研究(臨床試験および医師主導治験)のデータ管理、中央モニタリングおよび登録センター業務など	・薬剤師、看護師、事務
信頼性保証室	臨床研究の監査又は調査を実施し、臨床研究の品質を保証する業務など	・事務、薬剤師
統計解析室	臨床研究(臨床試験および医師主導治験)のデザイン立案、症例数設計、解析計画書作成および統計解析など	・生物統計家
臨床試験管理室	臨床研究(臨床試験および治験)のCRC業務、治験・IRB事務局業務など	・薬剤師、看護師、臨床検査技師、事務
教育研修室	臨床研究(臨床試験および医師主導治験)の教育・研修の実施、プロトコルの作成支援および臨床研究事務局業務など	・医師、看護師、臨床検査技師、事務
戦略相談室	本学研究者と企業、他大学の産学連携支援や基礎研究から臨床研究への橋渡し研究の支援業務など	・医師、弁理士、看護師、事務
事務室	臨床研究ネットワーク事務局、医学系倫理委員会事務局および利益相反管理業務など	・事務

2 各室紹介

(1) 研究開発支援室

臨床研究の遂行には、被験者はもちろんのこと、参加施設の医師や事務部門など、極めて多数の人が関わるため、個々の臨床研究を「ひとつのプロジェクト」として運営・進捗管理していくという視点が必要になります。

研究開発支援室は、次世代臨床研究センターの各部署(戦略相談室/臨床試験データ管理室/統計解析室/CRC/監査/事務部門等)が一体となった支援活動を行うための調整役として、プロジェクトマネジメントを中心に、臨床試験の準備段階からまとめまで(試験立案から出口戦略まで)、臨床試験のプロジェクトに係わる様々な側面からの支援を実施いたします。

今後は、臨床研究に精通した医療専門職や規制当局経験者の立場から、法令順守のために助言するだけでなく、実用化に向けた承認申請資料作成において、開発期間を短縮、規制当局と研究者・開発者との相互理解の促進に努めるよう積極的な支援を展開していきます。

【業務実績】

◇研究開発支援室の支援実績

(件)

	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	学内	学外	学内	学外	学内	学外
医師主導治験	5	5	5	5	5	5
特定臨床研究	15	2	17	3	15	5
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に基づく研究(手術手技含)	8	3	9	4	5	4
合 計	28	10	31	12	25	14

(注) 学外は、支援契約の締結件数。

(2) 臨床試験データ管理室

臨床研究の有効性・有害事象のデータの「品質」を確保することは、研究結果の信頼性の確保および被験者の安全の確保のために必要です。次世代臨床研究センターの臨床試験データ管理室は、臨床研究のデザインに合わせたデータ収集方法(紙媒体でのデータ収集では臨床試験データマネジメントシステム(CDMS)の利用、電子媒体でのデータ収集ではEDC(Electronic Data Capture)を利用し、監査証跡をはじめとするICH-GCP、GCPおよび臨床研究法を念頭においたデータ管理体制を提供しています。

臨床現場のスタッフとは異なる第三者的な専門のスタッフが臨床研究データを扱うことで、臨床研究データの質がより向上し、導かれる結果の信頼性をより高めております。

臨床研究の質の向上、エビデンス発信に役に立てるよう臨床研究を支援いたします。

【業務実績】

◇臨床試験データ管理室の支援実績

(件)

	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	学内	学外	学内	学外	学内	学外
医師主導治験	3	3	2	2	2	1
特定臨床研究	14	0	10	4	14	2
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に基づく研究(手術手技含)	11	13	4	13	4	8
合 計	28	16	16	19	20	11

(注) 学外は、支援契約の締結件数。

(3) 信頼性保証室

臨床研究(医師主導治験、特定臨床研究、生命・医学系研究など)は、被験者保護、科学的合理性、法令・諸規則や研究計画等の遵守状況の観点から適切に行われているか、確認(治験は監査が必須、その他の研究は必要に応じて)を行い、臨床研究の信頼性を保証することが求められます。

信頼性保証室は、臨床研究が適正に実施されているか、倫理的妥当性・科学的合理性を保たれているかを監査又は調査を行い、臨床研究の品質を保証しています。また、是正すべき問題を把握するとともに、それらの改善を図るための活動及びその活動の支援を行っています。

信頼性保証活動の一環として、室長の指示のもと、本学で実施される臨床研究が適正に行われているか定期的に調査(システム調査)を実施し、是正すべき問題点があれば、その改善を図る活動を行っています。また、必要に応じ、病院長、倫理委員会委員長の指示のもと、何らかの理由(不適合事案等)で、臨床研究の信頼性について確認が必要となった場合に臨時的に調査(原因究明調査)を実施し、その結果報告と改善を図っています。

【業務実績】

(件)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
システム調査	0	0	5
原因究明調査	4	1	1
監査(契約数)	1	1	2
合計	5	2	8

(4) 統計解析室

臨床試験は通常、計画立案から始まり、詳細なプロトコル作成を経て試験を実施し、データ収集・解析、報告書作成、さらに論文作成というプロセスを経ます。そのため、最終的なゴールを見据えてプロトコルを作成していくことが重要であり、その際には試験の計画段階からの生物統計家の関与が必須です。統計解析室では、簡単な統計相談から、試験デザイン作成、症例数設計、解析計画策定、データ解析、報告書および論文作成の支援を行っており、とくに重要な試験計画立案の初期段階ではコンセプトレビューという形で関与いたします。

次世代臨床研究センター統計解析室には、一般社団法人日本計量生物学会認定の試験統計家が複数在籍しています。

(5) 臨床試験管理室

臨床試験は、臨床研究法、あるいは、「GCP(医薬品の臨床試験の実施の基準)」や「人を対象とした医学系研究の倫理指針」に従って、倫理的かつ科学的に実施することが求められます。

臨床試験管理室は、治験が円滑かつ適正に実施できるように医師や被験者をサポートする臨床研究コーディネーター(Clinical Research Coordinator)業務、治験事務局等の重要な役割を担っています。

また、市販後の薬剤・医療機器、あるいは手術手技等にかかるUnmet Medical Needsを埋めていく自主臨床試験のCRC業務も積極的に展開していく予定です。

大学全体の「臨床試験」の質の向上を通じて、横浜市大発の新しい治療の提供に貢献することを目指します。

【業務実績】

(件)

IRB審査件数の推移(新規のみ)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
企業治験	23	24	24	28	25
医師主導治験(主:YCU)	2	2	0	1	0
医師主導治験(主:他院)	2	2	2	1	6
治験の合計	27	28	26	30	31

(件)

CRCが支援した臨床研究の試験数 (年度毎の新規試験数)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
企業治験	YCU ^{※1}	2	0	2	10	3
	SMO ^{※2}	21	24	22	18	22
医師主導治験	YCU	4	3	1	1	6
	SMO	0	1	1	1	0
特定臨床研究	YCU	5	1	2	0	0
非・特定臨床研究 ^{※3}		4	1	2	2	2

※1 YCU:横浜市立大学附属病院の職員

※2 SMO:治験施設支援機関(Site Management Organizationの略)

※3 非・特定臨床研究:特定臨床研究を除く臨床研究(観察研究など)

(6) 教育研修室

臨床研究は、最初の研究計画立案部分でその研究の成否の大半が決まります。研究計画立案の為に研究デザインや疫学、統計学の知識に加えて、倫理指針や臨床研究法、治験に関する様々な知識が必要になります。

教育研修室では臨床研究の実施者および研究をサポートする方々や倫理委員会の委員を対象として、臨床研究の理論・知識・方法・実践スキルや臨床研究の適正実施、質の高い倫理審査に必要な倫理委員の知識やスキルを身につけていただくため講習会やセミナーを企画・開催しています。また、横浜市立大学内のみならず、地域全体における臨床研究のさらなる浸透・推進を目指します。

また、研究者を対象に臨床研究に関する支援業務を行っております。特に、介入研究においては研究コンセプト作成やその前の立案段階から、科学性を確保した質の高い臨床研究の遂行のための支援を行っています。

【業務実績】

研修会の開催実績

(件)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
臨床研究を実施する者を対象とする研修会の開催件数	22	22	17
臨床研究を支援する者を対象とする研修会の開催件数	19	27	23
倫理審査委員会委員等を対象とする研修会の開催件数	4	4	4
合計	45	53	44

(7) 戦略相談室

優れた基礎研究の成果や、臨床研究で得られた知見から革新的な医薬品や医療機器を創出して患者さんにいち早く届けるためには、基礎研究から臨床研究・治験への橋渡し研究が重要な役割を担います。戦略相談室では、学内研究者と企業、他アカデミア、行政等との産学官連携を支援し、また次世代臨床研究センターの各室・学内外の専門家との連携により、薬事戦略・事業開発戦略・知的財産戦略を考慮して総合的・戦略的に橋渡し研究を支援しています。この総合的・戦略的支援によって研究シーズの強みを最大限に引き出し、革新的医療技術をできるだけ早く社会実装する事を目指してまいります。

(8) 事務室

事務室は、次世代臨床研究センター全体の運営を統括するとともに、他機関から依頼される支援の窓口として契約等の渉外部門を担当しています。また、横浜臨床研究ネットワークの事務局として協定を結んでいる15病院の臨床研究や治験の推進を図るとともに、適正実施に向けた様々な支援活動を行っています。

また、令和3年4月には指針統合に合わせてヒトゲノム・遺伝子研究等倫理委員会と人を対象する医学系研究倫理委員会を統合して、新たに人を対象する生命科学・医学系研究倫理委員会を設置し、厚労省から認定された臨床研究審査委員会(CRB)とともに倫理委員会事務局を担当しています。

さらに臨床研究の利益相反委員会事務局(COI)や臨床倫理委員会事務局を担当するとともに、令和2年11月には臨床倫理コンサルトチームを新設して、医療従事者が判断に迷う倫理案件に関する相談業務を行っています。

①新規申請件数(自施設主導)

(件)

	医師主導治験	特定臨床研究
令和2年度	0	26
令和3年度	1	8
令和4年度	0	7
合計	1	41

②英語論文数(自施設主導)

(件)

	治験・特定臨床研究
令和2年度	27
令和3年度	9
令和4年度	8
合計	44

(注)特定臨床研究は平成30年度からは臨床研究法に基づく特定臨床研究。(注)英語論文数は臨床研究中核病院の要件に該当する件数のみ記載。

③臨床研究審査委員会における新規審査件数の推移

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和2年度	1	0	1	0	1	5	6	2	3	3	3	1	26
令和3年度	2	0	0	2	1	2	2	0	0	0	3	1	13
令和4年度	1	1	1	0	0	0	0	0	2	1	1	2	9

(注)平成30年度から臨床研究法に基づき設置。件数には経過措置対象研究を含む。

※ 外部機関からの申請件数を含みます。

④人を対象する生命科学・医学系研究倫理委員会における新規審査件数の推移

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和2年度	35	51	77	87	67	57	38	36	75	43	49	35	650
令和3年度	32	37	31	18	21	17	34	28	31	24	32	38	343
令和4年度	81	95	65	118	91	97	69	58	56	54	102	83	969

(注)件数は本審査および迅速審査の合計件数。

⑤ヒトゲノム・遺伝子研究等倫理委員会における新規審査件数の推移

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和2年度	2	4	3	16	5	3	3	4	7	24	3	6	80

(注)件数は本審査および迅速審査の合計件数。

※④⑤の委員会は、令和3年度から「人を対象とする生命科学・医学系研究倫理委員会」に統合されました。

⑥臨床倫理委員会・高難度新規医療技術評価委員会・未承認新規医薬品等評価委員会における審査件数の推移

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和2年度	8	6	5	4	3	3	2	6	1	4	5	5	52
令和3年度	6	2	7	1	3	4	6	6	5	4	1	3	48
令和4年度	5	4	6	1	2	6	3	5	0	4	2	4	42

⑦臨床倫理コンサルテーションチームにおける相談件数の推移

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和2年度	-	-	-	-	-	-	-	4	3	2	1	1	11
令和3年度	4	1	3	5	2	2	2	3	10	2	6	2	42
令和4年度	6	3	1	7	4	3	7	2	1	4	1	7	46

(注)⑦のチームは、令和2年度11月16日より活動を開始されました。

37 看 護 部

1 看護外来・療養指導活動

(1)活動報告(令和4年4月～令和5年3月実績)

名 称	対 象	内 容	場 所	開催時期	件 数
自己注射指導 糖尿病 リウマチ	外来患者	①糖尿病患者の在宅自己注射のセルフケア実技指導生活支援に関する個人・家族指導 ②リウマチ患者の在宅自己注射のセルフケア実技指導	内科外来	随 時	①6,011件 ②1,853件
フットケア外来	外来患者	糖尿病患者のフットケア指導	内科外来	毎週金曜日 13:00～17:00	20件
HIV感染症外来	外来患者	①生活指導 ②ウイルス感染防止指導 ③内服指導	内科外来	随 時	①②③ 1,288件
糖尿病透析予防指導外来	外来患者	糖尿病性腎症患者の透析予防指導 腎症・日常生活指導・透析療法について	内科外来	毎週水・木・金曜日	115件
造血幹細胞移植後 フォロー外来	外来患者	慢性GVHDのコントロール BMT後の生活・社会適応についてなど	内科外来	第1・3火曜日 第2・4木曜日 第3水・金曜日	51件
			小児科外来	毎週水・金曜日	38件
禁煙外来	外来患者	1クール5回 禁煙状況の確認 服薬状況の確認	内科外来	毎週月・木曜日	5件
妊婦継続指導外来	妊 婦	妊娠中の生活指導 (早産・貧血・妊娠高血圧症候群予防・他)	産婦人科外来	随 時	1,009件
妊娠初期指導外来	初産妊婦	妊娠初期生活指導 流産予防・つわりの食事指導	産婦人科外来	予約制 第2・4水曜日	中止中
両親学級1課	妊婦・夫 育児協力者	妊娠中の指導 母乳育児について 分娩教育 新生児について	会議室	第1水曜日	中止中
助産外来	妊娠26～27週 34～35週、38週の 妊婦	妊婦健診	産婦人科外来	毎週火・水・金曜日	192件
母乳育児支援外来	母乳育児を行っている 母子	母乳栄養の指導 育児相談 相談・乳房ケア	産婦人科外来	予約制 火・水・金曜日 電話相談随時	401件
2週間検診	当院で出産された 褥婦と正常新生児	生後2週間前後の児の発育状況の確認と 母乳育児への支援、指導	産婦人科外来	火・水・金	391件
軟膏塗布指導(重曹法)	外来・ 入院患者	軟膏効果の増強 実技指導・相談 スキンケア	皮膚科外来	随 時	1～2件/月
プレパレーションによる説明 (心臓カテーテル検査)	外来患者	児に絵本による説明	小児科外来	随 時	3件/月
未熟児育児相談	当院で 出産した患者 紹介患者	育児支援の継続 健康管理 育児実技指導	小児科外来	月曜日	4件/月

名 称	対 象	内 容	場 所	開催時期	件 数
育児指導	当院で 出産した患者	育児相談と支援 健康管理 育児実技指導	小児科外来	月曜日	25件/月
子育て支援	当院で出産した患者・ 家族外来患者・家族	育児支援家族訪問事業に関わる支援 虐待・ネグレクトに関する相談・支援 MSWとの調整 予防注射に関する相談	小児科外来	随 時	5件/月
在宅携帯ポンプ指導	外来患者 家族	在宅でのセルフ支援、在宅使用物品 管理・援助	小児科外来	随 時	3件/月
吸引指導	外来患者 家族	吸引に関する実技指導・セルフケア支 援・管理指導在宅使用物品管理・援助	小児科外来	随 時	3件/月
ストーマケア	ストーマ造設患者と家 族	在宅でのセルフ支援 実技指導 家族相談	外科外科 泌尿器科外来	随 時	145件
					7件/月
自己注射指導	外来患者	①乾癬患者の在宅自己注射の実技指導 ②リウマチ・骨粗しょう症の自己注射指導	①皮膚科外来 ②整形外科外来	随 時	①524件 ②380件
膀胱内留置カテーテル 自己管理指導	外来患者	膀胱内留置カテーテル自己管理の実技 指導	泌尿器科外来	随 時	1件/月
自己導尿指導	外来・ 入院患者	自己導尿の実技指導	泌尿器科外来	随 時	1件/月
腹膜透析外来	外来患者	腹膜透析患者の日常生活・合併症予 防指導	血液浄化 センター	火・木 9:00～12:00	409件
腎代替療法選択支援 腎不全療法選択外来	①入院患者・家族 ②外来患者・家族	腎代替療法の意思決定支援	血液浄化 センター	木 13:30～	①6件 ②101件
在宅携帯ポンプ指導	外来患者・ 家族	在宅でのセルフケア支援・実技指導 家族相談	化学療法 センター	随 時	50件
化学療法の副作用に関する 指導	外来患者・ 家族	化学療法の副作用に関する患者のセル フケア支援	化学療法 センター	随 時	3,996件
在宅中心静脈栄養 (HDN)患者指導	外来患者・ 家族	在宅中心静脈栄養について実技指導 注入ポンプ使用方法など	外科外来 内科外来	随 時	6件 5件
リンパ浮腫の患者指導	外来患者	生活指導(ストッキング・スキンケア・保 清など)	形成外来 外科外来	随 時	347件
					96件
在宅療養支援	在宅経腸栄養・在宅 中心静脈栄養など、 医療機器を使用し 在宅療養をしている患 者・家族	在宅経腸栄養・在宅中心静脈栄養患者・ 家族および在宅でドレーン管理をして いる患者・家族への管理指導(物品の払い 出し含む)	外科外来	随 時	600件
がん性疼痛患者指導	外来患者・ 家族	服薬指導・薬剤管理指導・疼痛チェッ クリスト活用方法の指導など	外科外来	随 時	100件
創傷患者指導	外来患者・ 家族	各創傷に応じた処置方法の指導(物品購 入等含む)	外科外来	随 時	385件
小児科自己注射指導	外来および入院患 者・家族	若年性関節リウマチとクローン病の在宅 自己注射の実技指導	小児科外来	随 時	396件
がん看護相談	院内・院外 がん患者・家族	がん治療の意思決定 がん治療の有害事象のセルフケア支援 アピアランスケアなど	緩和ケア センター	月～金	院内:483件 院内: 75件
緩和ケア相談	緩和ケア外来 患者・家族	服薬・薬剤管理指導・自記式痛み日誌の 活用方法の説明、療養の場の選択など	緩和ケア センター	月～金	595件

(2) 専門看護師の活動実績(令和4年4月～令和5年3月実績)

1) 精神看護専門看護師(1名)

役割機能・内容等		件数
実践	精神科リエゾンチーム活動	2,011件
	専門看護実践活動	67件
相談	患者中心(症状マネジメント等)	173件
	コンサルティ中心(スタッフ・CN等)	59件
	管理・プログラム中心(CECT含む)	204件
調整	コーディネーション	62件
教育	院内講師、委員会役割等	19件
	院外講師、学会・会議役割等	8件
研究	学会発表	2件
職員支援	看護師のメンタルヘルス支援	31件

2) がん看護専門看護師(4名)

役割機能・内容等		件数
実践	専門看護実践活動	74件
	緩和ケアチーム活動	10件
相談	患者中心(症状マネジメント等)	22件
	コンサルティ中心(スタッフ・CN等)	35件
	管理・プログラム中心	22件
調整	コーディネーション	22件
教育	院内講師、委員会役割等	19件
	院外講師、学会・会議役割等	9件
研究	学会発表	2件

3) 家族支援専門看護師(1名)

役割機能・内容等		件数
実践	専門看護実践活動	130件
相談	患者中心	53件
	コンサルティ中心	92件
	管理・プログラム中心(CECT含む)	64件
調整	コーディネーション	17件
教育	院内講師、委員会役割等	20件
	院外講師、学会・会議役割等	20件
研究	学会発表	6件

4) 慢性疾患看護専門看護師(1名)

役割機能・内容等		件数
実践	専門看護実践活動	18件
相談	患者中心	22件
	コンサルティ中心	12件
	プログラム中心	15件
調整	コーディネーション	47件
教育	院内講師	7件
	院外講師、学会・会議役割等	8件
研究	学会発表	1件

5) 老人看護専門看護師(1名)(令和4年4月より看護学科派遣)

役割機能・内容等		件数
実践	専門看護実践活動	1件
相談	患者中心	0件
	コンサルティ中心	0件
	プログラム中心	0件
調整	コーディネーション	0件
教育	院内講師	6件
	院外講師、学会・会議役割等	3件
研究	学会発表	0件

(3) 認定看護師の活動実績(令和4年4月～令和5年3月実績)

1) 皮膚・排泄ケア認定看護師(2名)

役割機能・内容等		延べ件数
実践	ストーマケア・ストーマサイトマーキング	237件
	失禁ケア	78件
	褥瘡・創傷ケア:個別介入	708件
	褥瘡対策チーム対応	378件
相談	コンサルテーション	1,298件
	調整(継続看護、医師など)	100件
指導	院内講師・勉強会実施	8件
	院外講師、関連研究会委員など	10件

2) がん性疼痛看護認定看護師(6名)

役割機能・内容等		件数
実践	緩和ケアチーム対応	4,857件
	緩和ケア外来対応	1,052件
	がん患者スクリーニング	2,146件
	がん相談	670件
相談	疼痛・症状マネジメント等	16件
指導	院内講師・勉強会実施	32件
	院外講師	3件

3) がん化学療法看護認定看護師(2名)

役割機能・内容等		件数
実践	院内における実践モデル等	105件
相談	コンサルテーション	52件
指導	院内講師等	6件
	院外講師等	0件

4) 集中ケア認定看護師(3名)

役割機能・内容等		件数
実践	院内における実践モデル	163件
	RST・RRTでの直接ケア	430件
相談	コンサルテーション	41件
指導	院内講師等	32件
	院外講師等	3件

5) 感染管理認定看護師(1名)

役割機能・内容等		件数
実践	院内における実践モデル等	574件
相談	コンサルテーション	2,814件
指導	院内講師等	10件
	院外講師、外部機関の委員等	8件

6) 乳がん看護認定看護師(1名)

役割機能・内容等		件数
実践	院内における実践モデル等	66件
相談	コンサルテーション	1件
指導	院内講師等	0件
	院外講師、外部機関の委員等	5件

7) 新生児集中ケア認定看護師(1名)

役割機能・内容等		件数
実践	院内における実践モデル等	3件
相談	コンサルテーション	0件
指導	院内講師	2件
	外部機関の委員等	1件

8) 救急看護認定看護師(2名)

役割機能・内容等		件数
実践	院内における実践モデル等	96件
相談	コンサルテーション	12件
指導	院内講師等	7件
	院外講師等	5件

9) 慢性心不全看護認定看護師(1名)

役割機能・内容等		件数
実践	院内における実践モデル等	41件
相談	コンサルテーション	4件
指導	院内講師等	3件
	院外講師、学会発表等	3件

10) 透析看護認定看護師(1名)

役割機能・内容等		件数
実践	院内における実践モデル等	30件
相談	コンサルテーション	7件
指導	院内講師等	3件
	院外講師等	1件

11) 摂食・嚥下障害看護認定看護師(1名)

役割機能・内容等		件数
実践	摂食嚥下支援チーム活動	458件
	NSTにおける実践活動	333件
	院内における実践モデル等	56件
相談	コンサルテーション	11件
指導	院内講師等	3件
	院外講師等	0件

12) 緩和ケア認定看護師(1名)

役割機能・内容等		件数
実践	院内における実践モデル等	2件
相談	コンサルテーション	1件
指導	院内講師	2件
	院外講師	0件

13) がん放射線療法看護認定看護師(1名)

役割機能・内容等		件数
実践	院内における実践モデル等	45件
相談	コンサルテーション	4件
指導	院内講師	3件
	院外講師	1件

14) 小児救急看護認定看護師(1名)

役割機能・内容等		件数
実践	院内における実践モデル等	71件
相談	コンサルテーション	38件
指導	院内講師	14件
	院外講師等	0件

15) 糖尿病看護認定看護師(1名)

役割機能・内容等		件数
実践	院内における実践モデル	34件
	専門看護実践(専門外来)	0件
相談	コンサルテーション	4件
指導	院内講師	5件
	院外講師・学会座長等	2件

16) 手術看護認定看護師(2名)

役割機能・内容等		件数
実践	院内における実践モデル等	42件
	周術期管理チーム(周術期外来)	48件
相談	コンサルテーション	3件
指導	院内講師	0件
	院外講師	4件

17) 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師(1名)

役割機能・内容等		件数
実践	院内における実践モデル等	98件
相談	コンサルテーション	7件
指導	院内講師	3件
	院外講師	1件

(4) 特定・認定看護師の活動実績(令和4年4月～令和5年3月実績)

1) クリティカルケア認定看護師(2名)

役割機能・内容等		件数
実践	直接ケア	125件
相談	コンサルテーション	34件
指導	院内講師等	8件
	院外講師等	2件

2) 摂食嚥下障害看護認定看護師(1名)

役割機能・内容等		件数
実践	認定看護師関連	546件
	特定行為関連	27件
相談	認定看護師関連	252件
	特定行為関連	110件
指導	院内講師等	27件
	院外講師等	6件

(5) 特定行為研修修了者の活動実績(令和4年4月～令和5年3月実績)

1) 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連(2名)

役割機能・内容等		件数
実践	直接ケア	29件
	RRT・NSTチーム活動	70件
指導	院内研修、勉強会講師等	18件

(6) 患者サポートセンター担当看護師の活動実績(令和4年4月～令和5年3月実績)

役割機能・内容等		件数
実践	入院支援対応件数	11,784件
	周術期管理センター対応件数	2,101件
	入退院支援加算算定件数	8,689件
	入院時支援加算算定件数	4,435件
	介護支援連携指導料算定件数	92件
	退院時共同指導料算定件数	80件
	退院前、後訪問指導料算定件数	1件
指導	院内教育(指導・教育・研修活動)	1件
	院外教育(指導・教育・研修講師)	3件

2 教育・研修実績

(令和4年度)

院外教育機関・研修会・講習会名称	人数
BLS横浜	5
ECMOネット	1
ELNEC-J ELNEC-Jコアカリキュラム研修	11
市民総合医療センター リーダーシップ研修	5
一般社団法人日本母乳の会 第30回母乳育児シンポジウム	7
横浜ACLS	1
小児・AYA世代のがんの長期フォローアップ研修会	2
小児循環器看護師向けWeb学習プロジェクト主催 心臓病の子どもへの看護実践	1
日本臨床倫理学会 上級臨床倫理認定士コース	2
第36回神奈川ストーマリハビリテーション講習会	2
第37回神奈川ストーマリハビリテーション講習会	1
神奈川看護学会	2
神奈川県肝疾患コーディネーターフォローアップ研修会	1
総務局人事部人材開発課 新任係長研修	5
第12回日本リハビリテーション栄養学会 学術集会	1
第17回医療の質・安全学会 学術集会	1
第1回YCUx薬局がん患者のためのよろず相談室	1
第1回関東甲信越感染対策セミナー	1
第22回日本クリニカルパス学会 学術集会	4
第25回CRC養成フォローアップ研修会	1
第25回日本腎不全看護学会	2
第26回日本看護管理学会学術集会	2
第27回日本緩和医療学会学術集会	1
第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会	2
第2回HIV感染症患者のメンタルヘルスを考える看護職と心理職の協働シンポジウム	1
第2回NST専門療法士 受験必須セミナー	1
第30回日本心血管インターベンション治療学会学術集会	1
第31回日本新生児看護学会学術集会	1
第36回神奈川母性衛生学会	1
第36回日本エイズ学会学術集会	3
第37回日本がん看護学会学術集会	6
第37回日本臨床栄養代謝学会学術集会	1
第44回日本呼吸療法医学会学術集会	1
第44回日本造血・免疫細胞療法学会総会	1
第50回日本集中治療医学会学術集会	2
第59回日本リハビリテーション医学会学術集会	1
第60回日本医療・病院管理学会学術集会	1
第65回日本糖尿病学会学術集会	1
第88回日本消化器内視鏡技師学会	1
第89回日本消化器内視鏡技師学会	1
地域連携のための相互研修会	5
日本MIMMS委員会 J-HELP研修	1
日本家族看護学会 第29回学術集会	1
日本看護教育学会 第32回学術集会	1
日本緩和医療学会	2
日本救急医学関東地方学術集会	1

研 修 名 称		期 間	人 数
神	認知症高齢者の看護実践に必要な知識①	1日	4
	看護師職能委員会 I 研修会「今だから感情と看護を考えよう」	1日	1
	看護職員の賃金制度の抜本的見直しに関する勉強会①(看護管理者対象)	1日	5
	生殖・不妊治療	1日	1
	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修①	1日	1
	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修②	1日	1
	認知症高齢者の看護実践に必要な知識①	2日	14
	認知症高齢者の看護実践に必要な知識②	2日	18
	災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識～①	2日	8
	災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識～②	2日	14
奈	キャリア継続支援研修(ナースセンター)「キャリアをつなぐ、わたらしい生き方とは」	1日	3
	キャリア支援のためのクリニカルラダーの活用<神奈川県委託事業>	1日	1
川	その人らしさを支える高齢者看護	1日	1
	チームで取り組む倫理的課題と対応	1日	2
	チーム運営に必要なリーダーシップ①	1日	3
	チーム運営に必要なリーダーシップ②	1日	1
県	トピックス研修<JNA収録DVD研修>看護補助者の活用推進のための看護管理者研修1	1日	3
	トピックス研修<JNA収録DVD研修>看護補助者の活用推進のための看護管理者研修2	1日	3
	トピックス研修<JNA収録DVD研修>看護補助者の活用推進のための看護管理者研修3	1日	4
	フィジカルアセスメント(応用編)～病態を的確に捉えより良いケアを実践するために～①	1日	2
	ヘルシーワークプレイスを目指して「看護管理者がイキイキ働ける労務管理」	1日	1
	ヘルシーワークプレイスを目指して「働きやすい環境を作るために 管理者としてできること」	1日	4
看	やってみよう！看護研究 ～量的・質的研究のきほん～	2日	2
	よくわかる周術期管理 ～外科的治療を受ける患者を支える看護師の役割～	1日	1
	リスクセンスを高める(応用編)～インシデント分析から安全対策の提案まで～	1日	2
護	リンクナースのための感染管理	1日	2
	横浜3支部合同研修会「大人の発達障害」～共に働く私たちにできること～	1日	2
	横浜北・西・南支部合同講演会「災害対策本部立ち上げから運用方法を学ぶ」～看護管理者ができること～	1日	18
	感染リンクナースのための感染管理②	2日	2
	看護と倫理(応用編)～医療チームで取り組む倫理的課題へのアプローチ～	1日	1
協	看護に必要なコミュニケーション	1日	1
	看護の日常にある倫理を考えよう①	1日	1
	看護学生とともに育つ臨地実習指導	1日	2
会	看護師職能 I 集会・講演会 「幸せに働くコソ～幸福学の観点から～」	1日	1
	看護師職能 II 集会・講演会 「事例から見る地域看護領域におけるリスク管理～職場内でのカスタマー・ハラスメント対策～」	1日	2
	看護職員の賃金制度の 抜本的見直しに関する勉強会 ②(看護管理者対象)	1日	4
	教育担当者研修 II ～院内の教育を考えよう！教育プログラムの立案・運営・評価～<神奈川県委託事業>	2日	4
	高齢者支援と認知症患者の看護①	2日	8
	高齢者支援と認知症患者の看護②	1日	6
	災害看護実務編～被災地で活動する災害支援ナース育成研修～①	1日	6
	災害看護実務編～被災地で活動する災害支援ナース育成研修～②	1日	2
	災害支援ナースフォローアップ研修	1日	2
	在宅療養に向けた看護～訪問看護との連携～	1日	2

研 修 名 称		期 間	人 数
神 奈 川 県 看 護 協 会	事例から学ぼう褥瘡ケアの実際①	1日	1
	実地指導者研修Ⅲ～教育に活かそう！コーチング～＜神奈川県委託事業＞	1日	1
	主任看護師が取り組む問題解決①	1日	1
	主任看護師が取り組む問題解決②	1日	2
	主任看護師に必要なマネジメントの基礎知識①	2日	2
	主任看護師に必要なマネジメントの基礎知識②	2日	2
	川崎支部研修「看取りにおける多職種連携について～医師の立場より～」	1日	1
	相手とわたしのためのアンガーマネジメント①	1日	2
	第16回認定看護管理者教育課程セカンドレベル修了者交流研修	1日	1
	第24回神奈川看護学会 演題登録	1日	1
	第24回神奈川看護学会 参加申込《個人申込》	1日	1
	地域包括ケアシステムにおける多施設・多職種との連携	1日	1
	地域包括ケアシステムにつなげる入退院支援①	1日	1
	地域包括ケアシステムにつなげる入退院支援②	1日	5
	地域連携のための相互研修会第1回	1日	2
	地域連携のための相互研修会第2回	1日	2
	地域連携のための相互研修会第3回	1日	4
	中堅看護師支援研修～イキイキと働き続けるために～②	1日	1
	保健師職能委員会・看護師職能委員会Ⅰ・看護師職能委員会Ⅱ合同研修会～それぞれの立場から患者に寄り添うACPを考える～	1日	6
	保健師職能委員会・講演会「エンアグラムを学ぶ～個々の特性をいかしたマネジメントから職場を変える～」	1日	1
	訪問看護入門研修第2回	2日	4
	訪問看護入門研修第3回	2日	2
	訪問看護入門研修第4回	2日	2
	令和4(2022)年医療安全講演会	1日	1
	令和4(2022)年度医療安全管理者養成研修	-	6
	令和4(2022)年度災害支援ナースフォローアップ研修①	1日	4
	令和4年度看護管理者のための感染予防・管理研修	1日	1
	令和4年度災害看護実務編～被災地で活動する災害支援ナース育成研修～①	2日	2
	令和4年度災害看護実務編～被災地で活動する災害支援ナース育成研修～②	2日	4
	令和4年度災害看護実務編～被災地で活動する災害支援ナース育成研修～③	2日	4
	令和4年度災害看護マネジメント研修～災害に強い組織づくり～	1日	8

3 実習受け入れ実績

(1)看護基礎教育

(令和4年度)

教育機関	人数	延べ人数
横浜市立大学医学部看護学科	411人	2,418人
横浜市医師会聖灯看護専門学校	32人	94人
神奈川歯科大学短期大学部看護学科	50人	359人
神奈川県立衛生看護専門学校	71人	775人
横浜市病院協会看護専門学校	14人	140人
JCHO横浜中央病院附属看護専門学校	16人	160人
合計	594人	3,946人

(2)人事交流実績

派遣・受け入れ	内容	期間	人数	実習・研修場所担当者
市民総合医療センターへ派遣	附属2病院人事交流	R4.9/1～R5.2/28	1名	GICU
			1名	NICU
			1名	7-2病棟
			1名	9-2病棟
			1名	11-2病棟
			1名	13-1病棟
			1名	手術室
附属病院へ受け入れ	附属2病院人事交流	R4.9/1～R5.2/28	1名	6-1病棟
			1名	NICU
			1名	6-2病棟
			1名	6-4病棟
			1名	7-4病棟
			1名	ICU
			1名	手術室

派遣	内容	期間	人数	実習・研修場所担当者
横浜市立大学医学部看護学科	横浜市立大学医学部看護学科 老年看護学分野助教	R4.4/1～R5.3/31	1名	横浜市立大学医学部 看護学科 老年看護学分野
洋光台訪問看護ステーション	横浜市立大学附属病院と看護協会訪問看護ステーションとの出向事業	R5.1/4～R5.2/28	1名	横浜市立大学附属病院看護部 看護協会 訪問看護ステーション

(3)その他

教育機関	実習生・研修生所属	日程・期間	人数	実習・研修場所担当者
横浜市立大学医学部看護学科	基礎看護学領域教員実習	6/14	1名	8-4病棟
	母性看護学領域教員実習	6/22	1名	6-2病棟・外来
茅ヶ崎セントラルクリニック、東京労災病院	透析療法従事職員研修	9/14	2名	血液浄化センター
公益社団法人神奈川県看護協会	地域連携のための相互研修会の実習	R5.1/31、2/9	2名	患者サポートセンター
国際医療福祉大学生涯学習センター	認定看護管理者教育課程サードレベル研修	11/11	1名	看護部
横浜市立大学看護キャリア開発支援センター	特定行為研修実習	R4.4/1～R5.3/31	3名	関連部署

4 院内研究発表

基礎・実践別	部署	研究メンバー	テーマ
実践	6-3病棟・中央無菌室	渋谷 明代	訪問看護ステーション出向について
実践	9-3病棟	金子 智美	多職種協働について
実践	医療の質向上センター	齊藤 薫苗	横浜市立大学 医学研究科看護学専攻 老年看護学分野博士前期課修了
実践	ICU	梶原 沙央里	Tele-ICU活動報告
実践	ICU	加藤 耕平	RRT活動報告
基礎	手術室	鈴木 陽子	手術室看護師によるプレパレーションを受けて手術に臨んだ子どもの気持ちと対応
基礎	NICU	田中 涼子	NICU入院中の早産児に口腔内母乳塗布を実施した母親の思い
基礎	ICU	高橋 弥生	体外式VAD装着後、離脱に至った劇症型心筋炎の1症例
実践	8-4病棟	安川 奈緒美	心不全患者を支える仕組みづくり
実践	感染制御部	中村 加奈 川嶋 麻衣子 伊藤 智栄美	感染対策 ～予防と感染症発生時の対応～
基礎	化学療法センター	長田 智香 倉光 直美 菅野 和恵 椎名 友恵 泉 百合	外来化学療法センター看護師によるがん患者の問診に関する実践知
実践	6-2病棟	吉田 とも子	アドバンス助産師の働く環境をスタッフの視点から探る ～労働環境とアドバンス助産師認定制度の関連～
実践	ICU	井潟 歩	皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程を修了して
実践	看護部	斎藤 幸枝	ケアプロセスに繋がるがんスクリーニング

5 講師派遣等

	内 容	氏 名
横浜市立大学医学部看護学科	基礎看護学実習Ⅰ 学内実習:実習での学びに関する発表会への参加	浅沼 まいか 原 織音 藤間 真理愛 益田 ゆず香 三角 聖奈 金子 華己 岡泉 和樹 赤城 妙枝 村松 さやか 中嶋 楓 須田 正大
	成人看護演習Ⅰ術後1日目のフィジカルアセスメントに関する技術演習	益田 ゆず香 伊藤 ひとみ
	成人看護演習Ⅰ術後1日目の保清と離床の援助に関する技術演習	三角 聖奈 金子 華己
	成人看護演習Ⅱ 身体審査(呼吸・循環など)	石川 瑠那 原 織音 藤間 真理愛 岡泉 和樹 長谷川 千尋 伊藤 ひとみ 中沢 光 中嶋 楓 須田 正大
	周麻酔期看護学専門実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	手術室看護師長 我妻 恵
	看護栄養学(NSTとは)	摂食嚥下障害看護認定看護師 富井 ルミ
	看護形態機能学Ⅰ	化学療法認定看護師 加藤 亮子
	周麻酔期看護学演習Ⅰ・Ⅱ 課題研究	集中ケア認定看護師 立石 由紀子
	がん看護専門実習Ⅱ・Ⅲ	がん看護専門看護師 畑 千秋
	成人看護方法論Ⅰ 白血病患者のアセスメント・看護	副看護師長 林 美徳
	成人看護方法論Ⅰ 慢性腎不全患者のアセスメント・看護	透析看護認定看護師 岩崎 和子
	成人看護方法論Ⅰ 慢性心不全患者のアセスメント・看護	慢性心不全認定看護師 安川 奈緒美
	成人看護方法論Ⅰ 糖尿病患者のアセスメント・看護	糖尿病看護認定看護師 野見山 映子
成人看護方法論Ⅱ 開頭術を受ける患者の看護	松本 大	

	内 容	氏 名
横浜市立大学医学部看護学科	感染看護学演習Ⅲ	感染制御部 感染管理認定看護師 中村 加奈
	小児看護演習(子どもの看護技術)	伊藤 千尋
	小児看護学特講Ⅰ	家族支援専門看護師 森川 真理
	小児看護学演習Ⅱ	集中ケア認定看護師 立石 由紀子
	助産学演習Ⅳ・Ⅴ	看護師長 助産師 近藤 佳代子
	助産学実習Ⅰ	看護師長 助産師 近藤 佳代子
	助産学実習Ⅱ	看護師長 近藤 佳代子 看護師長 岸野 亜矢
	母性看護演習	看護師長 助産師 近藤 佳代子
	母性看護方法論 ハイリスク妊娠・異常妊娠時の看護	助産師 浅沼 まいか
	母性看護方法論 異常分娩・異常のある産婦への看護	助産師 溝口 祥子
	家族看護学(終末期にある患者とその家族への援助)	がん性疼痛看護認定看護師 齋藤 幸枝
	看護管理学	臨床教授 島田 朋子
	老年看護方法論	がん看護専門看護師 野崎 静代
	在宅看護方法論Ⅱ	萩下 絵里奈
	看護コンサルテーション論	家族支援専門看護師 森川 真理
	先端成人看護学特講Ⅰ 臨床看護実践に基づく理論①	家族支援専門看護師 森川 真理
	先端成人看護学特講Ⅱ 重症な疾患を有する患者への継続ケア	看護師長 立石 由佳
	先端成人看護学演習Ⅰ 先端成人看護に関する高度技術と実践:ICUにおける高度実践看護師の役割と実際	クリティカルケア認定看護師 吉田 友美
	先端成人看護学演習Ⅰ 先端成人看護に関する高度技術と実践:救急領域における高度実践看護師の役割と実際	クリティカルケア認定看護師 看護師長 三浦 友也

	内 容	氏 名
横浜市立大学医学部看護学科	先端成人看護学演習Ⅰ 先端成人看護に関する高度技術と実践:手術室における高度実践看護師の役割と実際	手術看護認定看護師 鈴木 陽子
	先端成人看護学演習Ⅰ 先端成人看護に関する高度技術と実践:緩和ケアにおける高度実践看護師の役割と実際	緩和ケアセンタージェネラルマネージャー、がん看護専門看護師 副看護部長 畑 千秋
	先端成人看護学演習Ⅰ 先端成人看護に関する高度技術と実践:嚥下ケアと気切・ろうにおける高度実践看護師の役割と実際	摂食嚥下ケア認定/特定行為看護師 富井 ルミ
	先端成人看護学演習Ⅰ 先端成人看護に関する高度技術と実践:慢性疾患看護における高度実践看護師の役割と実際	慢性疾患看護専門看護師 鈴木 姿子
	先端成人看護学演習Ⅰ 先端成人看護に関する高度技術と実践:慢性心不全看護における高度実践看護師の役割と実際	慢性心不全看護認定看護師 安川 奈緒美
	小児看護分野博士前期課程周術期の状況にある子どもと家族	集中ケア認定看護師 立石 由紀子
	母性看護学領域 母性看護学概論 母子支援の現状と課題	看護師長 助産師 井上 純子
	母性看護学領域 母性看護学演習 産褥・新生児の看護技術	
	母性看護学領域 母性看護学実習 病棟オリ・学内実習	
	母性看護学領域 母性看護学方法論 分娩期におけるアセスメントとケア	
	母性看護学領域 母性看護学方法論 病院における母性看護	
	母性看護学領域 母性看護学方法論 母性看護学における看護過程	
	助産学分野 助産学演習Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ事前課題への助言	
	助産学分野 助産学特講Ⅴ助産管理と関係法規	
	助産学分野 助産学特講Ⅴ病院における助産管理	
助産学分野 助産学演習Ⅵ産褥期・新生児期のアセスメントとケア		
助産学分野 助産学演習Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ助産技術演習		

	内 容	氏 名
横浜市立大学医学部看護学科	助産学分野 助産学実習Ⅰ・助産学実習Ⅱ 継続実習・分娩介助実習	看護師長 助産師 井上 純子
横浜市立大学附属市民総合医療センター	家族看護～患者家族を理解し支援につなげよう～	家族支援専門看護師 森川 真理
横浜市立大学保健師助産師看護師 実習指導者講習会	実習指導方法論・リフレクション	副看護部長 加藤 弘美 看護師長 西野 実和 看護師長 村野 裕子 看護師長 池田 鮎美 看護師長 川合 淑子 看護師長 三浦 友也 岡泉 和樹
	実習指導方法演習 実習指導の計画立案	小林 真梨 荒川 ゆかり 福田 理紗 素村 千尋 藏合 泰貴
神奈川県立衛生看護専門学校 統合実習	病棟実習講話	クリティカルケア認定看護師 看護師長 三浦 友也 慢性疾患看護専門看護師 鈴木 姿子
山梨県立大学	リエゾン精神看護	精神看護専門看護師・臨床准教授 渡邊 香織
独立行政法人地域医療機能推進機 横浜中央病院附属看護専門学校	小児看護学方法論Ⅱ 終末期にある小児の看護	石山 詩織
	災害看護	救急看護認定看護師 小川 みずき
一般社団法人日本母乳の会	第30回母乳育児シンポジウム実行委員	看護師長 岸野 亜矢
神奈川県立衛生看護専門学校	成人看護方法論Ⅳ 血液機能の障害	林 詩織
	成人看護方法論Ⅳ 女性生殖器 婦人科	石川 瑳那
	成人看護方法論Ⅰ 脳神経機能障害	副看護師長 高橋 優里
横浜市医師会聖灯看護専門学校	人間関係論Ⅱ	精神看護専門看護師・臨床准教授 渡邊 香織
	成人看護学Ⅲ	手術看護認定看護師 鈴木 陽子

	内 容	氏 名
横浜市医師会聖灯看護専門学校	成人看護学Ⅲ	放射線療法認定看護師 竹田 弘美
	災害看護	救急看護認定看護師 小川 みずき
横浜市病院協会看護専門学校	成人看護学Ⅱ手術を受ける対象の患者の看護	副看護師長 坂 正春
	統合科目Ⅳ看護管理	認定看護管理者 看護師長 土岐 真理子
神奈川県立よこはま看護専門学校	災害看護	クリティカルケア認定看護師 看護師長 三浦 友也
公益社団法人神奈川県看護協会	教育研修委員 チーム運営に必要なリーダーシップ①	副看護部長 川口 真澄
	教育研修委員 チームで働くために必要なコミュニケーション	副看護部長 川口 真澄
	教育研修会 よくわかる周術期管理～外科的治療を受ける患者を支える看護師の役割～	手術看護認定看護師 鈴木 陽子
	教育研修委員 フィジカルアセスメント応用編	副看護部長 川口 真澄
	教育研修会 慢性心不全患者の看護～疾患の理解からセルフケア支援まで～	慢性心不全看護認定看護師 安川 奈緒美
	研修支援事業「がんばれ！新人ナース！」講師	精神看護専門看護師・臨床准教授 渡邊 香織
	看護管理者の育成、マネジメント強化事業	精神看護専門看護師・臨床准教授 渡邊 香織
	日々の思いを語り合おう～明日からの自分のために～研修講師	精神看護専門看護師・臨床准教授 渡邊 香織
	令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応看護職員養成研修インストラクター	感染管理認定看護師・看護師長 中村 加奈
	令和4年度「スキルアップ研修」(新型コロナウイルス感染症対応潜在看護職研修事業)講師	感染管理認定看護師・看護師長 中村 加奈
	令和4年度認定看護管理者教育課程セカンドレベルヘルスケアシステム論Ⅱ講師	認定看護管理者・副看護部長 山岡 貴子
教育研修会 摂食嚥下障害のある患者の看護	摂食嚥下障害看護認定看護師 臨床講師 富井 ルミ	

	内 容	氏 名
公益社団法人神奈川県看護協会	横浜南支部「嚥下機能を知ろう」	摂食嚥下障害看護認定看護師 臨床講師 富井 ルミ
	教育研修会「家族看護～患者・家族を理解し支援するために～」	家族支援専門看護師・臨床准教授 森川 真理
神奈川県医師会在宅支援センター	フィジカルアセスメント研修講師	集中ケア認定看護師 飯田 八重子
	「採血と血管確保技術」「筋肉注射・皮下注射と血管確保技術」研修講師	特定行為研修修了看護師 加藤 耕平 長谷川 千尋 高橋 彩香 石橋 尚子
	「看護師のためのフィジカルアセスメント」講師	集中ケア認定看護師 飯田 八重子
NTT東日本関東病院	クリニカルラダーⅢ研修・がん看護コース 第3回「家族ケア」	家族支援専門看護師・臨床准教授 森川 真理
厚生労働省「造血幹細胞移植体制整備事業」東海大学医学部付属病院	HCTC分科会セミナー ファシリテーター・講師	秋山 典子
神奈川ストーマ研究会	第36・37回神奈川ストーマリハビリテーション講習会講師	皮膚排泄ケア認定看護師 後藤 真由美
株式会社スヴェンソン レディス事業部	第1回 YCU×薬局 がん患者のためのよろず相談室講師	がん性疼痛看護認定看護師 齋藤 幸枝
第24回日本救急看護学会学術集会	実行委員ワーキンググループメンバー	救急看護認定看護師 小川 みずき
神奈川県がん診療連携協議会 相談支援部会	2022年度第1・2回 教育企画ワーキング会議	がん領域総括看護師長 緩和ケアセンタージェネラルマネジャー、がん看護専門看護師 臨床教授 畑 千秋 がん性疼痛看護認定看護師 齋藤 幸枝
大学病院の緩和ケアを考える会	第28回大学病院の緩和ケアを考える会 総会・研究会 シンポジウム座長	がん領域総括看護師長 緩和ケアセンタージェネラルマネジャー、がん看護専門看護師 臨床教授 畑 千秋
一般社団法人横浜市栄区医師会	訪問看護研修事業講師	家族支援専門看護師・臨床准教授 森川 真理
第25回日本腎不全看護学会学術集会	ACP・エンドオブライフケア座長	透析看護認定看護師 岩崎 和子
横浜市医療局	心臓リハビリテーション事業に係るスポーツ施設訪問への派遣	慢性心不全看護認定看護師 安川 奈緒美 黒木 絵里加

	内 容	氏 名
横浜市医療局	横浜市乳がん連携病院ワーキンググループ	乳がん看護認定看護師 蜂巢 志乃
日医工株式会社	第28回 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 学術集会 スポンサーセミナー「摂食嚥下支援チームと薬剤師の連携」	摂食嚥下ケア認定/特定行為看護師 富井 ルミ
第67回日本透析医学会学術集会・総会	第67回日本透析医学会学術集会・総会座長	透析看護認定看護師 岩崎 和子
公益社団法人神奈川県放射線技師会	造影剤を使用した検査やRI検査のために静脈路を確保する行為研修講師	榎倉 朋美 がん看護専門看護師 野崎 静代
横浜市立大学看護キャリア開発支援センター	特定行為研修共通科目講師	がん領域総括看護師長 緩和ケアセンタージェネラルマネジャー、がん看護専門看護師 臨床教授 畑 千秋 副看護部長・臨床教授 島田 朋子 副看護部長 田中 淳子 副看護部長 加藤 弘美 横浜市立大学医学部看護学科 老年看護学助教 老人看護専門看護師 田中 明日美 摂食嚥下障害看護認定看護師 臨床講師 富井 ルミ クリティカルケア認定看護師 吉田 友美 特定行為研修修了看護師 今井 実
	特定行為研修共通科目臨地実習指導者	摂食嚥下障害看護認定看護師 臨床講師 富井 ルミ クリティカルケア認定看護師 吉田 友美 クリティカルケア認定看護師 看護師長 三浦 友也 特定行為研修修了看護師 今井 実 特定行為研修修了看護師 加藤 耕平
	特定行為研修区分別科目実習指導者	摂食嚥下障害看護認定看護師 臨床講師 富井 ルミ クリティカルケア認定看護師 吉田 友美 集中ケア認定看護師 立石 由紀子 特定行為研修修了看護師 今井 実 特定行為研修修了看護師 加藤 耕平 特定行為研修修了看護師 藪内 崇 特定行為研修修了看護師 中園 直美

	内 容	氏 名
国立障害者リハビリテーションセンター学院	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師教育課程「脳卒中急性期重篤化回避の支援技術」講師	脳卒中リハビリテーション認定看護師 藤田 純
第16回日本慢性看護学会学術集会	第16回日本慢性看護学会学術集会実行委員	慢性疾患看護専門看護師 鈴木 姿子
第26回日本糖尿病教育・看護学会学術集会	実行委員、座長	糖尿病看護認定看護師 野見山 映子
一般社団法人横浜ACLS	心肺蘇生講習会講師	救急看護認定看護師 小川 みずき
株式会社ユーコム	どこよりも早く乳がんの名医から学べるオンラインセミナー講師	乳がん看護認定看護師 蜂巢 志乃
横浜市医療局	Patient Navigator養成講座 フォローアップ研修 ファシリテーター	乳がん看護認定看護師 蜂巢 志乃

38 MEセンター

1 臨床業務

(令和4年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
血液浄化	持続緩徐式的血液浄化療法	19	16	4	18	21	26	11	20	35	17	16	34	237
	血液透析 (HD)	28	12	22	38	57	38	28	30	41	28	26	39	387
	血液濾過透析 (HDF)	11	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	5	18
	血漿交換療法	12	11	2	5	13	7	5	19	8	3	5	12	102
	血液吸着 (HA)	0	0	0	0	0	1	0	4	5	0	4	9	23
	腹水濾過濃縮再静注 (CART)	0	1	3	2	4	1	1	0	2	1	2	3	20
小計		70	40	33	63	95	73	45	73	91	49	53	102	787
人工心肺	人工心肺手術	12	10	11	12	8	7	5	11	9	11	14	12	122
小計		12	10	11	12	8	7	5	11	9	11	14	12	122
補助循環	経皮の人工心肺(ECMO)	0	1	1	6	0	1	1	5	2	0	2	0	19
	大動脈内バルーンポンピング(IABP)	0	1	0	1	1	1	0	0	1	0	1	1	7
	ポンプカテーテル(IMPELLA)	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	3
	肝補助循環	1	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	5
	他	0	4	1	18	3	0	1	11	4	0	0	0	42
小計		1	6	2	25	4	3	4	16	8	2	3	2	76
呼吸療法	呼吸器装着立会いおよび回路交換	1	1	0	1	3	2	4	4	8	3	5	1	33
	人工呼吸器ラウンド	88	106	56	89	127	109	124	122	107	120	123	137	1,308
	NO(一酸化窒素)装置セットアップ	3	3	2	3	2	2	1	3	1	1	3	1	25
	他	10	3	0	7	1	0	0	4	2	0	2	0	29
小計		102	113	58	100	133	113	129	133	118	124	133	139	1,395
その他	自己血回収装置操作	13	16	16	18	14	12	7	12	12	14	13	12	159
	幹細胞採取(含:幹細胞濃縮)	4	3	2	2	3	8	7	5	4	2	6	1	47
	血流測定	5	12	6	5	8	2	6	8	4	2	2	2	62
	人工臓器セットアップ	1	0	0	1	3	3	5	4	3	4	2	0	26
	カテーテル・アブレーション	8	8	11	9	7	14	12	6	11	17	9	13	125
	PCI治療補助	2	0	0	2	2	2	1	0	4	1	0	0	14
	ペースメーカー対応	464	429	451	467	507	445	489	529	492	508	498	473	5,752
	手術支援ロボット業務(da Vinci)	30	35	43	31	42	35	35	36	37	42	42	48	456
小計		527	503	529	535	586	521	562	600	567	590	572	549	6,641
合計		712	672	633	735	826	717	745	833	793	776	775	804	9,021

2 機器貸出状況

(令和4年度)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4,293	3,608	3,818	3,794	4,013	3,875	3,761	3,975	3,976	4,006	3,706	4,171	46,996

3 機器点検業務

(令和4年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
院内点検	3,814	3,622	3,742	3,612	3,959	3,720	3,721	3,833	4,041	3,778	3,598	4,080	45,520
メーカー点検	1	0	5	45	8	19	8	24	10	0	2	2	124
合計	3,815	3,622	3,747	3,657	3,967	3,739	3,729	3,857	4,051	3,778	3,600	4,082	45,644

4 機器修理業務

(令和4年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
院内点検	3	4	7	10	2	9	6	5	4	10	3	5	68
メーカー点検	1	5	3	6	6	9	14	6	4	5	1	1	61
合計	4	9	10	16	8	18	20	11	8	15	4	6	129

5 実習・見学受け入れ実績

(令和4年度)

区 分	人 数	延 べ 人 数
臨床工学技士養成校学生臨床実習	9人	285人
他病院職員症例見学	121人	121人

6 講師派遣等

(令和4年度)

施 設 名	人 数	延 べ 人 数
東京工科大学	1人	8人
読売理工医療福祉専門学校	1人	1人
横浜市立大学医学部看護学科	1人	1人

7 ベッドセンター業務

(令和4年度)

ベッド業務	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
洗 浄	223	251	303	244	301	280	253	229	335	270	263	263	3,215
清 拭	24	19	14	22	34	26	16	22	30	15	19	36	277
合計	247	270	317	266	335	306	269	251	365	285	282	299	3,492

保育器清拭	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
閉鎖式	8	12	7	7	4	11	12	7	4	10	6	1	89
開放式	6	7	5	7	4	3	5	6	3	5	1	4	56
合計	14	19	12	14	8	14	17	13	7	15	7	5	145

その他	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
修理受付	90	118	87	88	72	100	102	85	83	77	78	93	1,073

39 業 務 目 録

1 著 書

	著 書 名	発表者名	出版社名	発表年月
臨床検査部	Medical Technology 第51巻 第3号 ここまでの血栓止血検査の標準化 2.標準化の現状 6)FDP, Dダイマー	矢島 智志	医歯薬出版	2023.3
薬 剂 部	JOHNS 38 (9) 薬にまつわる疑問に答える	川邊 一寛、 畠山 成寛、 志村 明日香、 服部 有希、 佐橋 幸子	東京医学社	2022.9
	患者に合わせた処方意図がわかる！ 同効薬・類似薬のトリセツ	稲森 正彦、 日下部 明彦、 小池 博文ほか	メジカルビュー社	2023.3
M E セ ン タ ー	腎と透析92巻増刊号2022 腎代替療法のすべて	今成 秀則	東京医学社	2022.6
輸 治 血 療 ・ 部 細 胞	医学のあゆみ	柴 徳生	医歯薬出版株式会社	2022.11
リ シ ハ ヨ ビ ン リ 部 テ ー	総合リハビリテーション第50巻 第10号 私の3冊	佐伯 拓也	医学書院	2022.10
看 護 部	月間「看護管理」次世代を担う看護管理者育成:マネジメントリーダーを基盤とした研修にコンピテンシーモデルを活用した看護管理者研修	田中 淳子	株式会社医学書院	2022.4
	National Expert Web Symposium 記録集	斉藤 小和	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	2022
	整形外科看護 「みんなの整形外科看護」	春田 典久、 益田 ゆず香	メディカ出版	2023.3
	「JOHNS」38巻12号 チームで支える頭頸部 癌診療	宮下 陽子、 石井 美紀	株式会社東京医学社	2022.12
病 理 診 断 科	【食道ESD癒痕近傍病変の診断と治療】食道ESDによる癒痕近傍の表在性扁平上皮癌の病理組織像	藤井 誠志、 門田 智裕、 稲場 淳、 渡邊 崇、 山下 大生、 矢野 友規	胃と腸 58巻3号 Page267-273 医学書院	2023.3

	著 書 名	発表者名	出版社名	発表年月
病 理 診 断 科	今月の話題 病理学的解析	藤井 誠志	病理と臨床 41巻3号 Page 329-334 文光堂	2023.3
	骨巨細胞腫の病理	加藤 生真、 伊藤 絢子、 川端 佑介、 竹山 昌伸、 藤井 誠志	診断病理 39巻3号 Page 183-193 日本病理学会	2022.7
	【臨床実装が進む次世代がんバイオマーカー 新規の検出技術、AIが加速するリキッドバイオプシーとその先の診断モダリティ】(第5章)機械学習が拓くバイオマーカー開発 Virtual Sequencing 病理学とAIの協働	藤井 誠志	実験医学 40;10;1652-1657 羊土社	2022.6
	【PD-L1検査と免疫チェックポイント治療のバイオマーカー】頭頸部癌・食道癌におけるPD-L1検査	藤井 誠志、 榎田 智弘、 小島 隆嗣	病理と臨床 40巻6号 Page 557-564 文光堂	2022.6
	特集 知っておきたい病理の知識 頭頸部表在癌の病理	藤井 誠志	耳鼻咽喉科 Page597-606 科学評論社	2022.5
	【食道上皮内腫瘍の診断と取り扱い】食道上皮内腫瘍とsquamous dysplasia (WHO分類)との関連性	藤井 誠志	胃と腸 57巻3号 Page251-261 医学書院	2022.3
	【口腔癌update】口腔癌のバイオマーカーと分子病理診断	藤井 誠志	病理と臨床 40巻1号 Page49-56 文光堂	2022.1

2 論 文

	題 名	発表者名	掲 載 誌 名	発表年月
臨 床 検 査 部	Direct Comparison of US and MR Elastography for Staging Liver Fibrosis in Patients With Nonalcoholic Fatty Liver Disease.	K. Imajo, Y. Honda, T. Kobayashi, K. Nagai, A. Ozaki, M. Iwaki, T. Kessoku, Y. Ogawa, H. Takahashi, Y. Saigusa, M. Yoneda, H. Kirikoshi, D. Utsunomiya, S. Aishima, S. Saito, A. Nakajima	Clin Gastroenterol Hepatol	2022.4
	Combination of tofogliflozin and pioglitazone for NAFLD: Extension to the ToPiND randomized controlled trial.	M. Yoneda, T. Kobayashi, Y. Honda, Y. Ogawa, T. Kessoku, K. Imajo, A. Nogami, M. Taguri, H. Kirikoshi, S. Saito, A. Nakajima	Hepatol Commun	2022.9
	Diagnostic comparison of vibration-controlled transient elastography and MRI techniques in overweight and obese patients with NAFLD.	A. Nogami, M. Yoneda, M. Iwaki, T. Kobayashi, T. Kessoku, Y. Honda, Y. Ogawa, K. Imajo, T. Higurashi, K. Hosono, H. Kirikoshi, S. Saito, A. Nakajima	Sci Rep	2022.12
	Real-world assessment of SmartExam, a novel FibroScan computational method: A retrospective single-center cohort study.	A. Nogami, M. Iwaki, T. Kobayashi, Y. Honda, Y. Ogawa, K. Imajo, T. Higurashi, K. Hosono, H. Kirikoshi, S. Saito, A. Nakajima, M. Yoneda	J Gastroenterol Hepatol	2023.2

	題 名	発表者名	掲 載 誌 名	発表年月
臨 床 検 査 部	Differences in autonomic nervous system activity between long-acting injectable aripiprazole and oral aripiprazole in schizophrenia.	S. Hattori, A. Suda, I. Kishida, M. Miyauchi, Y. Shiraishi, N. Noguchi, T. Furuno, T. Asami, M. Fujibayashi, N. Tsujita, C. Ishii, N. Ishii, T. Saeki, T. Fukushima, T. Moritani, Y. Saigusa, A. Hishimoto	BMC Psychiatry	2023.3
	横浜市立大学附属病院における過去18年間の分離菌の抗菌薬感受性検討	住友 みどり、 山崎 悦子、 友山 瑛人、 佐野 加代子、 松永 智、 佐藤 泰之、 川崎 理加、 満田 年宏、 金子 猛	横浜医学	2022.12
	AYA世代の急性リンパ性白血病の治療戦略	山崎 悦子	臨床血液	2022.7
	骨髄検査でのhematogoneの検出	山崎 悦子	臨床検査	2022.10
	CoV-2感染患者における3種類の抗体試薬の検討とその経時的変化についての評価 '71(3):523-527	東 真理子	医学検査	2022.7
薬剤部	薬剤師の専従化による抗菌薬適正使用支援チーム(AST)の活動実績と臨床医の受け入れ率の変化	西垣 哲太、 加藤 英明、 鈴木 智代 ^{ほか}	感染症学雑誌	2022.7
放 射 線 部	CL2画像診断領域	陣野 豊	日本放射線技師会HP	2022.4
	ひと手間で診断に差がつくリンパ管シンチグラフィ	尾川 松義	映像情報Web Mail	2023.3
	リンパ管シンチグラフィにおける描出能の比較	加藤 一樹	映像情報Web Mail	2023.3
テリ ン1ハ 部シビ ヨリ	特発性に右中指伸筋腱断裂を呈し全身性エリテマトーデス症例に対する作業療法	稲田 雅也	機関紙「作業療法」41巻第1号	2022.1
看護部	The psychological distress and suicide-related ideation in hospital workers during the COVID-19 pandemic: Second results from repeated cross-sectional surveys	渡邊 香織、 島田 朋子 (共同執筆)	PLOS ONE	2022.10

	題 名	発表者名	掲 載 誌 名	発表年月
血 液 浄 化 セ ン タ ー	Comparison of effects of SGLT-2 inhibitors and GLP-1 receptor agonists on cardiovascular and renal outcomes in type 2 diabetes mellitus patients with/without albuminuria: A systematic review and network meta-analysis.	Y. Kawai, K. Uneda, T. Yamada, S. Kinguchi, K. Kobayashi, K. Azushima, T. Kanaoka, Y. Toya, H. Wakui, K. Tamura	Diabetes Res Clin Pract ;183	2022.1
	Clinical significance of a novel reticulocyte-based erythropoietin resistance index in HD patients: A retrospective study.	E. Ueda, T. Fujikawa, Y. Toya, T. Kuji, M. Shino, Y. Kawai, T. Kawano, K. Azushima, H. Wakui, K. Tamura	Ther Apher Dial ;26(5)	2022.10
	SARS-CoV-2 spike protein antibody titers 6 months after SARS-CoV-2 mRNA vaccination among patients undergoing hemodialysis in Japan.	D. Kanai, H. Wakui, T. Azushima, S. Kinguchi, S. Tsukamoto, T. Kanaoka, Y. Toya, N. Hirawa, H. Kato, F. Watanabe, K. Tamura	Clin Exp Nephrol;26(10)	2022.10
病 理 診 断 科	The implicated clinical factors for outcomes in 304 patients with salivary duct carcinoma: Multi-institutional retrospective analysis in Japan.	K. Kusafuka, Y. Sato, E. Nakatani, S. Baba, M. Maeda, K. Yamanegi, K. Ueda, H. Inagaki, Y. Otsuki, N. Kuroda, K. Suzuki, H. Iwai, Y. Imamura, J. Itakura, S. Yamanaka, H. Takahashi, I. Ito, T. Akashi, T. Daa, M. Hamada, M. Yasuda, R. Kawata, H. Yamamoto, Y. Tachibana, J. Fukuoka, A. Muramatsu, K. Arai, M. Suzuki.	Head Neck. 44:1430-1441	2022.6

	題 名	発表者名	掲 載 誌 名	発表年月
病 理 診 断 科	Regulation of MEK inhibitor selumetinib sensitivity by AKT phosphorylation in the novel BRAF L525R mutant.	C. Nakai, S. Mimaki, K. Matsushima, E. Shinozaki, K. Yamazaki, K. Muro, K. Yamaguchi, T. Nishina, S. Yuki, K. Shitara, H. Bando, Y. Suzuki, K. Akagi, S. Nomura, S. Fujii, M. Sugiyama, N. Nishida, M. Mizokami, Y. Koh, T. Koshizaka, H. Okada, Y. Abe, A. Ohtsu, T. Yoshino, K. Tsuchihara	Int J Clin Oncol. 2023;28:654-663	2023.3
	Establishment of experimental salivary gland cancer models using organoid culture and patient-derived xenografting.	Y. Aizawa, K. Takada, J. Aoyama, D. Sano, S. Yamanaka, M. Seki, Y. Kuze, JA. Ramilowski, R. Okuda, Y. Ueno, Y. Nojima, Y. Inayama, H. Hatakeyama, T. Hatano, H. Takahashi, G. Nishimura, S. Fujii, Y. Suzuki, H. Taniguchi, N. Oridate	Cell Oncol (Dordr). 2022 Dec 20. doi: 10.1007/s13402-022-00758-6. Online ahead of print.	2022.12
	Rhabdomyosarcoma With FUS::TFCP2 Fusion in the Scalp: A Rare Case Report Depicting Round and Spindle cell Morphology.	T. Ishiyama, I. Kato, J. Ito, M. Matsumura, K. Saito, Y. Kawabata, S. Kato, M. Takeyama, S. Fujii	Int J Surg Pathol. 2022 Nov 27:10668969221137517. doi: 10.1177/10668969221137517. Online ahead of print.	2022.11
	Outcomes of neoadjuvant gemcitabine plus S-1 and radiation therapy for borderline resectable pancreatic cancer.	Y. Yabushita, R. Matsuyama, K. Miyake, Y. Homma, T. Kumamoto, T. Misumi, M. Hata, S. Yamanaka, S. Fujii, I. Endo	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2022 Sep 30. doi: 10.1002/jhbp.1245. Online ahead of print.	2022.9

	題名	発表者名	掲載誌名	発表年月
病 理 診 断 科	Single-cell transcriptomes underscore genetically distinct tumor characteristics and microenvironment for hereditary kidney cancers.	R. Jikuya, K. Murakami, A. Nishiyama, I. Kato, M. Furuya, J. Nakabayashi, JA. Ramilowski, H. Hamanoue, K. Maejima, M. Fujita, T. Mitome, S. Ohtake, G. Noguchi, S. Kawaura, H. Odaka, T. Kawahara, M. Komeya, R. Shinoki, D. Ueno, H. Ito, Y. Ito, K. Muraoka, N. Hayashi, K. Kondo, N. Nakaigawa, K. Hatano, M. Baba, T. Suda, T. Kodama, S. Fujii, K. Makiyama, M. Yao, BM. Shuch, LS. Schmidt, WM. Linehan, H. Nakagawa, T. Tamura, H. Hasumi	iScience. 2022;25:104463.	2022.6
	Giant Cell Tumor of Bone Without Giant Cells with a Long Clinical Course: A Case Report.	H. Takase, I. Kato, J. Ito, Y. Kawabata, T. Okabe, M. Takeyama, S. Fujii	Int J Surg Pathol. 2022;10668969221098090.	2022.3
	Recurrent metastasis risk factors in esophageal cancer post salvage endoscopic resection for local failure following chemoradiotherapy.	H. Yamashita, K. Nakajo, K. Takashima, T. Murano, T. Kadota, K. Sinmura, Y. Yoda, H. Ikematsu, S. Fujii, T. Yano	Dig Endosc. 2022;34:1356-1369.	2022.6

	題 名	発表者名	掲 載 誌 名	発表年月
病 理 診 断 科	Rapid screening using pathomorphological interpretation to detect BRAFV600E mutation and microsatellite instability in colorectal cancer.	S. Fujii, D. Kotani, M. Hattori, M. Nishihara, T. Shikanai, J. Hashimoto, Y. Hama, T. Nishino, M. Suzuki, A. Yoshidumi, M. Ueno, Y. Komatsu, T. Masuishi, H. Hara, T. Esaki, Y. Nakamura, H. Bando, T. Yamada, T. Yoshino	Clin Cancer Res. 2022;28:2623-2632.	2022.6
	Immunohistochemical markers to diagnose primary squamous cell carcinoma of the lung: a meta-analysis of diagnostic test accuracy.	H. Chen, S. Katakura, N. Horita, H. Namkoong, I. Kato, Y. Hara, N. Kobayashi, S. Fujii, T. Kaneko	Ther Adv Med Oncol. 2022 Feb 2;14:17588359211065152.	2022.2
	Is elective neck dissection necessary for patients with cT3-4N0 parotid gland cancer?	M. Adachi, T. Tomioka, S. Fujii, Y. Morishita, W. Okano, T. Shinozaki, K. Matsuura, R. Hayashi	Auris Nasus Larynx. 2022;49:856-861.	2022.3
	Relevance of pharmacogenetic polymorphisms with response to docetaxel, cisplatin, and 5-fluorouracil chemotherapy in esophageal cancer.	H. Nomura, D. Tsuji, S. Ueno, T. Kojima, S. Fujii, T. Yano, H. Daiko, K. Demachi, K. Itoh, T. Kawasaki	Invest New Drugs. 2022;40:420-429.	2022.4
	Long-term clinical outcome after endoscopic resection of esophageal squamous cell carcinoma invading the muscularis mucosae without lymphovascular invasion.	D. Sato, T. Kadota, A. Inaba, K. Nishihara, K. Takashima, K. Nakajo, K. Sawada, D. Kotani, H. Fujiwara, Y. Yoda, T. Kojima, T. Fujita, S. Fujii, T. Yano	Gastrointest Endosc. 2022;95:634-641.e3.	2022.4

	題 名	発表者名	掲 載 誌 名	発表年月
病 理 診 断 科	HSP90 Inhibition Overcomes Resistance to Molecular Targeted Therapy in BRAFV600E-mutant High-grade Glioma.	J. Sasame, N. Ikegaya, M. Kawazu, M. Natsumeda, T. Hayashi, M. Isoda, K. Satomi, A. Tomiyama, A. Oshima, H. Honma, Y. Miyake, K. Takabayashi, T. Nakamura, T. Ueno, Y. Matsushita, H. Iwashita, Y. Kanemaru, H. Murata, A. Ryo, K. Terashima, S. Yamanaka, Y. Fujii, H. Mano, T. Komori, K. Ichimura, DP. Cahill, H. Wakimoto, T. Yamamoto, K. Tateishi	Clin Cancer Res. 28:2425-2439	2022.6
	MRI-Based Quantitative R2* Mapping at 3 Tesla Reflects Hepatic Iron Overload and Pathogenesis in Nonalcoholic Fatty Liver Disease Patients.	K. Imajo, T. Kessoku, Y. Honda, S. Hasegawa, W. Tomeno, Y. Ogawa, U. Motosugi, Y. Saigusa, M. Yoneda, H. Kirikoshi, S. Yamanaka, D. Utsunomiya, S. Saito, A. Nakajima	Magn Reson Imaging. 55:111-125	2022.1
	Clinicopathological features of endoscopically treated early gastric cancer with lymphovascular infiltration.	K. Takano, K. Ashikari, S. Tamura, N. Misawa, T. Takatsu, T. Yoshihara, T. Nonaka, J. Arimoto, A. Sakamoto, H. Chiba, S. Fujii, A. Nakajima, T. Higurashi	J Cancer Res Clin Oncol. 2022 Dec 30. doi: 10.1007/s00432-022-04536-7.	2022.12

3 学会・研究会

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
臨 床 検 査 部	Board Certified ‘Hematologist’ & ‘Clinical laboratory physicians’ : Double jobbing ~ Flow with the tide.	E. Yamazaki	第84回日本血液学会学術集会シンポジウム(招聘講演)	2022.10
	Smart Depths Vibration Controlled Transient Elastographyによる肝硬度測定の検討	野上 麻子、 米田 正人、 岩城 慶大、 小林 貴、 本多 靖、 結束 貴臣、 桐越 博之、 斉藤 聡、 中島 淳	第95回日本超音波医学会学術集会シンポジウム	2022.5
	IVIGとリツキシマブ併用療法で改善した濾胞性リンパ腫に伴う腫瘍随伴性天疱瘡の一例	荒川 遥、 王 華帆、 富樫 結、 遠藤 恵、 高橋 沙希、 川崎 理加、 石井 文人、 古賀 浩嗣、 松倉 節子	第121回日本皮膚科学会総会	2022.6
	病理診断でstem progenitor cell featuresを認めた混合型肝癌の一例	清宮 絵里、 野上 麻子、 緒方 智樹、 城野 紡、 岩城 慶大、 小林 貴、 米田 正人、 斉藤 聡、 中島 淳、 石橋 貴博、 松村 舞依、 藤井 誠志、 桐越 博之	日本消化器病学会関東支部第370回例会	2022.7
	常在菌とまれな菌の感染原因菌検索のための臨床検査技師の役割	友山 瑛人、 崔 賢民、 稲葉 裕、 山崎 悦子	第45回日本骨・関節感染症学会	2022.7
	体腔液に関するアンケート調査結果報告(神奈川県精度管理調査より)	仲田 真弓、 多田 慶子、 井畑 絵里、 佐藤 祐一、 矢島 智志、 山崎 悦子	第23回日本検査血液学会学術集会(ハイブリッド開催)	2022.7
	知的障害を合併したてんかん患者における、抗精神病薬併用例の臨床的特徴の検討(Study on Clinical Features of Combination Antipsychotic Therapy for Epileptic Patients Associated with Intellectual Disabilities).	白石 洋子、 川瀬 真琴、 西田 拓人、 許 博陽、 新井 めぐみ、 高石 政男、 堀 岳人、 佐倉 義久、 山口 隆之、 古荘 竜、 梶原 智、 菱本 明豊	第55回日本てんかん学会学術総会(ハイブリッド開催)	2022.9

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
臨 床 検 査 部	当院で診断されたVEXAS症候群の血液学的特徴	川崎 理加、 高石 祐美子、 金子 紀子、 宮下 愛、 尾崎 由実、 嶋村 麻利子、 矢島 智志、 國本 博義、 中島 秀明、 山崎 悦子	第69回日本臨床検査医学会学術集会	2022.11
	経頸静脈的肝生検により診断した肝不全をきたした急性発症型自己免疫性肝炎の5例の検討	野上 麻子、 岩城 慶大、 小林 貴、 桐越 博之、 米田 正人、 斉藤 聡、 中島 淳	第44回日本肝臓学会東部会	2022.11
	生理検査におけるコロナ禍での業務運用とISOの意義	大原 由美子、 田中 千春、 武田 倫明、 矢島 智志、 山崎 悦子	第71回神奈川県臨床検査学会大会	2022.12
	COVID-19後遺症のフォローで偶発的に発見された肝類上皮血管内皮腫の一例	吉枝 利恭、 野上 麻子、 小林 規俊、 岩城 慶大、 小林 貴、 原田 丈太郎、 伊藤 絢子、 藤井 誠志、 竹内 結花、 松下 彰一郎、 加藤 真吾、 桐越 博之、 米田 正人、 斉藤 聡、 中島 淳	第373回日本消化器病学会関東支部例会	2023.2
	LifePadの簡便性:等温PCRであるSmartAmp法を利用したSARS-Cov-2 RNA検出システム	宮下 愛、 齋藤 さとみ、 佐野 加代子、 嶋村 麻利子、 友山 瑛人、 黒沢 貴之、 武田 倫明、 矢島 智志、 山崎 悦子	第31回神奈川県臨床検査医学会大会 第30回日本臨床化学会関東支部学術集会	2022.6
	SARS-CoV-2 RNA測定装置 GenPadの性能評価	宮下 愛、 齋藤 さとみ、 佐野 加代子、 嶋村 麻利子、 友山 瑛人、 黒沢 貴之、 武田 倫明、 矢島 智志、 山崎 悦子	第69回日本臨床検査医学会学術集会	2022.11

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
臨床検査部	VEXAS症候群の骨髄・末梢血形態	金子 紀子、 宮下 愛、 嶋村 麻利子、 岩瀧 麻希、 高石 祐美子、 矢島 智志、 川崎 理加、 山崎 悦子	第23回日本検査血液学会学術集会	2022.7
薬 劑 部	新たに作成した「がん患者の苦痛緩和のための鎮静に関する院内手引き」を活用して鎮静を行った一例	土屋 佳世、 小林 瑞穂、 町永 弘美、 畑 千秋、 田中 幸介、 葛西 祐樹、 冬木 晶子、 岩城 慶大、 結束 貴臣、 日下部 明彦、 市川 靖史	第15回日本緩和医療薬学会年会	2022.5
	心電図判読を用いた薬学的管理に関する現状調査	西垣 哲太、 金子 美玲、 鈴木 太一	第25回日本臨床救急医学会総会・学術集会	2022.5
	抗真菌薬投与がカンジダ血流感染症の原因菌種及び感受性に与える影響	坂本 靖宜、 川邊 一寛、 鈴木 智代、 井出 和男、 西垣 哲太、 榎木 裕紀、 田口 和明、 加藤 英明、 松元 一明	第70回日本化学療法学会総会	2022.6
	Globicatella sanguinisによる胆管炎の一例	西垣 哲太、 渡邊 直優、 坂本 靖宜、 鈴木 智代、 金子 美玲、 井出 和男、 加藤 英明	第70回日本化学療法学会総会	2022.6
	長期間の不明熱を伴う多彩な症状を合併したHIV患者に対し感染症治療を行った一例	長谷川 拓也、 井出 和男、 川邊 一寛、 坂本 靖宜、 加藤 英明	第70回日本化学療法学会総会	2022.6
	クリニカルパスにおける必要時指示薬統一への取り組み	川邊 桂、 小池 博文、 勝亦 秀樹、 佐橋 幸子	第24回日本医療マネジメント学会学術総会	2022.7
	病院フォーミュラリが外来院外処方を与える影響に関する考察	志村 明日香、 畠山 成寛、 川邊 一寛、 服部 有希、 川邊 桂、 小池 博文、 佐橋 幸子	第24回日本医薬品情報学会総会・学術大会	2022.7

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
薬 剂 部	COVID-19罹患妊婦に対してプレドニゾロンを投与した一例	関 雅子、 川邊 桂、 浜之上 はるか、 大井 康史、 小川 史洋、 岩田 亜貴子、 倉澤 健太郎、 伊藤 秀一、 宮城 悦子、 佐橋 幸子	第62回日本先天異常学会学術総会	2022.7
	横浜市立大学附属2病院における薬剤師レジデント交換研修と今後の課題	宇山 佳奈、 渡邊 直優、 畠山 成寛、 山本 幸二郎、 川邊 桂、 宇野 洋司、 津野 丈彦、 小池 博文、 小杉 三弥子、 佐橋 幸子	日本病院薬剤師会関東ブロック第52回学術大会	2022.8
	他院処方への減量・中止に対する退院時薬剤情報提供書の有用性の検討	佐々木 涼子、 勝亦 秀樹、 川邊 桂、 小池 博文、 佐橋 幸子	日本病院薬剤師会関東ブロック第52回学術大会	2022.8
	新生児への胃管投与における薬剤通過性の調査	山田 望美、 小森 智也、 井出 和男、 小池 博文、 佐橋 幸子	日本病院薬剤師会関東ブロック第52回学術大会	2022.8
	全自動薬剤払出機(Tiara2, (株)タカゾノ)の導入効果の検討	森谷 拓海、 川邊 一寛、 山本 幸二郎、 内田 寿恵、 木津 健一郎、 鈴木 太一	日本病院薬剤師会関東ブロック第52回学術大会	2022.8
	日米の医療用医薬品添付文書における妊婦・授乳婦項の記載要領調査(第2報)	成田 由紀、 関 雅子、 川邊 桂、 稲田 千秋、 栗城 紘子、 浜之上 はるか、 小池 博文、 伊藤 秀一、 佐橋 幸子	日本病院薬剤師会関東ブロック第52回学術大会	2022.8
	心電図判読を用いた薬学的管理に関するアンケート調査	西垣 哲太、 田中 美玲、 鈴木 太一、 井出 和男、 小池 博文、 佐橋 幸子	日本病院薬剤師会関東ブロック第52回学術大会	2022.8

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
薬 部	横浜市立大学附属2病院で連携したDI業務の取り組み	畠山 成寛、 志村 明日香、 川邊 一寛、 江口 雄太郎、 大村 結衣、 齊藤 祥子、 川邊 桂、 佐々木 琢也、 小池 博文、 小杉 三弥子、 佐橋 幸子	日本病院薬剤師会関東ブロック第52回学術大会	2022.8
	薬剤師レジデント制度の導入プロセスとその成果～学生にとって魅力ある受入体制を目指して～	小池 博文、 川邊 桂、 畠山 成寛、 山本 幸二郎、 佐橋 幸子	第32回医療薬学会年会	2022.9
	病棟薬剤師が気腫性腎盂腎炎に対して集学的な治療支援を行った一例	井出 和男、 石村 真琴、 西垣 哲太、 川邊 一寛、 加藤 英明、 小池 博文、 佐橋 幸子	第32回医療薬学会年会	2022.9
	がん化学療法に係る薬薬連携強化のための取り組みとトレーニングレポートの現状調査	小森 智也、 坂本 靖宜、 川邊 桂、 小池 博文、 佐橋 幸子	第32回医療薬学会年会	2022.9
	病院薬剤師におけるアンチ・ドーピングに関する意識・知識調査	畠山 成寛、 中川 ちひろ、 井出 和男、 川邊 桂、 小池 博文、 佐橋 幸子	第32回医療薬学会年会	2022.9
	ARBの病院フォーミュラが外来院外処方に与える影響に関する考察	志村 明日香、 川邊 一寛、 畠山 成寛、 川邊 桂、 小池 博文、 佐橋 幸子	第32回医療薬学会年会	2022.9
	抗菌薬審査報告書における投与期間の評価に関する記載内容の調査	西垣 哲太、 坂本 靖宜、 加藤 英明	第69回日本化学療法学会東日本支部総会	2022.10
	侵入門戸不明のメチシリン感受性黄色ブドウ球菌菌血症に対しASTと連携しながら感染症治療支援を行った一例	成田 由紀、 井出 和男、 鈴木 智代、 川邊 一寛、 坂本 靖宜、 西垣 哲太、 渡邊 直優、 長谷川 拓也、 加藤 英明	第69回日本化学療法学会東日本支部総会	2022.10

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
薬 部	髄膜炎を併発した小児の感染性心内膜炎に対して感染症治療を提案した一例	長谷川 拓也、 井出 和男、 川邊 一寛、 坂本 靖宜、 成田 由紀、 加藤 英明	第69回日本化学療法学会東日本支部総会	2022.10
	モデル・フォーミュラの策定・改訂プロセス	川邊 桂、 小池 博文、 大幸 淳、 市橋 孟、 出石 啓治、 大里 恭章、 小口 正義、 佐々江 龍一郎、 金田一 成子、 千堂 年昭、 島貫 隆夫、 今井 博久	第1回日本フォーミュラ学会学術総会	2022.10
	HIV感染症患者における後発医薬品への意識調査	千葉 カナ、 畠山 成寛、 寒川 整、 田中 美穂、 鵜藤 有紀子、 竹林 早苗、 松山 奈央、 渡邊 直優、 川邊 桂、 小池 博文、 加藤 英明、 中島 秀明、 佐橋 幸子	第36回日本エイズ学会学術集会・総会	2022.11
	注射薬の適正使用に向けた段階的な病棟配置薬の削減(第2報)	若杉 正、 川邊 桂、 小池 博文、 佐橋 幸子、 金井 静絵、 友永 知恵、 馬場 直樹、 渡邊 克、 島田 朋子、 菊地 龍明	第17回医療の質・安全学会学術集会	2022.11
	大学病院におけるフォーミュラリー構築方法と地域へのかかわり	川邊 桂	第24回日本医薬品情報学会総会・学術大会	2022.7
	当院の特徴を活かしたレジデント教育の構築～DI・フォーミュラ, 附属2病院交換修など～	山本 幸二郎	日本病院薬剤師会関東ブロック第52回学術大会	2022.8
	敗血症における予防的薬物療法	川邊 一寛	日本病院薬剤師会関東ブロック第52回学術大会	2022.8
	神奈川県病院薬剤師会の取り組み	川邊 桂	日本病院薬剤師会関東ブロック第52回学術大会	2022.8
	病院薬剤師における地域フォーミュラの意義	小池 博文	第8回日本医薬品安全性学会学術大会	2022.8
	薬物治療における薬剤師へのタスクシフト・タスクシェアについて	井出 和男	第20回日本臨床学リスクマネジメント学会	2022.8

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
薬 剤 部	お互いを知らう ～薬薬連携を極めるために「外来がん化学療法における薬薬連携と薬剤師教育」～	小森 智也	服薬ケア医療学会第12回大会	2022.9
	病院フォーミュラリとクリニカルパスを活用した薬物治療の標準化	川邊 桂	第22回日本クリニカルパス学会学術集会	2022.11
	モデル・フォーミュラリの策定・改訂プロセス～高血圧治療薬を中心に～	川邊 桂	日本病院薬剤師会関東ブロック第52回学術大会	2022.8
	薬剤師外来による抗がん剤治療マネジメント～保険薬局との連携～	小森 智也	第4回NEW薬薬連携Seminarーがん化学療法ー	2022.10
	COVID-19罹患妊婦に対してプレドニゾロンを投与した一例	関 雅子	2022年度第1回妊婦授乳婦専門・薬物療法認定薬剤師セミナー	2022.11
	睡眠薬とせん妄	森 直樹	横浜市薬剤師会研修会	2022.10
	薬を知って上手に付き合おう	坂本 靖宜	ウィリング横浜主催研修「専門性を高める」医療基礎知識セミナー	2022.7
	乳がん症例解説	坂本 靖宜	令和4年度神奈川がん薬物療法・専門薬剤師ワークショップ	2022.11
	抗HIV薬,針刺し時の感染予防薬	畠山 成寛	神奈川県医療従事者エイズ・HIV診療研修会	2022.5
	抗HIV薬と職業的曝露時の対応	畠山 成寛	令和4年度HIV感染者・エイズ患者の在宅医療・介護の環境整備事業実地研修	2022.11
	医薬品フォーミュラリの実践と今後の課題～当院の導入事例・バイオシミラーを含めて～	小池 博文	第365回岐阜県病院薬剤師会研修・学術講演会	2022.7
	医薬品フォーミュラリの活用事例と今後の方向性	小池 博文	摂南大学薬学部公開講座	2022.9
	かかりつけ薬局との連携 フォーミュラリーについて	小池 博文	認定病院患者安全推進協議会2022年度第1回薬剤安全セミナー	2022.10
	医薬品フォーミュラリの実践 ～病院,そして地域へ～	小池 博文	星薬科大学認定薬剤師研修	2022.10
	持続可能な病院運営のために薬剤師ができること～医薬品費の適正化とタスクシフティング～	小池 博文	第49回日本小児臨床薬理学会学術集会共催セミナー	2022.11
	バイオシミラーの導入とその考え方～診療報酬改定を踏まえて～	小池 博文	第48回長野県病院薬剤師会薬剤師専門講座	2022.11
薬薬連携の実際の今後の取り組み～当院の事例紹介から地域フォーミュラリーまで～	小池 博文	愛媛県病院薬剤師会中予支部令和4年度第5回WEB研修会	2022.9	
医薬品フォーミュラリの実践～考え方と導入事例,BS・糖尿病用薬を中心に～	小池 博文	第10回日本くすりと糖尿病学会共催セミナー1	2022.9	

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
薬 剤 部	持続可能な医療のための医薬品選択 ～ジェネリック, バイオシミラーからフォーミュラリまで～	小池 博文	川崎市薬剤師会学術講演会	2022.12
	ベンダムスチン10分投与法の導入が悪心・嘔吐発現に与える影響	坂本 靖宜、 長谷川 拓也、 森谷 拓海、 宇山 佳奈、 清水 絢子、 小森 智也、 川邊 桂、 小池 博文、 佐橋 幸子	日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2023	2023.3
	切除不能肝細胞癌に対するレンパチニブ初回投与量が服薬継続率に与える影響の検討	渡邊 直優、 坂本 靖宜、 井出 和男、 川邊 桂、 小池 博文、 佐橋 幸子	日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2023	2023.3
	神奈川県の後発医薬品使用状況分析と医薬品フォーミュラリの活用	小池 博文	令和4年度神奈川県後発医薬品 使用促進協議会	2023.3
	処方提案につながるトレーシングレポートの書き方(消化器症状編)	坂本 靖宜	外来がん化学療法の質向上の為 の薬薬連携セミナーin金沢区	2022.11
	医薬品フォーミュラリの導入と活用事例	小池 博文	近畿薬剤師合同学術大会2023第 25回近畿薬剤師会学術大会/第 44回日本病院薬剤師会近畿学術 大会	2023.2
M E セ ン タ ー	演題: 個人用透析濾過装置によるon-lineHDF施行の検討	五十嵐 康平	第102回神奈川腎研究会	2022.5
	複数台の効率的な運用	山田 二三歩	da Vinci Executive Seminar	2022.6
	Life as a da Vinci Coordinator	山田 二三歩	DVCC(ダヴィンチコーディネーターコース)	2022.7
	臨床に対応できるCEをめざして	山田 二三歩	ダビンチCEトレーニングセミナー クリニカル編 (東京都臨床工学技士会)	2022.7
	患者入室前に繰り返し発生したdaVinciXのエラー経験と当院の対応	山田 二三歩	第44回日本手術医学会総会	2022.10
	サージカルスモーク	山田 二三歩	実践ME技術講習会 (第23回臨床ME専門認定士認定 更新講習会)	2022.10
	daVinciサージカルシステムにおけるハードパワーオフ実施によるエラー発生件数変化の検討	山田 二三歩	第2回関東甲信越臨床工学会、 第5回神奈川県臨床工学会	2022.11
	Robot支援業務取り組み・トラブル対応	山田 二三歩	令和4年度daVinci教育セミナー (福岡県臨床工学技士会)	2022.11

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
M E セ ン タ ー	Life as a da Vinci Coordinator	山田 二三歩	DVCC(ダヴィンチコーディネーターコース)	2022.11
	臨床工学技士が考える次世代手術室	山田 二三歩	次世代の手術環境とは	2022.12
	新型システムがもたらしたものの複数台の効率的な運用	山田 二三歩	da Vinci Executive Seminar	2022.12
	daVinciXサイドドッキングにおけるロボット支援腎尿管全摘術の報告	山田 二三歩	第15回日本ロボット外科学会	2023.2
	daVinciXにおける経口的ロボット支援手術の新たなドッキング方法の報告	山田 二三歩	第15回日本ロボット外科学会	2023.2
	電気メス教育動画シリーズ 第1回電気メスの歴史・構成品	山田 二三歩	エムクラ	2023.2
	電気メス教育動画シリーズ 第2回電気メスの基本①(基本原理)	山田 二三歩	エムクラ	2023.3
放 射 線 部	Basic Study on Image Processing Method for Measurement of Pelvic Tilt Angle in Sitting Position	井嶋 晋太郎	第78回日本放射線技術学会総会学術大会	2022.4
	これからの骨SPECTの話をしよう 18F-フッ化ナトリウムによる骨PETイメージング	尾川 松義	第78回日本放射線技術学会総会学術大会 第84回核医学部会	2022.4
	基礎と安全管理2 施設概要	尾川 松義	第21日本核医学会春季大会	2022.5
	冠動脈造影基礎講座	陣野 豊	第59回日本心血管インターベンション治療学会	2022.5
	高線量被ばく症例に対する当院の取り組み	陣野 豊	第59回日本心血管インターベンション治療学会関東甲信越地方会	2022.5
	当院におけるCOVID-19患者のカテーテル検査対応	山岡 広樹	第59回日本心血管インターベンション治療学会関東甲信越地方会	2022.5
	当院における頸椎側面撮影用水晶体防護フィルタの有効性に対する調査	井出 咲穂	2022年度関東甲信越診療放射線技師学術大会	2022.6
	放射線安全管理(法令、放射線測定を含む)	尾川 松義	アイソトープ内用療法講習会	2022.6
薄型フィルムセンサー基板を用いたフラットパネルディテクターの画質評価	藤原 敏晴	2022年度関東甲信越診療放射線技師学術大会	2022.6	

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
放 射 線 部	腫瘍評価 マンモグラフィ編	井出 咲穂	第65回神奈川乳房画像研究会・ 第42回乳房超音波画像研究会	2022.7
	線量管理システムを用いた線量管理・記録	陣野 豊	第30回日本心血管インターベン ション治療学会	2022.7
	線量測定法	陣野 豊	第46回IVR被ばく低減セミナー	2022.8
	感染対策	井嶋 晋太郎	診療放射線技師の為のフレッ シャーズセミナー	2022.8
	医療安全	山岡 広樹	診療放射線技師の為のフレッ シャーズセミナー	2022.8
	核医学治療に必要な1・2・3 ～核医学治療を始めてみよう～	尾川 松義	第42回日本核医学技術学会 学術総会学術大会	2022.9
	当院の職業被ばく管理状況と対応	陣野 豊	第2回関東Angio研究会	2022.9
	キャリブレーション方法によるDosimetry解析 への影響	鶴巻 柊也	第44回日本核医学技術学会総会 学術大会	2022.9
	ADCTに用いた冠動脈CTにおける心位相 自動検出機能の有用性について	森岡 翼	第38回日本診療放射線技師会学 術大会	2022.9
	大規模地震発生時における放射性同位元 素および放射線機器の安全点検と結果報告 を迅速に行うための試み	井出 健太	第20回臨床医学リスクマネジメント 学会	2022.9
	体内金属未確認によるMRI検査室入室を防 止するための取り組み	大平 祥吾	第20回臨床医学リスクマネジメント 学会	2022.9
	当院放射線部における患者急変時の対応へ の取り組み	大森 雅生	第20回臨床医学リスクマネジメント 学会	2022.9
	術前シミュレーションに求められる機能画像 のポイント	井嶋 晋太郎	第24回NTRT全国X線撮影技術読 影研究会in横浜	2022.10
	DRLsを管理するために ～医療法施行規則改正に伴う取り組みに ついて 横浜市大style～	陣野 豊	第58回神奈川Angio撮影研究会	2022.10
	SPECT収集条件によるDosimetry解析への 影響	鶴巻 柊也	第3回標的アイソトープ治療評価 研究会	2022.10
ルタテラ治療を始めよう ～20分でわかる特別措置病室の作り方～	尾川 松義	PRRT WEB SEMINAR	2022.11	

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
放 射 線 部	単純写真から学ぶ放射線技術の世界②	井嶋 晋太郎	令和4年度神奈川県放射線技術講習会	2022.11
	単純写真から学ぶ放射線技術の世界①	尾川 松義	令和4年度神奈川県放射線技術講習会	2022.11
	Flexitronコミッションング	伊澤 光太郎	マイクロセレクトロンHDR研究会 第18回学術研究会	2022.12
	小児胸部X線撮影における散乱線除去用グリッドの基礎的検討	遠藤 優太	第69回関東支部研究発表大会	2022.12
	歯科領域におけるCone-beam CTの有効性について	大平 祥吾	第69回関東支部研究発表大会	2022.12
	TrueBeam導入とVMATの臨床応用	瀧下 啓介	第69回関東支部研究発表大会	2022.12
	心筋T1-mappingにおけるDeep Learning Reconstructionの有用性	平野 恭正	第69回関東支部研究発表大会	2022.12
	ポータブル撮影の撮影条件・設定方法に関する基礎的検討	光武 洸太	第69回関東支部研究発表大会	2022.12
	歯科用コーンビームCTにおける高分解能撮影モードの基礎的検討	吉田 春香	第69回関東支部研究発表大会	2022.12
	診療報酬改定について	安藤 聡志	神奈川県医療専門職連合会	2022.12
	ルタテラ治療を始めよう ～20分でわかる特別措置病室の作り方～	尾川 松義	PRRT WEB SEMINAR	2022.12
	Dual-energy Xray absorptiometryのトピックス	尾川 松義	横浜股関節骨粗鬆症研究会	2022.12
	Multi Echoを使用したBone imageについて	加藤 大河	磁気共鳴塾2023	2023.2
	肝MR Elastographyの基礎知識	平野 恭正	第52回神奈川MRI研究会	2023.2
	PIQEって実際どうなの？ ～PIQEを使って～	森岡 翼	第1回神奈川CT愉しむ会	2023.2
	IMRTにおける線量検証の基礎	伊澤 光太郎	2022年度第3回神奈川県放射線治療技術研究会	2023.3
SIEMENS CT iMARによる金属アーチファクト対応	橋本 あかり	2022年度第3回神奈川県放射線治療技術研究会	2023.3	

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
輸血・細胞治療部	当院における貯血式自己血採血時の血管迷走神経反射発生頻度について	瀧澤 かすみ、 工藤 麻衣、 黒沢 英里、 小峰 弘美、 菅谷 文乃、 原田 佐保、 柴 徳生	第70回日本輸血・細胞治療学会 学術総会	2022.5
	診療支援としての新鮮凍結血漿融解	原田 佐保、 工藤 麻衣、 瀧澤 かすみ、 黒沢 英里、 小峰 弘美、 菅谷 文乃、 柴 徳生	第154回日本輸血・細胞治療学会 関東甲信越支部例会	2022.9
リハビリテーション部	劇症型心筋炎患者の身体機能の経過－症例集積報告－	折津 英幸、 佐伯 拓也ほか	第59回日本リハビリテーション医学会学術集会	2022.6
	胸骨正中切開を伴う心臓血管手術後に腕神経叢麻痺を呈した症例の上肢機能 自験例4例の作業療法の経過	稲田 雅也	第59回日本リハビリテーション医学会学術集会	2022.6
	重症COVID-19患者の急性期リハビリテーション医療と長期的機能障害	佐伯 拓也、 折津 英幸ほか	第59回日本リハビリテーション医学会学術集会	2022.6
	人工股関節全置換術に至った若年症例の退院後経過について	釜淵 健	第59回日本リハビリテーション医学会学術集会	2022.6
	劇症型心筋炎患者における心機能および身体機能の経時的変化	折津 英幸、 佐伯 拓也ほか	日本心臓リハビリテーション学会 第7回関東甲信越支部地方会	2022.10
	関節熱量計を用いたICU患者に対する神経筋電気刺激療法による運動負荷の定量的評価	佐伯 拓也	第50回日本集中治療医学会学術集会	2023.3
	骨巨細胞腫により、腫瘍用人工膝関節置換術を施工した症例の理学療法経験 ～歩行距離の拡大に難渋した症例に行った工夫～	佐別 當義記	令和4年度横浜南部ブロック症例検討会	2022.12
	中枢神経系胚細胞腫瘍の高次脳機能障害の特徴	稲田 雅也	第45回日本高次脳機能障害学会	2022.12
	簡易的で機能性を備えた義指スプリントの考案－母指切断後の事例より－	稲田 雅也	第37回日本義肢装具学会	2022.10
	Classification of acute stroke patients by their characteristic and clinical severity: the use of latent class analysis	新美 彩花	18th WFOT Congress	2022.8
残存聴力のある人工内耳の周波数帯域閾値限設定により最適なマッピングを検討した1例	内山 唯史	第67回日本聴覚医学会総会	2022.10	
看護部	令和4年度版摂食嚥下支援チームと薬剤師の連携制度改定前後の薬剤師との関わり薬剤師に期待すること	富井 ルミ	第59回日本リハビリテーション医学会学術集会	2022.6
	急変時予測対応とチーム実践トレーニングの振り返り	福島 真弓	第30回日本心血管インターベンション治療学会 学術集会	2022.7

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
看護部	バリエーション数と入院期間に焦点をあてたバリエーション分析	米元 栄樹	第22回日本クリニカルパス学会 学術集会	2022.11
	在院日数に焦点をあてた上部ESDクリニカルパスのバリエーション分析	福田 真奈	第22回日本クリニカルパス学会 学術集会	2022.11
	注射薬の適正使用に向けた段階的な病棟配置薬の削減(第2報)	島田 朋子	第17回医療の質・安全学会学術集会	2022.11
	看護師と看護補助者との協働推進	金井 静江	第20回日本臨床医学リスクマネジメント学会・学術集会	2022.9
	家族支援専門看護師による「Tole-ICU」を利用した他医療施設の患者家族のアセスメント支援の試み	森川 真理	第50回日本集中治療医学会学術集会	2023.3
	摂食嚥下障害看護特定認定看護師として入院から在宅まで切れ目のない医療を提供するための課題	富井 ルミ	第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会 学術集会	2022.9
	体外式VAD装着後、離脱に至った劇症型心筋炎の一症例	今野 貴紘	第24回(2022年度) 神奈川看護学会	2022.11
	NICU入院中の早産児に口腔内母乳塗布を実施した母親の思い	田中 涼子	第31回日本新生児看護学会学術集会	2022.11
	アドバンス助産師の働く環境をスタッフの視点から探る ～労働環境とアドバンス助産師認証制度の関連～	吉田 とも子	第36回神奈川母性衛生学会	2023.2
	外来化学療法センター看護師によるがん患者の問診に関する実践知	長田 智香	第27回日本緩和医療学会学術大会	2022.7
臨床倫理コンサルテーションチーム対応症例の報告	渡邊 香織	日本臨床倫理学会第10回年次大会	2023.3	
血液浄化センター	Association between plasma aldosterone concentration and ambulatory blood pressure profile in patients with primary aldosteronism	R. Morita, K. Azushima, S. Sunohara, T. Kanaoka, H. Wakui, Y. Toya, K. Tamura	The 29th Scientific Meeting of the International Society of Hypertension, Kyoto, Japan	2022.10
	A case report of accelerated-malignant hypertension successfully treated with sacubitril/valsartan	R. Morita, K. Azushima, S. Urate, M. Ebihara, S. Kinguchi, D. Kanai, T. Kanaoka, H. Wakui, Y. Toya, K. Tamura	The 29th Scientific Meeting of the International Society of Hypertension, Kyoto, Japan	2022.10
	A case report of accelerated-malignant hypertension successfully treated with sacubitril/valsartan	K. Ishiga, S. Yoshimura, A. Fukuoka, R. Kobayashi, T. Kanaoka, H. Wakui, Y. Toya, K. Tamura	The 29th Scientific Meeting of the International Society of Hypertension, Kyoto, Japan	2022.10

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
血 液 浄 化 セ ン タ ー	腹膜透析関連感染症予防のために看護師が患者・家族へ指導すべき項目-デルファイ法による検討	中尾 穂高、 落合 亮太、 青盛 真紀、 戸谷 義幸、 渡部 節子	第37回日本環境感染学会総会 横浜	2022.6
	新型コロナウイルスパンデミックに起因する、容量増大を伴った血液回路への一時的な変更に対し、血液充填量の少ないダイアライザへの変更により対応した3例	矢花 眞知子、 涌井 広道、 福田 優理子、 植田 瑛子、 石川 由紀、 小豆島 健護、 坂 早苗、 池谷 裕子、 戸谷 義幸、 田村 功一	第67回日本透析医学会学術集会 横浜	2022.7
	新型コロナウイルスワクチン接種後に特発性血小板減少性紫斑病(ITP)を発症した維持血液透析患者の1例	福田 優理子、 福田 菜月、 石川 由紀、 金井 大輔、 金岡 知彦、 白善 雅、 萩原 真紀、 涌井 広道、 戸谷 義幸、 田村 功一	第67回日本透析医学会学術集会 横浜	2022.7
	加速型・悪性高血圧症に対し少量のサクビト rilバルサルタンが著効した一例	森田 隆太郎、 小豆島 健護、 金口 翔、 金井 大輔、 金岡 知彦、 涌井 広道、 戸谷 義幸、 田村 功一	第23回日本内分泌学会関東甲信越支部学術集会 横浜	2022.9
	肝嚢胞感染による敗血症性ショックをきたした血液透析ADPKD患者の一剖検例	伊藤 葉月、 小豆島 健護、 浦手 進吾、 加藤 実玖、 金口 翔、 涌井 広道、 戸谷 義幸、 田村 功一	第52回日本腎臓学会東部学術大会 東京	2022.10
	経皮的腎生検困難な症例に対しガリウムシンチグラフィによりIgG4関連間質性腎炎と診断し治療開始できた一例	福岡 昭宏、 小豆島 健護、 加藤 実玖、 吉村 汐莉、 浦手 進吾、 石賀 浩平、 金口 翔、 小林 竜、 金岡 知彦、 涌井 広道、 戸谷 義幸、 田村 功一	第52回日本腎臓学会東部学術大会 東京	2022.10

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
血液浄化センター	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) ワクチン接種後に多発血管炎性肉芽腫症 (GPA) を発症した一症例	福田 菜月、 金井 大輔、 福田 優理子、 石川 由紀、 金岡 知彦、 涌井 広道、 戸谷 義幸、 田村 功一	第52回日本腎臓学会東部学術大会 東京	2022.10
	真菌性腹膜炎を契機に生活環境を見直し腎代替療法の再選択を要した一例	加藤 実玖、 浦手 進吾、 金口 翔、 小林 竜、 小豆島 健護、 金岡 知彦、 涌井 広道、 戸谷 義幸、 田村 功一	第28回日本腹膜透析医学会学術集会・総会 岡山	2022.11
	保存期腎不全教育としての減塩が腹膜透析継続期間に及ぼす効果について	小林 竜、 釜野 大典、 園田 玲奈、 小野 慶介、 柳 麻衣、 衣笠 哲史、 石橋 由孝、 戸谷 義幸、 田村 功一	第28回日本腹膜透析医学会学術集会・総会 岡山	2022.11
	社会保険診療報酬支払基金の現状と展望	戸谷 義幸	第18回川崎市内科医会保健医療研究会 川崎	2022.12
病理診断科	診断に苦慮したDiffuse Large B-cell lymphomaの一例	宇野 絵梨	第63回日本臨床細胞学会春季大会	2022.6
	診断に苦慮した膀胱小細胞癌の一例	本野 紀夫	第61回日本臨床細胞学会秋季大会	2022.11
	「ゲノム医療の進歩と形態学の融和へ」	藤井 誠志	第31回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会 教育講演	2022.10
	「口腔・咽喉頭病変診療の確立に向けた工夫, 口腔・咽喉頭病変の診療に必要な病理組織学的診断」	藤井 誠志	JDDW2022 第104回日本消化器内視鏡学会総会 ワークショップ5	2022.10
	これからの病理のか・た・ち	藤井 誠志	特別講演 これからの病理のか・た・ち 第39回分子病理学研究会	2022.7
	HER2陽性大腸癌の診断と治療	藤井 誠志	ランチョンセミナー9 第63回日本臨床細胞学会総会 (春期大会)	2022.6
	胃癌分子病理診断の新たな選択肢 (PD-L1) と実際の判定における留意点	藤井 誠志	第111回日本病理学会総会共催セミナー	2022.4
臓器系統別ワークショップ 18「頭頸部領域 (口腔・咽頭/喉頭・食道) における上皮内癌一病態と診断基準一 咽頭・喉頭における表在性扁平上皮病変の診断基準と病態」	藤井 誠志	第111回日本病理学会総会	2022.4	
コアシンポジウム1「腫瘍病理学の将来 ～病理医・病理学研究者が目指す研究の方向性を問う～ これからの病理のか・た・ち」	藤井 誠志	第111回日本病理学会総会	2022.4	

40 そ の 他

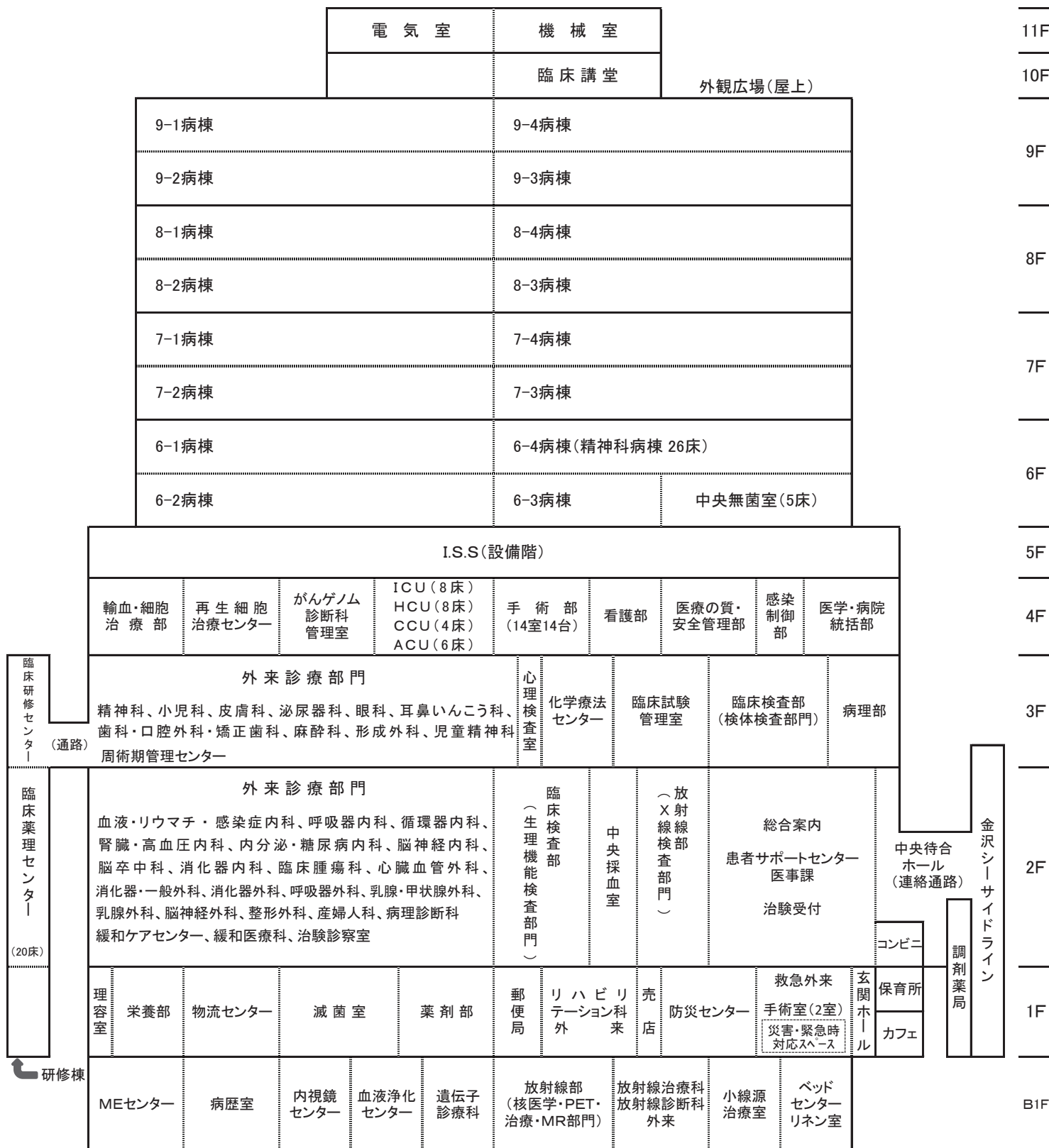
1 年度別病院事業実績

項 目	年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
外来患者数	初 診 患 者	37,089	37,093	34,392	36,672	38,158
	再 診 患 者	433,950	423,976	390,239	403,198	406,535
	合 計	471,039	461,069	424,631	439,870	444,693
	1日平均患者数	1,930.5	1,921.1	1,747.5	1,817.6	1,830.0
	救急外来患者数	3,763	8,184	3,224	2,773	2,862
	時 間 内	1,047	1,344	1,223	1,125	1,183
	時 間 外	2,716	6,840	2,001	1,648	1,679
入院患者数	新 入 院	15,961	16,388	15,851	15,933	16,871
	退 院	15,924	16,400	15,865	15,934	16,857
	延 入 院 数	203,948	203,845	191,299	186,623	193,774
	1日平均患者数	558.8	557.0	524.1	511.3	530.9
	平均在院日数	12.8	12.4	12.1	11.7	11.5
	病 床 利 用 率	85.5	85.2	80.1	78.2	81.2
	緊急入院患者数	1,333	2,371	3,224	2,661	3,999
	時 間 内	548	555	1,223	914	2,352
	時 間 外	785	1,816	2,001	1,747	1,647
患者紹介率	医 療 法 上	72.4	73.8	71.4	75.8	85.1
臨床検査件数	一 般 検 査	221,618	220,408	205,157	207,687	212,196
	血 液 検 査	※ 640,091	※ 626,249	※ 595,403	※ 627,689	※ 639,224
	医 生 物 検 査	44,958	52,453	52,485	54,129	52,844
	免 疫 血 清 検 査	注①	注①	注①	注①	注①
	臨 床 化 学 検 査	3,944,564	3,974,036	3,721,450	3,731,077	4,146,056
	生 理 機 能 検 査	47,499	47,737	42,242	44,403	46,742
	内数超音波検査	13,770	13,436	13,062	13,631	14,847
	緊 急 検 査	注②	注②	注②	注②	注②
	合 計	4,898,730	4,920,883	4,616,737	4,664,985	5,097,062
	外 部 委 託 検 査	117,349	100,124	91,458	101,389	101,388
病 理 件 数	組 織 診 断	11,620	11,885	11,613	12,508	12,236
	迅 速 診 断	746	845	786	824	787
	細 胞 診 断	10,187	8,382	8,238	8,741	8,197
	電 子 顕 微 鏡	89	53	42	45	51
	病 理 解 剖	28	27	32	22	18
	合 計	22,670	21,192	20,711	22,140	21,289

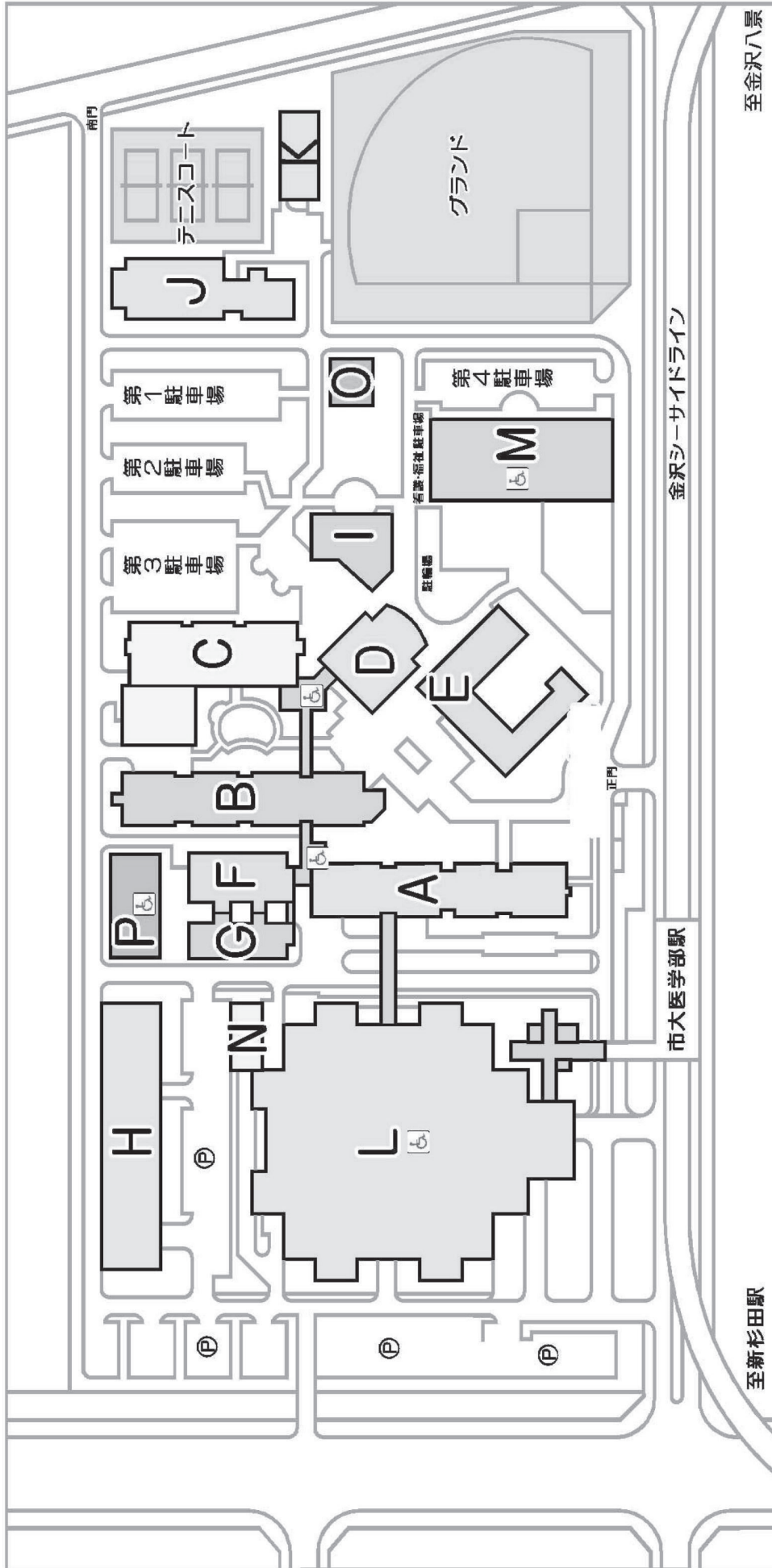
注① 臨床検査件数 免疫血清検査は臨床化学検査に含まれる。

注② 臨床検査件数 緊急検査は各該当部門に含まれる。

2 各階配置図 (令和5年4月1日現在)



3 施設配置図



- | | | | | | |
|---|--------------|---|---------------|---|------------|
| A | 医学部臨床研究棟 | F | 動物実験センター | K | サークル棟 |
| B | 医学部基礎研究棟(受付) | G | ラジオアイソトープセンター | L | 横浜市立大学附属病院 |
| C | 医学部実習棟 | H | エネルギーセンター | M | 看護教育研究棟 |
| D | 医学部講義棟 | I | 福利厚生棟 | N | 研修棟 |
| E | 医学情報センター | J | 体育館 | O | NMR棟 |
| | | | | P | 先端医学研究センター |

横浜市立大学附属病院

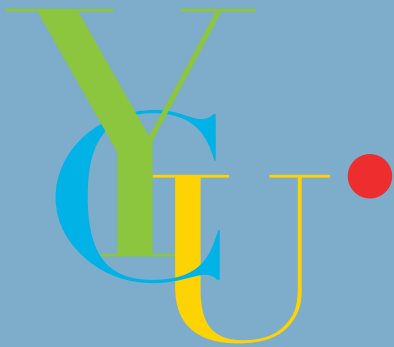
〒236-0004 横浜市金沢区福浦三丁目9番地

TEL 045(787)2800(代表)

FAX 045(787)2931

令和5年9月発行

この印刷物は再生紙(古紙混入率70%)を使用しています。



**YOKOHAMA
CITY
UNIVERSITY
HOSPITAL**